Canon

PUB. DIJ-0428-002B

EOS C100 Mark II

HD ビデオカメラ

Firmware ver. 1.0.5.1.00

DIJ0428002

使用説明書

本機の特長

C100 Mark IIは、スーパー35mm相当単板CMOSイメージセンサーを搭載。有効画素数約829万画素（3840×2160）のフルピクセルのHD収録に対応し、記録メディアにSDカードを採用した高画質なHDビデオカメラです。

高画質HD記録システム

829万画素、スーパー35mm相当単板CMOSと高画質映像エンジン「DIGIC DV 4」を搭載

有効画素数約829万画素（3840×2160）のスーパー35mm相当単板式CMOSイメージセンサーと映像エンジン「DIGIC DV 4」を搭載して、中心解像度1000TV本*を実現しています。

* 取り付けるレンズによって異なります。

EFレンズに対応

キヤノンのEFレンズやEFシネマレンズなど、さまざまなEFマウント対応レンズを使用可能。多彩な映像表現を実現します。

さまざまな記録信号形式に対応（📖 59）

動画形式、ビットレート、解像度、音声記録方式、フレームレートの組合せによってさまざまな信号形式で映像を記録できます。動画形式はAVCHD形式に加えて、Webへのアップロードや速報用のファイル転送などに適したMP4形式にも対応。ビットレートは最大28 Mbps（AVCHD）、35 Mbps（MP4）に設定できます。AVCHD形式の場合、28 Mbps LPCMや24 Mbps LPCMで撮影すると、音声はリニアPCM（16ビット、48kHz）の2チャンネル記録が可能です。またフレームレートは最大59.94P（59.94Hz時）、50.00P（50.00Hz時）に設定できます。

優れた機動力と汎用性

カスタマイズの自由度が高いボディーデザイン（📖 34）

最小幅の抱え持ちスタイルで使用できる本体ボディーに、着脱可能なハンドルユニットやグリップを撮影状況に応じて組み合わせて使用可能。ハンドルユニットを装着すると、XLR端子やマイクホルダー、内蔵マイクなど、オーディオ仕様も充実。ワンマンオペレーションをサポートします。

3.5型の高精細123万ドット相当の有機ELモニターと、広視野角チルト式ファインダー

色再現性やコントラスト、応答速度が高い高精細有機ELモニターを搭載。屋外撮影でも快適です。ファインダーは、広視野角（約28.2°）で、0.45型123万ドット相当の高精細液晶を搭載。68°までチルト可能なため、制限された撮影現場にも柔軟に対応できます。

汎用性の高いSDカードを採用（📖 42）

入手しやすく汎用性の高いSDカードを記録メディアに採用。コストパフォーマンスの高い運用が可能です。

長時間撮影と安心バックアップ機能（📖 46、118）

2つのカードスロットを搭載し、片方のSDカードの残量がなくなったら自動的に他方のSDカードへ記録したり（リレー記録）、同じ映像を同時に記録したり（ダブルスロット記録）することができます。また映像を記録し続ける「常時記録」を使用することによって、撮り逃しを防ぎます。

ワンマンオペレーションに適した充実のオート機能（📖 74、82、83）

ボタンを押しているあいだ、絞りを自動的に調整するプッシュオートアイリスや、常に適切なホワイトバランスになるよう自動的に調整するオートホワイトバランスを搭載。デュアルピクセルCMOS AF*を搭載しているため、マニュアルフォーカスレンズを除くすべてのEFレンズ装着時、画面中央の被写体に自動でピントを合わせ続けられるコンティニュアスAFや、ボタンを押すとフォーカスを自動的に調整するワンショット AFを使用できます。

* 対応のEFレンズについてはキヤノンのホームページをご覧ください。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な特殊記録機能（📖 115）

MP4動画では、撮影フレームレートを変更することにより、最低1/2.5倍速のスローモーション撮影や最高2.5倍速のファーストモーション撮影が可能。プレ記録では撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮り逃がしを防ぎます。

プロの画づくりを実現するカスタムピクチャー（📖 131）

ガンマやカラーマトリクスなどの画質調整により、制作意図に応じた自由な画づくりが可能。ガンマとホワイトバランスは、グラフィカルな表示を採用し、より直感的に画質を調整できます。

シネマ撮影に適したCanon Logガンマ（📖 57、133）

「CP CINEMA固定」を使えば、映画撮影用の設定を簡単に行えます。Canon Logガンマによって撮像素子の特性を十分に引き出し、広いダイナミックレンジを確保したポスト処理ができます。

業務用途に対応する拡張性

Wi-Fiによるネットワーク機能（📖 170）

5 GHz帯、2.4 GHz帯に対応するWi-Fiを内蔵。ネットワーク機器からリモート撮影するブラウザーリモートや、撮影映像を転送するFTPファイル転送、本機内の映像をネットワーク機器で再生／保存するブラウザープレビューを使用できます。

タイムコード生成と重畳出力（📖 97、100）

内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにSDカードに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力できます。また、HDMI出力にユーザービットを重畳することもできます。

モノラルマイク（📖 101）

モノラルマイクを使ってボイスメモを記録できます。編集時、映像と音声を同期しやすくなります。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 画面の表示項目をカスタマイズできるカスタムディスプレイ（📖 54、145、209）。
- メニュー設定やカスタムピクチャー設定をSDカードに保存して、複数のC100 Mark IIで共有可能（📖 146）。
- 残量の目安や寿命（劣化度）を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー（📖 20）。
- 電源ONのままバッテリー交換を可能にする、DC IN端子。
- ハンドルユニット上部にアクセサリーを取り付け可能な1/4インチハンドルネジ。
- 防振構造を採用した外部マイクホルダーと外部マイク用ケーブルクランプ。
- 明るさをチェックする波形モニター（WFM）とフォーカスをアシストするエッジモニター（📖 111）。
- 使用頻度の高い機能を17個のアサインボタンに割り当て可能（📖 128）。
- 映像にGPS情報を付加するGPSレシーバーGP-E2（別売）に対応（📖 123）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）に対応。

Contents

本機の特長 2
本書の読みかた 8

はじめに

商品を確認する／使う前に知っておいてください 10
各部の名称 11
本体の名称 11
グリップの名称 15
ハンドルユニットの名称 16
EFレンズEF24-105mm F4L IS II USMの名称 17

準　備

電源を準備する 20
バッテリーを使う 20
コンセントにつないで使う 23
電源を入れる／切る 24
日時を設定する 25
日付と時刻を設定する 25
メニューで設定を変える 26
メニュー操作の基本 26
マイメニューを使う 28
カメラを準備する 30
レンズを準備する 30
本機の構成例 34
ハンドルユニットを取り付ける／取り外す 35
グリップを取り外す／取り付ける 36
ファインダーと有機ELモニターを使う 37
本体を三脚に取り付ける 40
ショルダーストラップを取り付ける 41
端子カバーを取り外す／取り付ける 41
SDカードを準備する 42
使用可能なSDカード 42
SDカードを入れる／出す 43
初期化する 44
SDカードスロットを切り換える 45
SDカードスロット記録方式を選ぶ 46
SDカードの記録可能時間を確認する 47
SDカードを修復する 47
ブラックバランスを調整する 48

撮　影

動画を撮影する 50
準備する 50
撮影する 51
ブラウザーリモートで撮影する 53
撮影時の画面表示 54
冷却ファンの動作方法を選ぶ 57
Canon LogガンマとCINEMAプリセット 57
Canon Log使用時の映像を確認する 58
映像の信号形式を選ぶ 59
カメラダイレクト設定を使う 61
シャッタースピードを調整する 62
設定可能なシャッタースピード 62
調整する 64
フリッカーを抑える 66
ISO感度／ゲインを調整する 67
設定可能な値 67
調整する 67
NDフィルターを切り換える 70

アイリスを調整する 71
マニュアルで調整する 72
一時的にオートで調整する（プッシュオートアイリス） 74
オートで調整する（オートアイリス） 75
露出を調整する（AEシフト） 75
測光方式を設定する 76
ホワイトバランスを調整する 77
ホワイトバランスセットで調整する 78
プリセット設定／色温度設定で調整する 80
オートホワイトバランスで調整する 82
フォーカスを調整する 83
マニュアルで調整する 84
フォーカスアシスト機能を使う 86
ワンショットAFで調整する 87
コンティニュアスAFで調整する 89
顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF） ... 91
ズームを操作する 93
マーカー／ゼブラパターンを表示する 94
マーカーを表示する 94
ゼブラパターンを表示する 96
タイムコードを設定する 97
カウントアップ方式を選ぶ 97
ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える 98
タイムコードを保持する（タイムコードホールド） 99
ユーザービットを設定する 100
任意の16進数を設定する 100
時刻または日付を設定する 100
ユーザービットを出力する 100
音声を記録する 101
モノラルマイクを使う 101
外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する 102
内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の音声を選ぶ 103
内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の録音レベルを調整する 103
外部マイク（XLR端子）／外部ライン入力（XLR端子）の音声を選ぶ 106
XLR端子の録音レベルを調整する 107
ヘッドホンでモニターする 109
カラーバー／テストトーンを記録する 110
カラーバーを記録する 110
テストトーンを記録する 110
波形モニターを表示する 111
モニター表示を選ぶ 111
波形モニター（Waveform Monitor）のタイプを選ぶ 111
ベクトルスコープ（Vectorscope）のタイプを選ぶ ... 112
エッジモニター（Edge Monitor）のタイプを選ぶ 112
レックレビューで確認する 113
ファイル番号の付けかたを選ぶ 114
特殊記録を行う 115
プレ記録を行う 115
スロー＆ファーストモーション記録を行う 116
常時記録を行う 118
アクセサリーを使う 120
EFレンズEF24-105mm F4L IS II USMを使う 120
GPSレシーバー GP-E2（別売）を使う 123
リモートコントローラー RC-V100（別売）を使う ... 125

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する 128
機能を変更する 130
アサインボタンに割り当てた機能を使う 130
カスタムピクチャーを使用する 131
カスタムピクチャーファイルを選ぶ 132
カスタムピクチャーファイルを登録する 134
カスタムピクチャーファイルをコピーする 135
カスタムピクチャーファイルを静止画と一緒に保存する 137
カスタムピクチャーの設定項目 137
ガンマとホワイトバランスを視覚的に調整する 143
機能や表示をカスタマイズする 145
カスタムファンクションで設定できる項目 145
カスタムディスプレイで設定できる項目 145
設定データの保存と読み出し 146
設定データをSDカードに保存する 146
設定データをSDカードから読み込む 146

再　生

クリップを再生する 148
AVCHDインデックス画面／ MP4インデックス画面を表示する 148
再生する 150
クリップを操作する 153
クリップメニューで操作する 153
クリップをコピーする 154
クリップやショットを消去する 155
MP4動画に変換する 156

接　続

出力信号形式 160
外部モニターを接続する 162
接続のしかた 162
HDMI OUT端子を使う 163
AV OUT端子を使う 164
SD出力時の表示方式を選ぶ 164
出力映像に画面表示を重畳する 165
音声出力を選ぶ 166
音声出力チャンネルを選ぶ 166
映像と音声のタイミングを選ぶ（モニターディレイ） 166
AV OUT端子の音声出力レベルを選ぶ 167
クリップをパソコンに保存する 168

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする 170
Wi-Fiで接続する 171
ネットワーク接続設定を選ぶ 178
ネットワーク接続設定を変更する 179
ネットワーク機器でリモート撮影する（ブラウザーリモート） 181
リモート設定を行う 181
ブラウザーリモートを起動する 182
FTPで転送する（FTPファイル転送） 186
FTP転送の準備をする 186
クリップ／静止画を転送する 187
Webブラウザーで再生／保存する（ブラウザープレビュー） 189

静止画

静止画を記録する 192
カメラモードで静止画を記録する 192
記録した動画から静止画を切り取る 193
静止画を再生する 194
静止画インデックス画面を表示する 194
再生する 194
静止画を操作する 196
静止画をコピーする 196
静止画を消去する 197
カスタムピクチャーファイルをコピーする 199

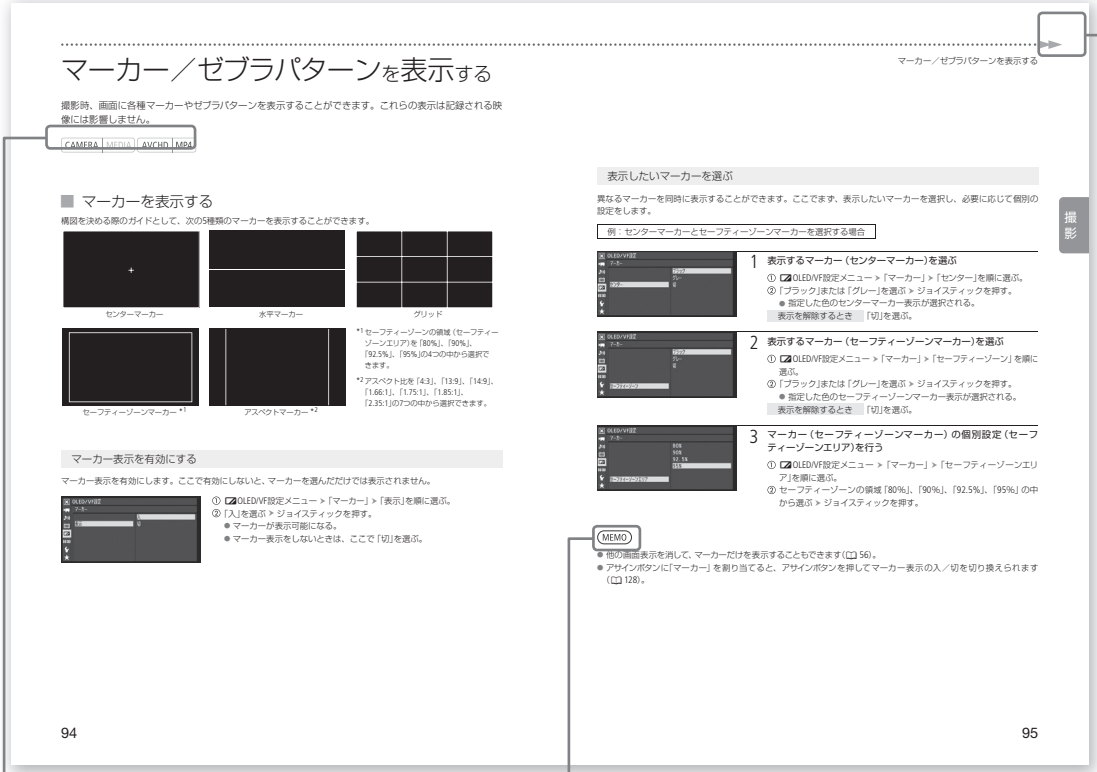
メニュー

メニュー一覧 202
メニューの階層 202
メニューの設定項目 203

その他

ステータス画面を表示する 220
操作のしかた 220
カメラステータス画面 221
アサインボタンステータス画面 222
オーディオステータス画面 222
メディアステータス画面 223
ビデオステータス画面 224
バッテリー／使用時間ステータス画面 224
カスタムピクチャーステータス画面 225
ネットワーク設定ステータス画面 226
GPS情報表示ステータス画面 228
トラブルシューティング 229
電源 229
撮影中 229
再生中 230
表示やランプ 231
画面や音 232
アクセサリー 233
他機 233
ネットワーク接続 234
エラーメッセージ 236
ネットワーク機能使用時 239
安全上のご注意 241
取り扱い上のご注意 243
ビデオカメラ本体 243
バッテリー 244
SDカード 245
充電式内蔵電池 245
その他のご注意 246
日常のお手入れ 248
ビデオカメラ本体を清掃する 248
アクセサリー紹介 249
主な仕様 250
C100 Mark II 本体 250
付属ユニット 252
付属品 253
対応レンズと機能 254
バッテリーの充電時間／使用時間の目安 255
索引 257
保証書と修理対応 267

本書の読みかた



マーカー／ゼブラパターンを表示する

撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は記録される映像には影響しません。

CAMERA MEDIA AVCHD MP4

■ マーカーを表示する

構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。

センターマーカー　水平マーカー　グリッド

セーフティーゾーンマーカー *1　アスペクトマーカー *2

*1 セーフティーゾーンの領域（セーフティーゾーンエリア）を「80%」、「90%」、「92.5%」、「95%」の4つの中から選択できます。

*2 アスペクト比を「4:3」、「13:9」、「14:9」、「1.66:1」、「1.75:1」、「1.85:1」、「2.35:1」の7つの中から選択できます。

マーカー表示を有効にする

マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。

① OLED/VF設定メニュー ＞「マーカー」＞「表示」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ＞ ジョイスティックを押す。
● マーカーが表示可能になる。
● マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

94

マーカー／ゼブラパターンを表示する

撮影

表示したいマーカーを選ぶ

異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、必要に応じて個別の設定をします。

例：センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合

1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ
① OLED/VF設定メニュー ＞「マーカー」＞「センター」を順に選ぶ。
② 「ブラック」または「グレー」を選ぶ ＞ ジョイスティックを押す。
● 指定した色のセンターマーカー表示が選択される。
表示を解除するとき　「切」を選ぶ。

2 表示するマーカー（セーフティーゾーンマーカー）を選ぶ
① OLED/VF設定メニュー ＞「マーカー」＞「セーフティーゾーン」を順に選ぶ。
② 「ブラック」または「グレー」を選ぶ ＞ ジョイスティックを押す。
● 指定した色のセーフティーゾーンマーカー表示が選択される。
表示を解除するとき　「切」を選ぶ。

3 マーカー（セーフティーゾーンマーカー）の個別設定（セーフティーゾーンエリア）を行う
① OLED/VF設定メニュー ＞「マーカー」＞「セーフティーゾーンエリア」を順に選ぶ。
② セーフティーゾーンの領域「80%」、「90%」、「92.5%」、「95%」の中から選ぶ ＞ ジョイスティックを押す。

MEMO
● 他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます（□ 56）。
● アサインボタンに「マーカー」を割り当てると、アサインボタンを押してマーカー表示の入／切を切り換えられます（□ 128）。

95

CAMERA MEDIA

POWER（電源）スイッチをCAMERA（カメラモード）またはMEDIA（再生モード）にする。

AVCHD MP4

AVCHD形式とMP4形式のどちらの動画に対応するか示す。

ご注意　必ず守っていただきたいこと。

MEMO　知っておいていただきたいこと。

▶▶ 次のページに続くことを示す。

本文中の表記

□	参照ページを示す
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す
画面	ファインダーの画面、または有機ELモニターの画面のこと
SDカード	SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと
カメラモード	撮影モードのこと
メディアモード	再生モードのこと

- 音声入力端子は「CH1、CH2」、録音するチャンネルは「チャンネル」と表記しています。
- 本書で使用しているイラストのレンズはEF-S 18-55mm F3.5-5.6 IS IIです。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

1

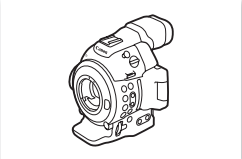
はじめに

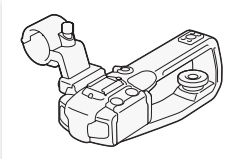
商品を確認する／使う前に
知っておいてください..... 10

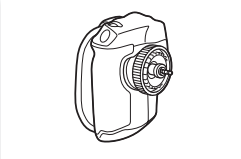
各部の名称 11

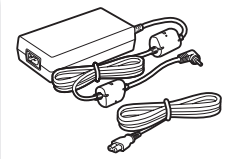
商品を確認する

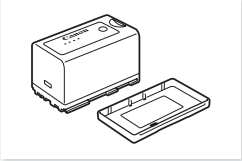
C100 Mark IIには、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものがないか確認してください。

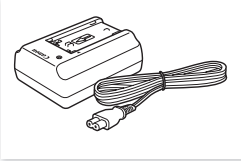

ビデオカメラ本体

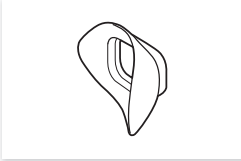

ハンドルユニット

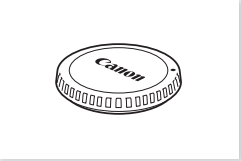

グリップ（本体装着）


ACアダプター
CA-946

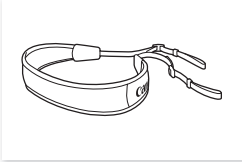

バッテリーパック BP-955

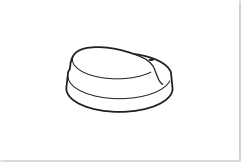

バッテリーチャージャー
CG-945


アイカップ

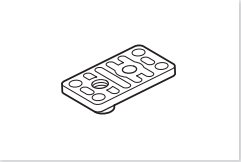


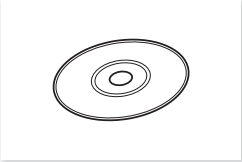
ボディキャップ
（本体装着）

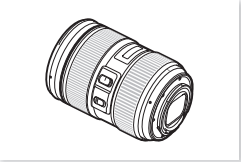

ショルダーストラップ
SS-1200


サムレスト

メジャーフック
（1個。本体装着）


1/4インチ用三脚ベース


Data Import Utility*1


EF24-105mm F4L IS II USM*2

*1 ソフトウェアの説明書（PDF）が入っています。
*2 レンズキットご購入時のみ。レンズキャップ、レンズフード、レンズケースが付属しています。

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

事前にAVCHD動画では28 Mbps LPCMのビットレート（📖 59）で約25分間、MP4動画では35 Mbpsのビットレートで約20分間ためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」（📖 229）をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラやSDカードなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画･録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

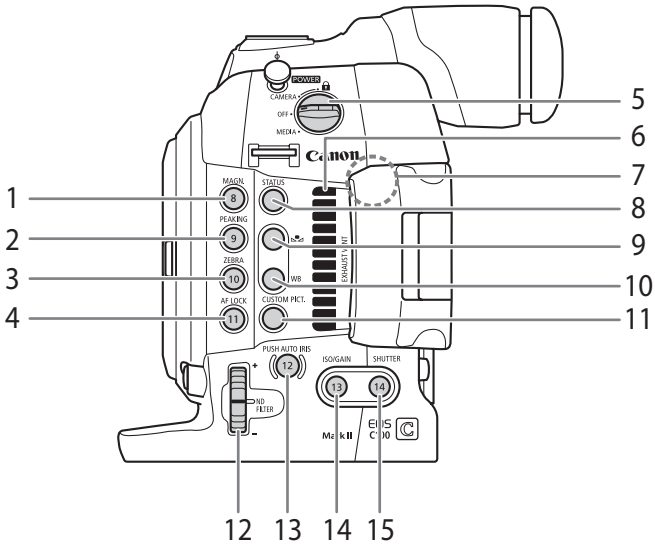
有機ELモニターやファインダーの画面について

有機ELモニターやファインダーの画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに点灯しない画素や、白い点（ファインダーの画面のみ）が常時点灯する画素が発生することがあります。

各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶📖に記載されているページをご覧ください。

本体の名称



1 **MAGN.**（拡大）／アサイン**8**ボタン ▶▶ 📖 86、128

2 **PEAKING**（ピーキング）／
アサイン**9**ボタン ▶▶ 📖 86、128

3 **ZEBRA**（ゼブラ）／アサイン**10**ボタン ▶▶ 📖 96、128

4 **AF LOCK**（AFロック）／
アサイン**11**ボタン ▶▶ 📖 83、128

5 **POWER**（電源）スイッチ ▶▶ 📖 24

6 **EXHAUST VENT**（排気口）

7 内蔵ワイヤレスアンテナ ▶▶ 📖 170

8 **STATUS**（ステータス）ボタン ▶▶ 📖 220

9 （ホワイトバランスセット）ボタン ▶▶ 📖 77

10 **WB**（ホワイトバランス）ボタン ▶▶ 📖 77

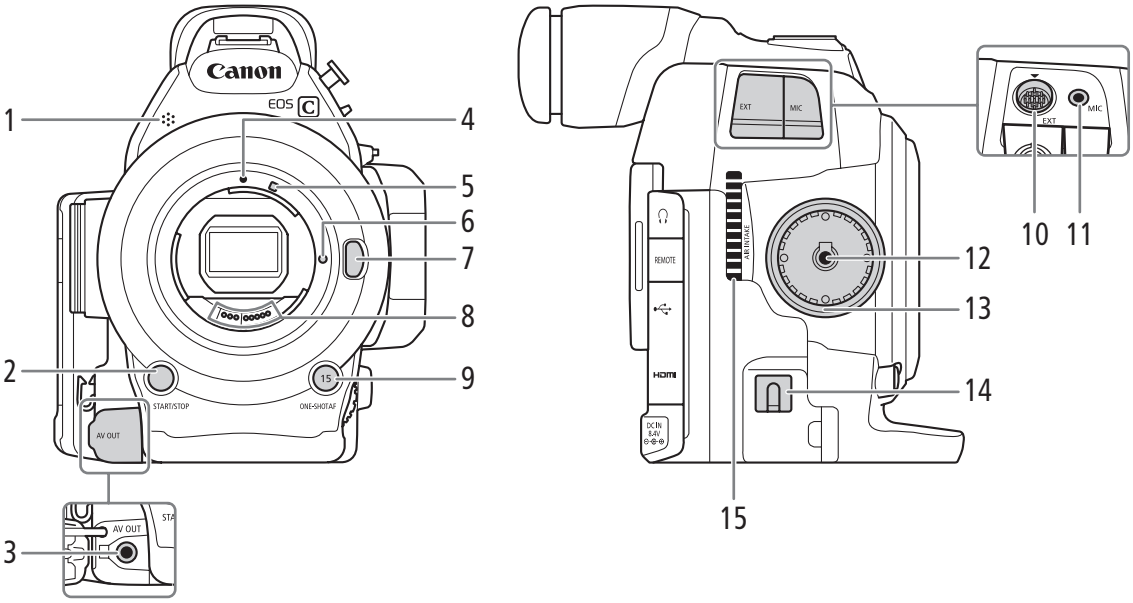
11 **CUSTOM PICT.**（カスタムピクチャー）ボタン
▶▶ 📖 131

12 **ND FILTER**（NDフィルター）
切り換え+/-ダイヤル ▶▶ 📖 70

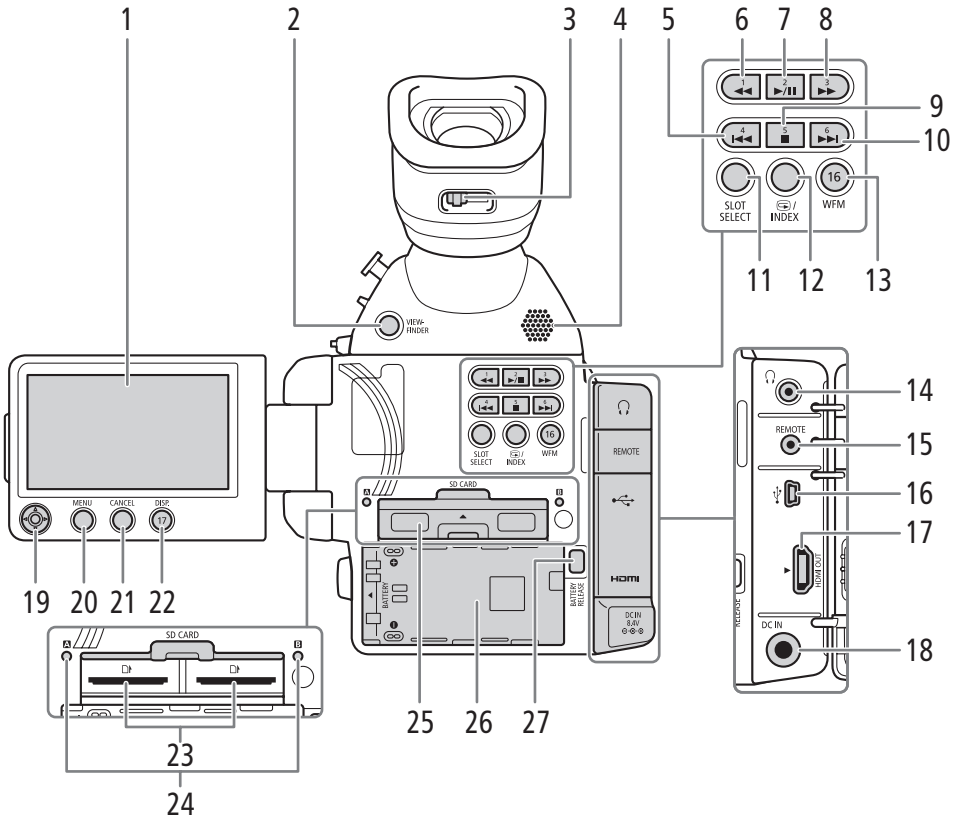
13 **PUSH AUTO IRIS**（プッシュオートアイリス）／
アサイン**12**ボタン ▶▶ 📖 74、128

14 **ISO/GAIN**（ISO感度／ゲイン）／
アサイン**13**ボタン ▶▶ 📖 68、128

15 **SHUTTER**（シャッター）／
アサイン**14**ボタン ▶▶ 📖 64、128



1 モノラルマイク ▶▶ 📖 101
2 **START/STOP**(スタート／ストップ)ボタン ▶▶ 📖 51
3 **AV OUT**端子 ▶▶ 📖 162
4 EFレンズ取り付け指標 ▶▶ 📖 30
5 EF-Sレンズ取り付け指標 ▶▶ 📖 30
6 レンズロックピン
7 レンズロック解除ボタン ▶▶ 📖 31
8 レンズ接点 ▶▶ 📖 243
9 **ONE-SHOT AF**(ワンショットAF)／アサイン**15**ボタン ▶▶ 📖 87、128
10 **EXT**(外部)端子 ▶▶ 📖 35
11 **MIC**(マイク)端子 ▶▶ 📖 102
12 グリップ接続端子 ▶▶ 📖 36
13 グリップ取り付け部 ▶▶ 📖 36
14 DCケーブル用ケーブルクランプ ▶▶ 📖 23
15 **AIR INTAKE**(吸気口)



1 有機ELモニター ▶▶ 📖 37

2 **VIEWFINDER**(ビューファインダー)ボタン ▶▶ 📖 37

3 視度調整レバー ▶▶ 📖 37

4 内蔵スピーカー ▶▶ 📖 152

5 ⏮(前スキップ) ／
アサイン**4**ボタン ▶▶ 📖 128、152

6 ◀◀(早戻し) ／アサイン**1**ボタン ▶▶ 📖 128、152

7 **▶/❚❚**(再生／一時停止) ／
アサイン**2**ボタン ▶▶ 📖 128、150

8 ▶▶(早送り) ／アサイン**3**ボタン ▶▶ 📖 128、152

9 ■(停止) ／アサイン**5**ボタン ▶▶ 📖 128、150

10 ⏭(次スキップ)／アサイン**6**ボタン ▶▶ 📖 128、152

11 **SLOT SELECT**(スロット選択)ボタン ▶▶ 📖 45

12 (レックレビュー) ／
INDEX(インデックス)ボタン ▶▶ 📖 113、148

13 **WFM**(波形モニター) ／
アサイン**16**ボタン ▶▶ 📖 111、128

14 (ヘッドホン)端子 ▶▶ 📖 109

15 **REMOTE**(リモート)端子 ▶▶ 📖 125
- リモートコントローラー RC-V100(別売) または市販のリモコンを接続する。

16 (USB)端子 ▶▶ 📖 168

17 **HDMI OUT**端子 ▶▶ 📖 162

18 **DC IN**端子 ▶▶ 📖 23

19 ジョイスティック ▶▶ 📖 26

20 **MENU**(メニュー)ボタン ▶▶ 📖 26

21 **CANCEL**(キャンセル)ボタン ▶▶ 📖 26

22 **DISP.**(ディスプレイ) ／アサイン**17**ボタン
▶▶ 📖 56、128

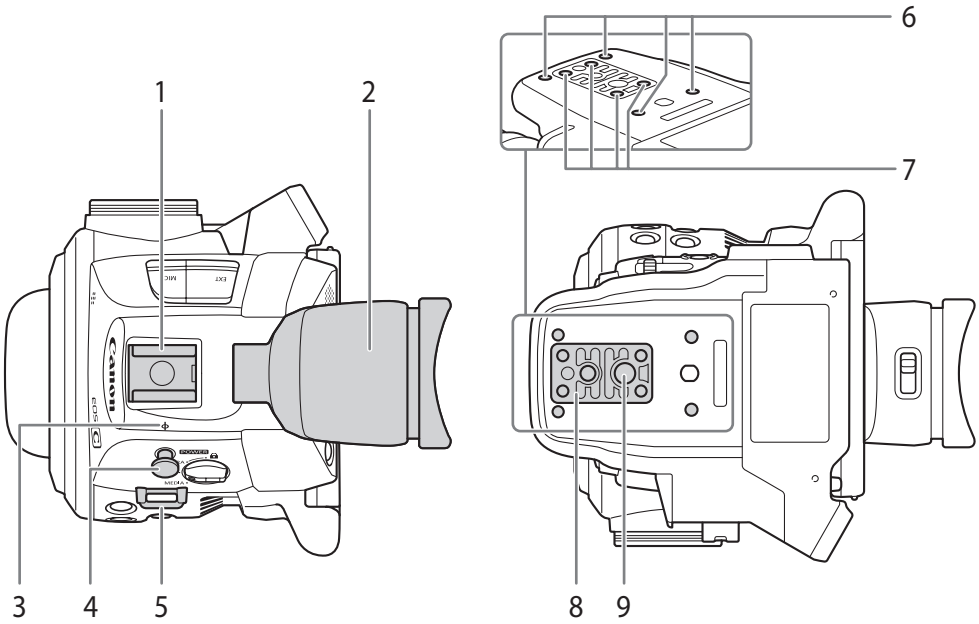
23 SDカードスロット(**SD A** ／ **SD B**) ▶▶ 📖 43

24 アクセスランプ(**SD A** ／ **SD B**) ▶▶ 📖 43

25 SDカードカバー ▶▶ 📖 43

26 バッテリー装着部 ▶▶ 📖 21

27 **BATTERY RELEASE**
(バッテリー取り外し)ボタン ▶▶ 📖 21



1 アクセサリーシュー
- 1/4インチネジ付き。

2 ファインダー ▶▶ 📖 37

3 ϕ 撮像面マーク

4 メジャーフック
- メジャーを使って撮像面からの距離を測るときに使う。

5 ストラップ取り付け部 ▶▶ 📖 41

6 別売の三脚アダプター TA-100取り付け部 ▶▶ 📖 40

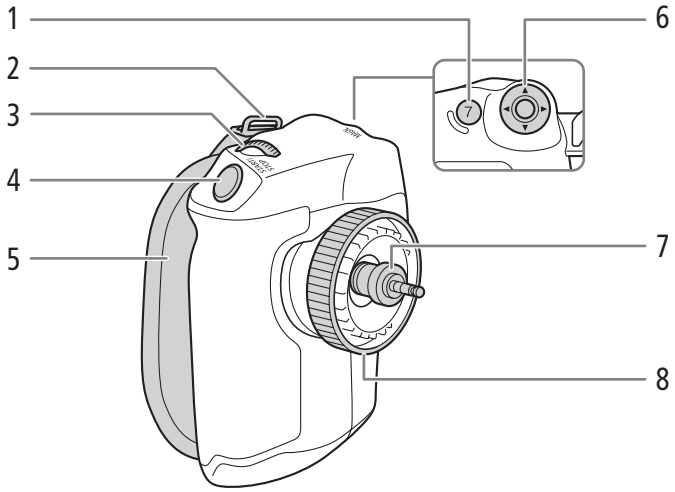
7 三脚ベース取り付けネジ ▶▶ 📖 40

8 3/8インチネジ用三脚ベースTB-1 ▶▶ 📖 40

9 三脚取り付け穴

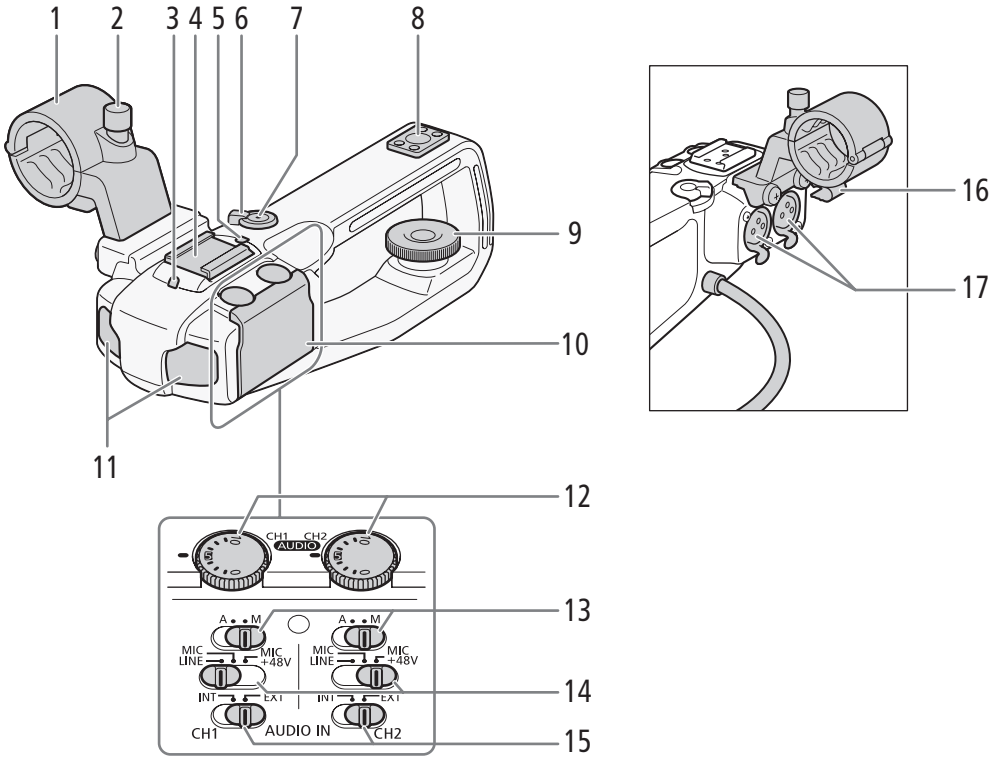
■ グリップの名称

ご購入時グリップは本体に取り付けられています。



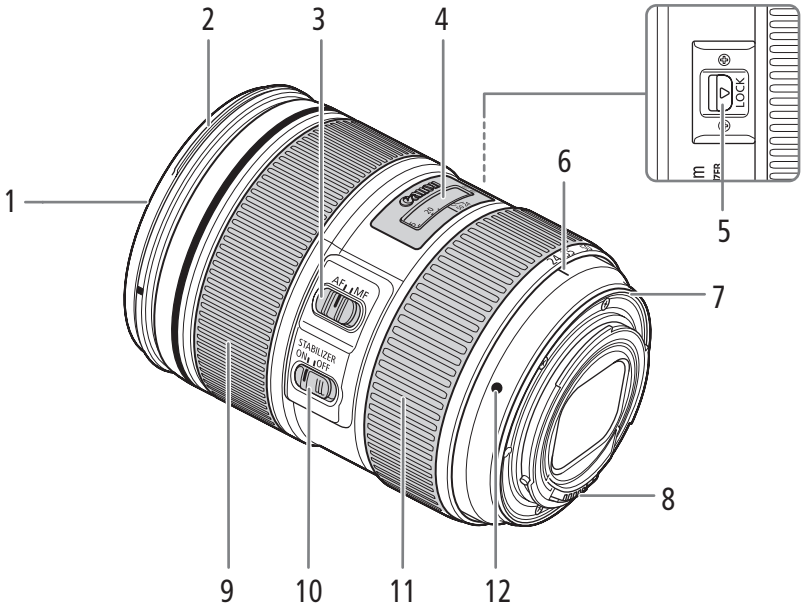
1 **MAGN.**（拡大）／アサイン**7**ボタン ▶▶ 📖 86、128
2 ストラップ取り付け部 ▶▶ 📖 41
3 電子ダイヤル ▶▶ 📖 72
4 **START/STOP**（スタート／ストップ）ボタン ▶▶ 📖 51
5 グリップベルト ▶▶ 📖 37
6 ジョイスティック ▶▶ 📖 26
7 接続プラグ ▶▶ 📖 36
8 取り付けネジ ▶▶ 📖 36

ハンドルユニットの名称



1 外部マイクホルダー ▶▶ 📖 102
2 外部マイク固定ネジ ▶▶ 📖 102
3 前部タリーランプ ▶▶ 📖 51
4 アクセサリーシュー
5 後部タリーランプ ▶▶ 📖 51
6 ロックレバー ▶▶ 📖 52
7 **START/STOP**(スタート／ストップ)ボタン ▶▶ 📖 51
8 1/4インチハンドルネジ
9 取り付けネジ ▶▶ 📖 35
10 AUDIO(録音レベル)カバー ▶▶ 📖 103、107
11 内蔵マイク ▶▶ 📖 103
12 AUDIO(録音レベル)調整つまみ (**CH1/CH2**) ▶▶ 📖 103、107
13 AUDIO(録音レベル)切り換えスイッチ (**CH1/CH2**) ▶▶ 📖 107
14 XLR端子切り換えスイッチ (**CH1/CH2**) ▶▶ 📖 106
15 **AUDIO IN**(音声入力)切り換えスイッチ (**CH1/CH2**) ▶▶ 📖 103、106
16 マイク用ケーブルクランプ ▶▶ 📖 102
17 XLR端子 (**CH1/CH2**) ▶▶ 📖 102、106

EFレンズEF24-105mm F4L IS II USMの名称



1 フィルター取り付けネジ部 ▶▶ 📖 122
2 フード取り付け部 ▶▶ 📖 120
3 フォーカスモードスイッチ ▶▶ 📖 84
4 距離目盛 ▶▶ 📖 122
5 ズームリングロックレバー ▶▶ 📖 122
6 ズーム指標 ▶▶ 📖 121
7 ゴムリング
8 接点
9 フォーカスリング ▶▶ 📖 84
10 手ブレ補正スイッチ ▶▶ 📖 121
11 ズームリング ▶▶ 📖 121
12 レンズ取り付け指標 ▶▶ 📖 30

MEMO

2

準　備

電源を準備する..... 20
日時を設定する..... 25
メニューで設定を変える 26
カメラを準備する 30
SDカードを準備する 42
ブラックバランスを調整する..... 48

電源を準備する

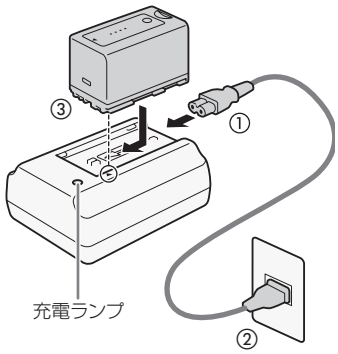
はじめてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。バッテリーが取り付けられている状態で、コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。

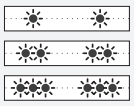
バッテリーを使う

本機ではバッテリー BP-955(付属)を使用できます。インテリジェントシステムに対応しているため、残量を確認できます。

充電する

付属のバッテリーチャージャー CG-945を使って充電します。バッテリーを使うときは、ショート防止用端子カバーを取り外します (📖 244)。





1秒間に1回点滅 → 0 ～ 34%
1秒間に2回点滅 → 35 ～ 69%
1秒間に3回点滅 → 70 ～ 99%

1 バッテリーチャージャーに電源コードを差し込む (①)

2 電源プラグをコンセントに差し込む (②)

3 バッテリーの先端を▼に合わせて、押し付けながらカチッと音がするまでスライドさせる (③)
- 充電ランプが点滅して、充電が始まる。
- 充電中は、充電ランプの点滅のしかたで充電量 (目安)を確認できる。点滅→点灯に変わったら充電終了。

4 バッテリーをスライドさせて、取り外す

5 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをバッテリーチャージャーから抜く

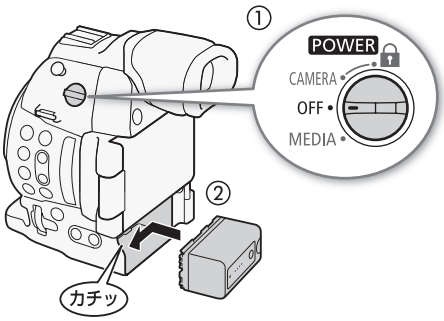
ご注意

- バッテリーチャージャーに指定された製品以外を接続しないでください。
- 10 ℃～ 30 ℃の場所で充電することをおすすめします。0 ℃未満、40 ℃を超える場所では充電できません。

MEMO

- バッテリーチャージャーやバッテリーに異常があると、充電ランプが消灯し、充電を中止します。
- バッテリーの取り扱いについては、244ページをご覧ください。
- バッテリーの充電時間とフルに充電したときの使用時間は、255ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- バッテリーは、充放電を繰り返すと少しずつ劣化して容量が少なくなります。BP-955(付属)を本機に取り付けると、バッテリー／使用時間ステータス画面 (📖 224)でバッテリーの寿命を確認できます。寿命をより正確に確認するには、バッテリーを充電してから使い切ってください。

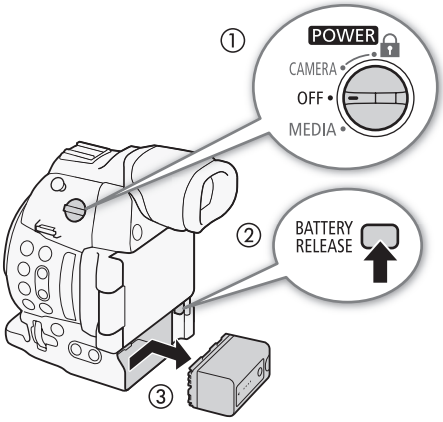
本体に取り付ける



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする (①)

2 バッテリーを奥に押しつけながら左にスライドさせ (②)、カチッと音がするまで入れる

本体から取り外す

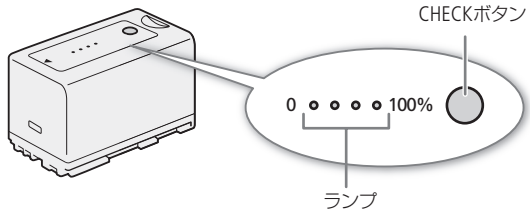


1 POWER(電源)スイッチをOFFにする (①)

2 BATTERY RELEASE (バッテリー取り外し) ボタンを押し (②)、バッテリーを右にスライドさせて取り出す (③)

残量を確認する

BP-955（付属）は、本機の電源を入れなくても、次の方法でバッテリーの残量（目安）を確認できます。 また、電源を入れたあとは、カメラモード／メディアモードの各画面（📖 54、148）や、バッテリー／使用時間ステータス画面（📖 224）で確認することもできます。



1 バッテリー上のCHECKボタンを押す

- 約3秒間ランプが点灯してバッテリーの残量（目安）を確認できる。

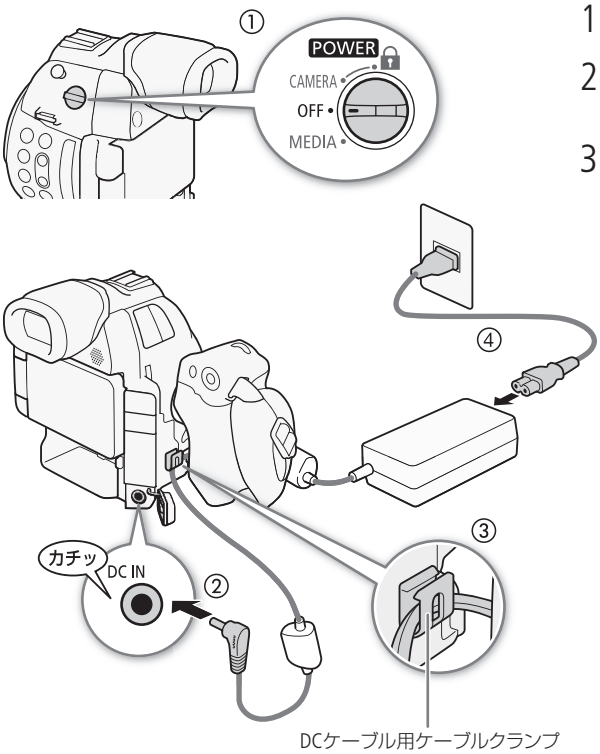
☀ ○ ○ ○	0 ～ 25%
☀ ☀ ○ ○	26 ～ 50%
☀ ☀ ☀ ○	51 ～ 75%
☀ ☀ ☀ ☀	76 ～ 100%

MEMO

- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ コンセントにつないで使う

ACアダプター CA-946（付属）を使って、コンセントにつないで使用できます。本機をコンセントにつなぐと、電源を入れたままバッテリーを交換することもできます。



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）

2 DC IN端子にDCプラグを差し込み（②）、ケーブルをクランプにとめる（③）

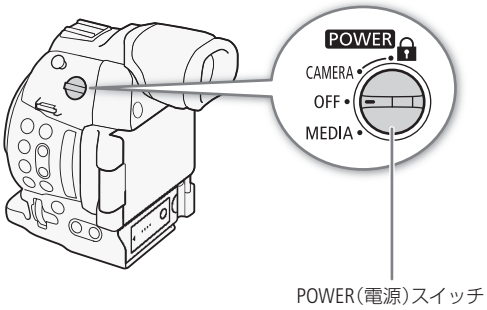
3 ACアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む（④）

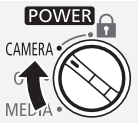
ご注意

- ACアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。

電源を入れる／切る

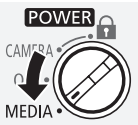
本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。





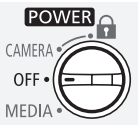
カメラモードで起動するとき

POWER（電源）スイッチをCAMERAにする。



メディアモードで起動するとき

POWER（電源）スイッチをMEDIAにする。



電源を切るとき

POWER（電源）スイッチをOFFにする。

日時を設定する

はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます*。操作に使用するボタンなどの位置を次ページの図で確認して、日時を設定してください。

* 内蔵のリチウム2次電池が放電したときも同様です。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

日付と時刻を設定する

① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選び、ジョイスティックを垂直に押す。
- カーソルが「月」に移動する。
- ジョイスティックを押すたびに、年→月→日→時→分の順にカーソルが移動する。

② ①の操作を繰り返して、日付／時刻を設定する。

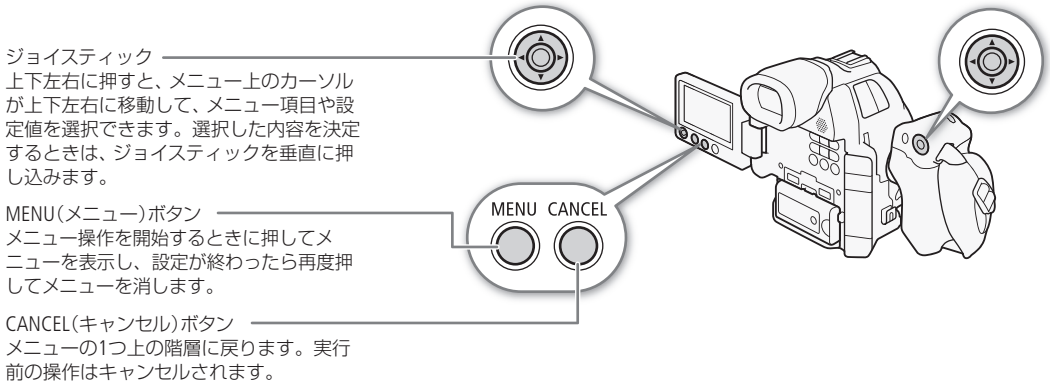
③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、時報に合わせてジョイスティックを垂直に押す。
- 日時設定が完了する。

MEMO

- 撮影中に現在の日時を表示するときは、カメラモード時にOLED/VF設定メニュー ➤「Custom Display 2」➤「日付/時刻」で設定します(📖 210)。
- 日時設定は、その他機能メニュー ➤「日時設定」➤「日付/時刻」で変更できます。また、タイムゾーンは、その他機能メニュー ➤「タイムゾーン」で変更できます(📖 212)。
- 本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付／時刻の設定が解除されることがあります。そのときは、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください(📖 245)。
- GPSレシーバー GP-E2（別売）を使用すると、GPSから得られる時刻情報を本機に自動で設定できます(📖 123)。

メニューで設定を変える

本機のさまざまな機能をメニューで設定します。よく使うメニュー項目をあらかじめマイメニュー（📖 28）に登録して設定することもできます。ここではメニュー設定の基本操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「メニュー一覧」（📖 202）をご覧ください。



メニュー操作の基本

例をあげてメニューの基本操作を説明します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

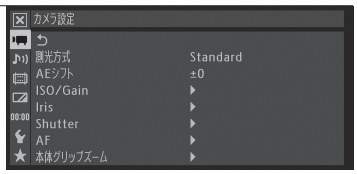
例：「ピーキング」を「2」に設定する場合

MENU

1 メニューを表示する

① MENUボタンを押す。

- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- メニューは、最後にメニューを消したときの状態が保持されたまま表示される。電源をOFF/ONすると初期状態に戻る。

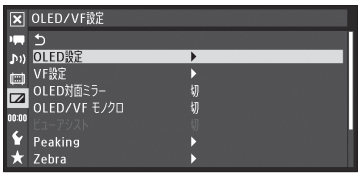


2 設定するメニューを選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニューを選ぶ。
- 選んだメニューのサブメニューが表示される。

② ジョイスティックを垂直に押す*。
- カーソルがメニュー項目に移動する。
- ジョイスティックを右に押して、カーソルをメニュー項目に移動することもできる。
- 表示しきれないメニュー項目があるときは、メニューの右端にスクロールバーが表示される。カーソルを上下に移動するとメニューがスクロールする。

* 以降、この操作を「ジョイスティックを押す」と記載する。

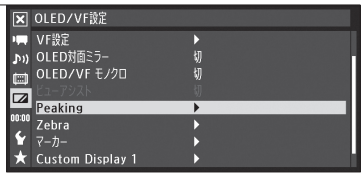


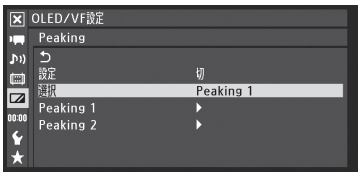
3 設定するメニュー項目を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニュー項目を選ぶ。

② ジョイスティックを押す。
- カーソルが設定内容に移動する。
- メニュー項目の右側に表示される「▶」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。
- 「CANCELボタンを押す*」、「ジョイスティックを左に押す」、「⮌を選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

* 以降、この操作を「CANCELを押す」と記載する。

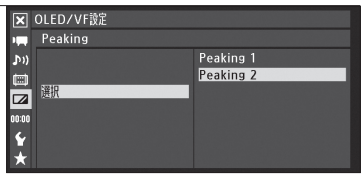




4 設定内容を選び、設定する

① ジョイスティックを上下に押して、設定内容を選ぶ。

② ジョイスティックを押す。
- 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。



5 メニューを消す

① MENUボタンを押す。
- メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。

MEMO

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 操作ガイドとして画面にSET、Cancel、MENUが表示されることがあります。 このときはガイドに応じて、それぞれジョイスティック(SET)、CANCELボタン、MENUボタンを押してください。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)使用時は、RC-V100の上/下/左/右/SET(設定)ボタンがジョイスティックと同様に機能します。SET (設定) ボタンは、ジョイスティックを垂直に押す操作と同じで、選択した内容を決定するときに使用します。
- 現在の設定内容の一部を、ステータス画面で確認できます(📖 220)。

マイメニューを使う

よく使うメニュー項目をあらかじめ登録しておき、必要なときに簡単に設定することができます。アサインボタンにマイメニューを割り当てておけば、1ボタン操作でマイメニューを開くこともできます。マイメニューにはメニュー項目を14個まで登録できます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

例：カメラ設定メニュー ➤「ISO/Gain」➤「選択」を追加する場合

1 マイメニューの「登録」を選ぶ

① ★マイメニュー ➤「編集」➤「登録」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- メニューが青色に変わり、マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ画面になる。

登録を中止するとき

CANCELを押す。

2 マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「ISO/Gain」➤「選択」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

② 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

③ ジョイスティックを押す。

- 「ISO/Gain　選択」がマイメニューに登録される。

登録したメニュー項目を並べ換える

マイメニューに登録したメニュー項目を並べ換えることができます。

1 マイメニューの「並べ換え」を選ぶ

① ★マイメニュー ➤「編集」➤「並べ換え」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- マイメニューに登録されているメニュー項目が一覧表示される。

2 メニュー項目を選んで並べ換える

① 並べ換えるメニュー項目を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだメニュー項目の左に⬍が表示される。

② ジョイスティックを上下に押して、移動先を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- メニュー項目が移動する。

登録したメニュー項目を消去する

マイメニューに登録したメニュー項目を、1項目ずつまたはすべて消去することができます。

1 マイメニューの「消去」または「設定初期化」を選ぶ

① ★マイメニュー ➤「編集」➤「消去」または「設定初期化」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 消去する

「消去」を選んだとき

消去するメニュー項目を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

① 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「消去」を選んだときは選んだメニュー項目が、「設定初期化」を選んだときは登録されているすべてのメニュー項目が、消去される。

② ジョイスティックを押す。

カメラを準備する

ここではレンズやハンドルユニットの取り付け／取り外し、ファインダーや有機ELモニターの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。本機は、ハンドルユニット、グリップを着脱できるため、撮影シーンに応じて必要なユニットを自由に組み合わせて撮影できます。

レンズを準備する

レンズの取り付け／取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。取り付けるレンズの説明書もあわせてご覧ください。EFレンズEF24-105mm F4L IS II USMの使いかたについては120ページをご覧ください。

ご注意

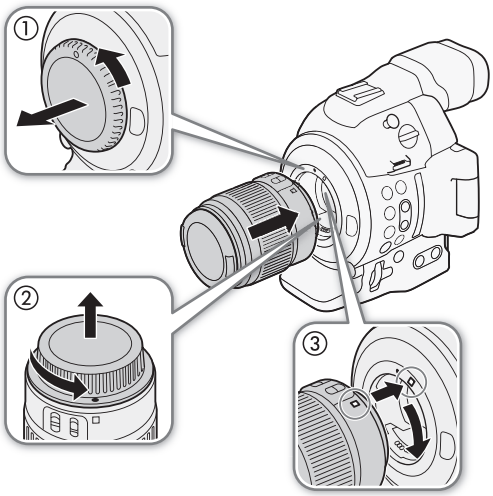
- レンズの取り付け／取り外しは、直射日光や強い照明を避けて行ってください。また、ビデオカメラやレンズを落とさないようにご注意ください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に動作しないことがあります。
- EFレンズ EF24-105mm F4L IS II USMは防じん・防滴性能を向上させるため、マウント部にゴムリングを採用しています。レンズの着脱を繰り返すと、本体のレンズマウント外周部分に細い擦れ跡が付くことがありますが、使用上の問題はありません。なお、ゴムリングはキヤノンサービスセンターで交換（有料）できます。

MEMO

レンズを取り外したとき

- レンズや本体のレンズマウント、レンズマウントの内部に手を触れないでください。
- 本体のレンズマウントにボディキャップを、レンズにダストキャップを取り付けてください。
- キャップはゴミやほこりを落としてから使用してください。

EFレンズを取り付ける

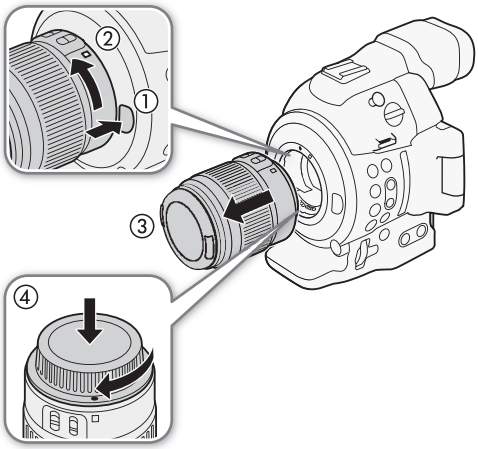


1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

2 EFレンズマウントからボディキャップを取り外し（①）、レンズからダストキャップを取り外す（②）

3 レンズを取り付ける（③）
- 本機とレンズの取り付け指標を合わせ、レンズを図のようにカチッと音がするまで回す。
- EFレンズの指標は赤色、EF-Sレンズの指標は白色。

EFレンズを取り外す



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

2 レンズロック解除ボタンを押しながら(①)、レンズを図のように回して(②)取り外す(③)
- 回転が止まるまで回してから取り外す。

3 EFレンズマウントにボディキャップを取り付ける

4 取り外したレンズにダストキャップを取り付ける(④)

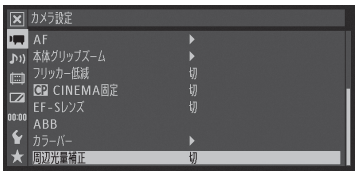
MEMO

- 手ブレ補正機能を搭載したEFレンズを使用する場合、手ブレ補正をONにするとバッテリーの持ちが悪くなることがあります。三脚使用時など補正の必要がないときは、手ブレ補正をOFFにすることをおすすめします。
- 取り付けたレンズによっては、次の動作になることがあります。
  - レンズ型名情報の一部が省略されて表示される。
  - フォーカスモードスイッチがAFのときに手動でフォーカス調整できない。
  - フォーカスプリセット機能が使用できない(超望遠レンズ)。
  - レンズに搭載されたパワーズーム機能が使用できない。
- レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できます(対応レンズのみ。📖 215)。

EFレンズの周辺光量を補正する

レンズの特性により、映像の四隅の明るさが中央部に比べて暗くなりますが、レンズごとの補正データを用いて、周辺部の光量低下を補正することができます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



① レンズを取り付けたあと、カメラ設定メニュー ➤「周辺光量補正」を順に選ぶ。
- 取り付けているレンズの型名情報が画面に表示される。

「周辺光量補正」が灰色になっていて選べないとき
- 取り付けているレンズの補正データが本機にない。

❶ 本機の周辺光量補正が取り付けているレンズに対応しているかどうか、キヤノンのホームページで確認する。
❷ 周辺光量補正に対応している場合は、ファームウェアをダウンロードし、本機のファームウェアを更新する。
❸ ①から操作する。

② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 以降の撮影時、取り付けているレンズの周辺光量が補正される。

EF-Sレンズについて

EF-Sレンズを装着している場合、周辺光量の低下が大きくなることがあります。これを回避するために、センサーの切り出し範囲を変更することができます。

① カメラ設定メニュー ➤「EF-Sレンズ」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に EF-S が表示される。

- 「EF-Sレンズ」を「入」にすると、約1.04倍の電子拡大が行われるため、画質が劣化します。通常は「切」にして使用することをおすすめします。

MEMO

レンズごとの補正データについて

本機発売時点で販売している周辺光量補正対応レンズ（一部を除く）の補正データは、あらかじめ本機に格納しています。将来発売されるレンズの補正データについては、補正データを含むファームウェアで本機のファームウェアを更新することによって、本機に取り込むことができます。最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

周辺光量の補正ができないとき

- レンズの補正データが本機に格納されていないとき。
- 他社製レンズを装着しているとき。他社製レンズを装着して「周辺光量補正」を「入」に設定できる場合でも、「切」にすることをおすすめします。

● 撮影条件によっては、記録される映像の周辺部にノイズが発生することがあります。
● 距離情報を持たないレンズでは、補正量が少なくなります。
● ISO感度／ゲインが高くなるほど、補正量が少なくなります。

EFレンズのファームウェアを更新する

本機に装着したEFレンズのファームウェアを更新することができます。使用するEFレンズの最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

① レンズのファームウェアをキヤノンのサイトからダウンロードしてSDカードに保存し、SDカードをカードスロットAに入れる。
② レンズを取り付けたあと、その他機能メニュー ➤ 「Lens Firmware」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 取り付けているレンズのバージョン情報が画面に表示される。

「Lens Firmware」が灰色になっていて選べないとき

● 取り付けたレンズがファームウェアの更新に対応していないか、本機に入れたSDカードにファームウェアが保存されていない。
レンズやSDカードを確認して①から操作する。

③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ ファームウェアの更新ファイル（XXX.LFU）を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
⑤ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● レンズのファームウェアの更新が開始される。
● ファームウェアの更新は中止できない。
⑥ 更新が終了したらジョイスティックを押す。

ご注意

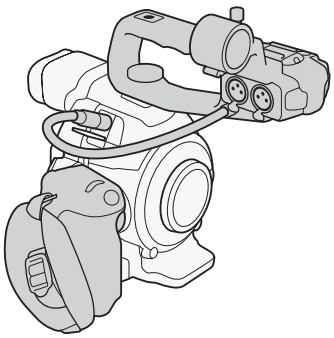
● ファームウェアを更新している間は次のことを必ず守ってください。
- 電源を切らない。バッテリーやレンズを取り外さない。
- 他のボタンを操作しない。
- SDカードカバーを開けて、SDカードを取り出さない。

MEMO

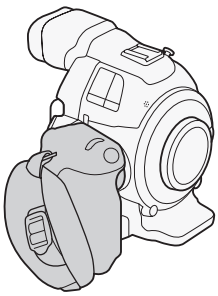
● プレ記録（115）を「入」に設定しているときはファームウェアの更新を行うことができません。
● ACアダプター、または十分に充電したバッテリーを装着して操作してください。
● エクステンダー EFを装着しているときは、取り外してから操作してください。

本機の構成例

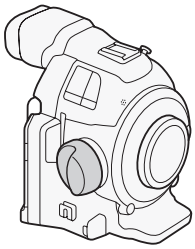
ハンドルユニット構成



手持ち撮影構成（グリップ使用）

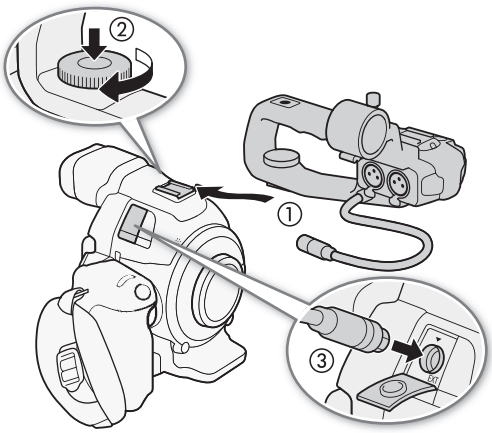


最小撮影構成（サムレスト使用）



ハンドルユニットを取り付ける／取り外す

ハンドルユニットを取り付ける



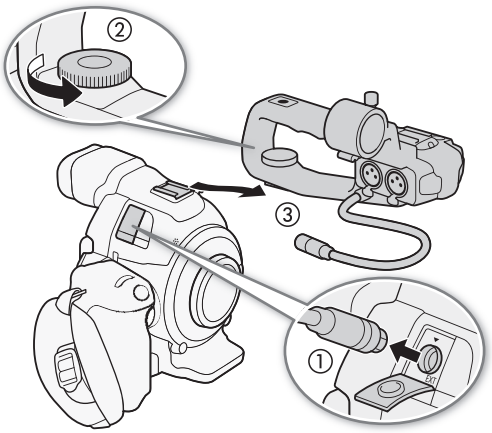
1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

2 ハンドルユニット底面の取り付け金具を本体上部のアクセサリーシューに差し込む（①）

3 ハンドルユニットの取り付けネジを上から押しつけながら回して固定する（②）

4 指標（▼）を合わせてハンドルユニットのケーブルをEXT（外部）端子に接続する（③）

ハンドルユニットを取り外す



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

2 ハンドルユニットのケーブルを抜く（①）
- ケーブル先端の金具を手前に引きながら、ケーブルを引き抜く。

3 ハンドルユニットの取り付けネジをゆるめる（②）

4 ハンドルユニットをスライドさせて取り外す（③）

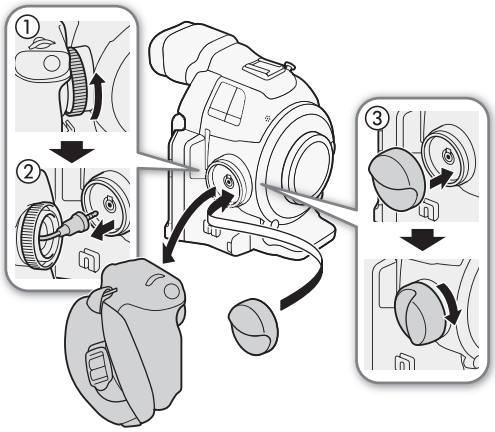
MEMO

- ハンドルユニット上部のアクセサリーシューまたは1/4インチハンドルネジに市販のアクセサリーを取り付けることができます。

■ グリップを取り外す／取り付ける

グリップを取り外す

グリップを取り外してサムレストを取り付ければ、手持ち撮影用の最小幅構成にできます。電子ダイヤル（📖 71）、MAGN.（拡大）／アサイン7ボタン（📖 86、128）などを使用して本機を操作することはできません。



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

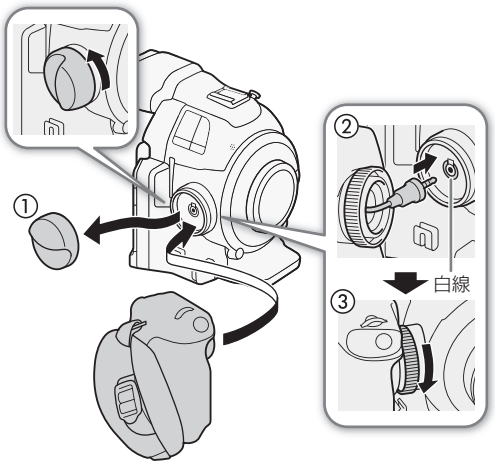
2 グリップの取り付けネジを回して、グリップを取り外す（①）
- このとき接続プラグは接続されているので、無理に引っ張らない。

3 グリップの接続プラグを抜く（②）

4 サムレストを取り付ける（③）

グリップを取り付ける

グリップは15°刻みで角度を変えて取り付けることができます。撮影の状況に応じて好みの角度で取り付けます。



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

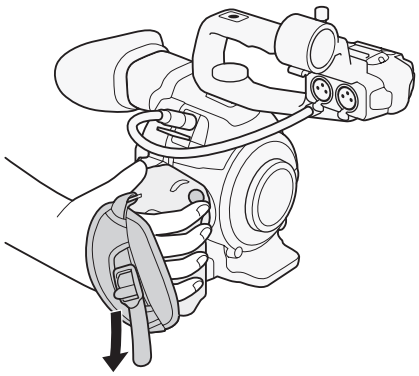
2 サムレストを取り外す（①）

3 グリップの接続プラグを奥までしっかり差し込んで接続する（②）
- グリップ接続端子の周囲の白線が見えなくなるまでしっかり差し込む。
- 接続が不十分だと（白線が見えていると）、ビデオカメラ本体の操作が利かなくなることがある。

4 グリップを好みの角度に合わせ、取り付けネジを回して固定する（③）

グリップベルトを調節する

人さし指をスタート／ストップボタンに添え、グリップを軽く握った状態でベルトの長さを調節します。



ご注意

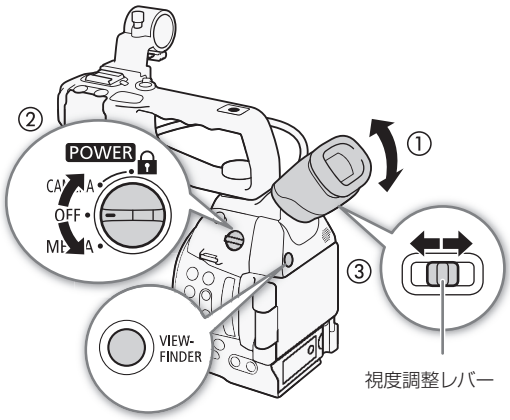
- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

ファインダーと有機ELモニターを使う

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

ファインダーの角度と視度を調整する

ファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



1 ファインダーを見やすい角度に調整する（①）
- ファインダーの角度は68°まで調整できる。

2 本機の電源を入れる（②）

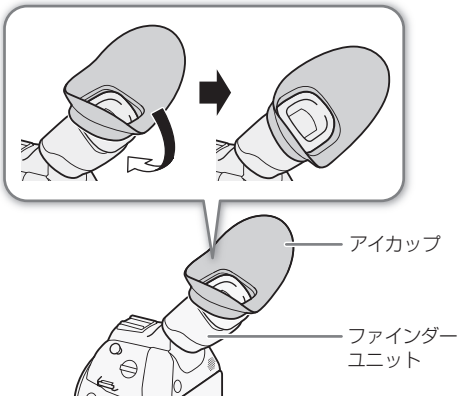
3 視度調整レバーを左右に動かして調整する（③）

ファインダーの表示を入／切するとき

VIEWFINDER（ビューファインダー）ボタンを押す。

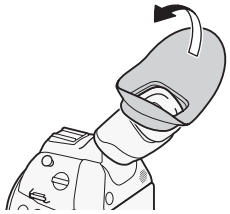
アイカップを取り付ける

ファインダーユニットのゴム部分にアイカップをかぶせるようにして取り付けます。アイカップは視度調整レバーを覆いませんので、視度調整操作に支障はありません。なお、左目でファインダーを見るときはアイカップを逆向きに取り付けてください。

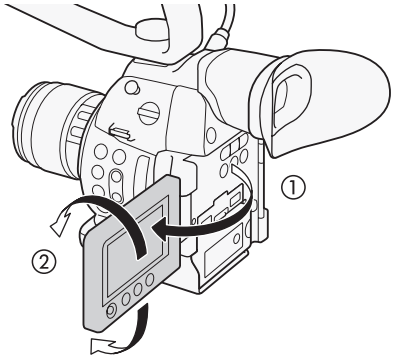


アイカップを取り外す

アイカップの側面を引っ張るようにして外します。

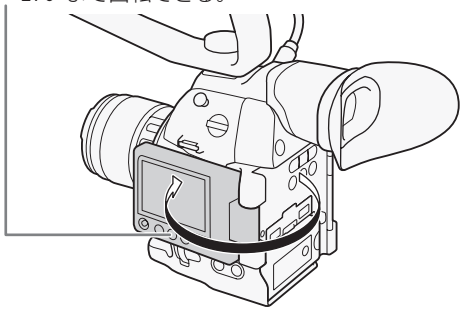


有機ELモニターを使う



1 有機ELモニターを引き出し（①）、見やすい角度に調整する（②）

- 270°まで回転できる。

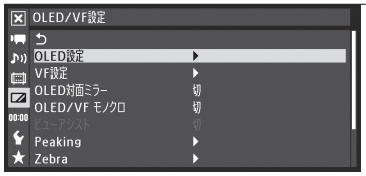


MEMO

- ファインダーを使用しないで長時間撮影するときは、表示を切にすることをおすすめします。
- 有機ELモニターの画面を相手に見せながら撮影するときなどは、OLED*/VF設定メニュー ➤「OLED対面ミラー」を「入」にすると、画面を左右に反転して表示させることができます。
- 有機ELモニターとファインダーの画面をモノクロに表示するときは、OLED*/VF設定メニュー ➤「OLED/VF モノクロ」を「入」にします。モノクロ表示にしても、表示文字などはカラーで表示されます。
  *OLED（Organic Light-Emitting Diode）とは、有機化合物に電圧をかけると発光する現象（有機EL）を応用した有機発光ダイオードのこと。
- 市販のレンズアダプターなどを取り付けたときに映像が上下左右に反転する場合は、その他機能メニュー ➤「Custom Function」➤「スキャンリバース記録」（216）で、映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させて記録することができます。
- アサインボタンに「OLED/VF モノクロ」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます（128）。

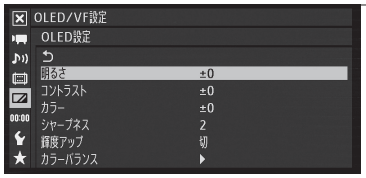
有機ELモニターやファインダーの画面を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスの各項目を、有機ELモニターとファインダーでそれぞれ個別に調整できます。また、有機ELモニターでは画面の輝度を、ファインダーではバックライトをそれぞれ調整することもできます。なお、これらの設定は記録される映像には影響しません。



1 「OLED設定」または「VF設定」を選ぶ

① OLED/VF設定メニュー ➤「OLED設定」または「VF設定」を順に選ぶ。
② ジョイスティックを押す。



2 調整する

① 調整する項目を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「輝度アップ」*1、「バックライト」*2から選ぶ。

*1 有機ELモニターのみ。*2 ファインダーのみ。

② ジョイスティックを上下に押して調整する ➤ ジョイスティックを押す。
- 「輝度アップ」を選んだときは「入」または「切」を、「バックライト」を選んだときは「ノーマル」または「明るい」を選ぶ。

③ 調整する項目について、①②を繰り返す。

有機ELモニターのカラーバランスを調整する

有機ELモニターは経年変化により色のバランスが変わることがあります。このときはカラーバランスを調整します。

① OLED/VF設定メニュー ➤「OLED設定」➤「カラーバランス」を順に選ぶ。
② 「R-B連動調整」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ ジョイスティックを上下に押して調整する ➤ ジョイスティックを押す。
- レッド（R）とブルー（B）が同時に調整される。

さらに詳細に調整するとき

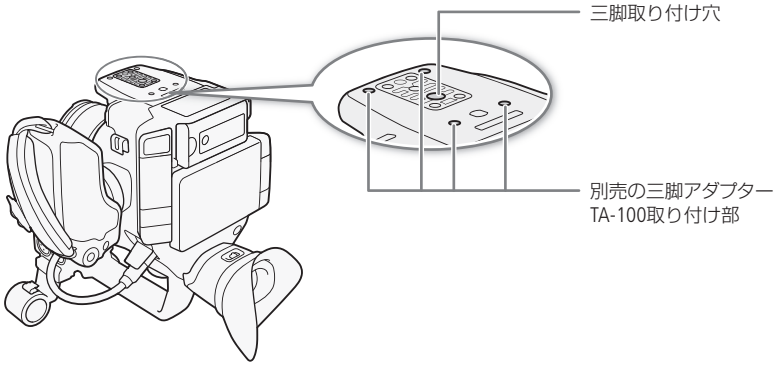
① 「R微調整」または「B微調整」を選ぶ。
② ジョイスティックを上下に押して調整する ➤ ジョイスティックを押す。
- レッド（R）またはブルー（B）が独立して調整される。

MEMO

- アサインボタンに「OLED設定」を割り当てると、アサインボタンを押してOLED/VF設定メニュー ➤「OLED設定」を表示できます（📖 128）。「VF設定」についても同様です。
- DISP.（ディスプレイ）ボタンを長押し（約3秒）して、有機ELモニターの「輝度アップ」を入/切することもできます。

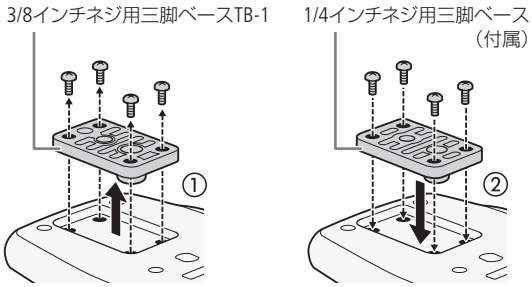
本体を三脚に取り付ける

ご購入時、本体には3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1が取り付けられています。取り付けネジの長さが5.5mm未満の三脚を取り付けることができます。



取り付けネジ径が1/4インチの三脚を使う

取り付けネジの径が1/4インチの三脚を使用するときは、三脚ベース（三脚取り付け部）を1/4インチネジ用の三脚ベース（付属）に交換する必要があります。



1 3/8インチネジ用の三脚ベースを取り外す（①）
- ネジを4本取り外す。

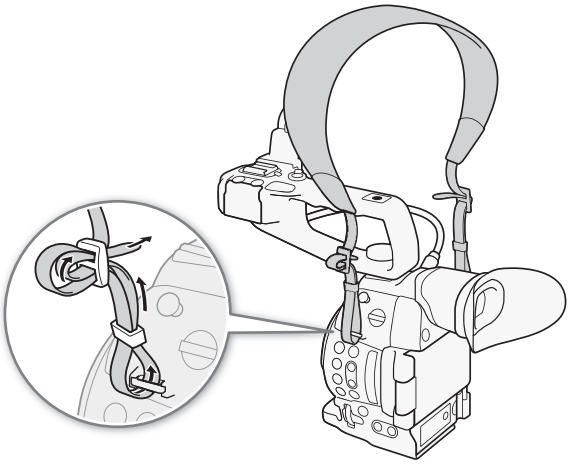
2 1/4インチネジ用の三脚ベース（付属）を取り付ける（②）
- 4本のネジをしっかり閉める。

3 三脚を取り付ける
- 三脚のネジは確実に締める。

ご注意

- ネジの長さが5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。

ショルダーストラップを取り付ける



ご注意

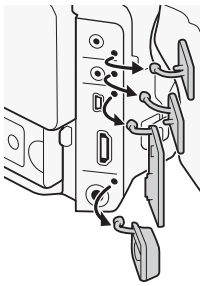
- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

端子カバーを取り外す／取り付ける

本機の端子カバーは、すべて取り外すことができます。

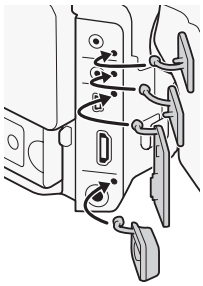
取り外す

端子カバーを開けて、まっすぐに引き出す。



取り付ける

端子カバーの取り付け部を、取り付け口に差し込む。



MEMO

- 取り外し／取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくいときは、ピンセットなど先の細いものを使用してください。

SDカードを準備する

本機では動画や静止画をSDカードに記録します。また、カスタムピクチャーファイルや設定データも記録されます。SDカードを使用するときは、はじめに本機で初期化してください（📖 44）。

使用可能なSDカード

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*	CLASS4 CLASS6 CLASS10

* SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。ビットレートが35 MbpsのMP4動画を記録するときはClass 6または10、スロー &ファーストモーション記録を行うときはClass 10のカードを推奨します。

次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2014年10月現在）。詳細情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

● Panasonic　● TOSHIBA　● SanDisk

ご注意

● 撮影や編集を繰り返しているSDカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめSDカードの動画や静止画を保存してから、本機でSDカードを完全初期化してください。

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

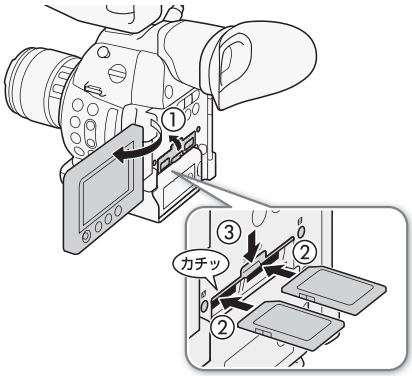
- SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応するレコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはSDカードのメーカーにお問い合わせください。
- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、SDカードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**

MEMO

● すべてのカードの動作を保証するものではありません。

■ SDカードを入れる／出す

本機は2つのSDカードスロットを備えています。



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

2 有機ELモニターを手前に引き出し、SDカードカバーを開ける（①）

3 SDカードのラベル面を上にして、カチッと音がするまでしっかり入れる（②）

SDカードを出すとき

SDカードの端を押して、SDカードが出てきたら抜く。

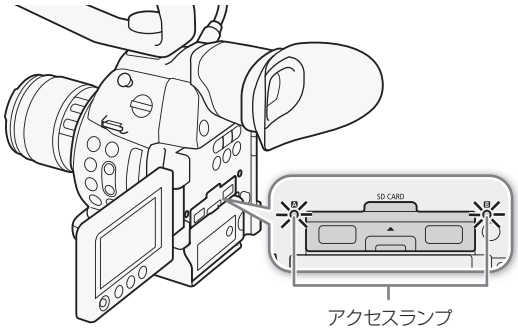
4 SDカードカバーを閉じる（③）

- SDカードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

アクセスランプの光りかた

アクセスランプ	スロットの状態
点灯（赤）	カードにアクセス中
点灯（緑）	記録／再生可能でかつ、スロットが記録／再生先として選択されている
消灯	• カードにアクセスしていない • カードが入っていない • 別のスロットが選択されている

アクセスランプは点灯しないようにすることもできます（📖 213）。



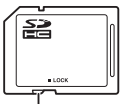
ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。
- SDカードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにSDカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- SDカードには表裏の区別があります。SDカードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。

MEMO

誤ってデータを消さないために

SDカードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。



誤消去防止ツマミ

初期化する

SDカードをはじめて使用するときや、SDカードに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するときに初期化します。SDカードの初期化には「高速初期化」と「完全初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

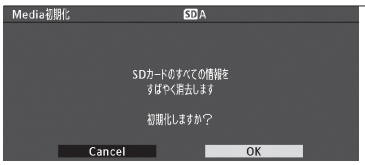
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1 初期化するSDカードを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「Media初期化」を順に選ぶ。
② 「SD A」または「SD B」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 初期化の方法を選ぶ

① 「完全初期化」または「高速初期化」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



3 初期化を実行する

① 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだSDカードが初期化され、すべての情報が消去される。

「完全初期化」を中止するとき

ジョイスティックを押す。SDカードはそのまま使用できるが、データはすべて消去される。

② ジョイスティックを押す。

ご注意

- 初期化すると、カスタムピクチャーファイルなどを含め、SDカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- 「完全初期化」は、SDカードによっては数分かかることがあります。

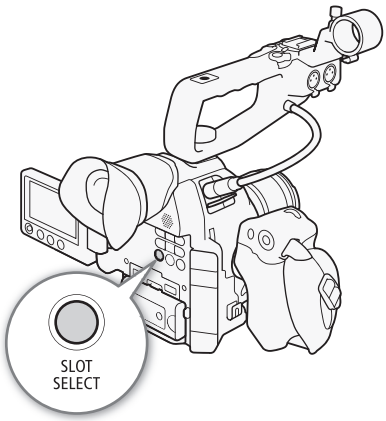
MEMO

- アサインボタンに「Media初期化」を割り当てると、アサインボタンを押してMedia初期化画面を表示できます（📖 128）。

SDカードスロットを切り換える

2つのSDカードスロット（SD🅐 / SD🅑）にSDカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えることができます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



1 SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押す

- 選択されたスロットのアクセスランプが緑色に点灯する。

MEMO

- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットは切り換わりません。
- ブラウザーリモートを使って撮影するときは、ブラウザーリモートの「SLOT SELECT」を押して切り換えることもできます。
- 記録先として設定したSDカードに静止画（📖 192）も記録されます。

SDカードスロット記録方式を選ぶ

2つのSDカードに連続して映像を記録するリレー記録と、2つのSDカードに同時に映像を記録するダブルスロット記録があります。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

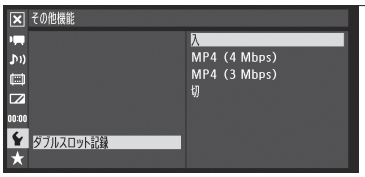
リレー記録

撮影中にSDカードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わり、映像を記録します。SD A⇔SD B両方向で連続記録が可能です。

① その他機能メニュー ➤「リレー記録」を選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

ダブルスロット記録

同じ映像をA/B両方のSDカードに同時に記録し、バックアップを取ることができます。



① その他機能メニュー ➤「ダブルスロット記録」を選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 現在記録先として選択していないSDカードに記録する形式を選ぶ。
  入：現在の記録信号形式の動画を記録。
  MP4（4 Mbps）：4 Mbps 1280 x 720のMP4動画を記録。
  MP4（3 Mbps）：3 Mbps 640 x 360のMP4動画を記録。
- 「STBY D」と「D XX min」が表示される。

MEMO

- AVCHD動画(28 Mbps)またはMP4動画(35 Mbps) と、MP4動画(4 Mbps / 3 Mbps)は同時に記録できません。
- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないSDカードの空き容量がなくなると、両SDカードへの記録を停止します。なお、一方のSDカードに書き込みエラーが発生しても、他方のSDカードへの記録は継続します。
- ダブルスロット記録は、リレー記録やスロー＆ファーストモーション記録との併用はできません。またダブルスロット記録が「入」のときは最終クリップ消去は使用できません。

SDカードの記録可能時間を確認する

カメラモードのときは、各スロットに入っているSDカードの記録可能時間（分単位）*1と、選択しているスロットを画面で確認できます（📖 54）。また、メディアステータス画面（📖 223）を表示すると、各SDカードの総容量、スピードクラス、使用量、記録可能時間*2や記録可能静止画枚数を確認できます。

*1 記録可能時間は、現在設定しているビットレート（📖 59）を元に算出します。

*2 カメラモード時のみ確認できます。

SDカードを修復する

記録中に停電する、記録中にSDカードを取り出すなどの原因によって、SDカードに記録したデータに異常が発生することがあります。このときは、SDカードを修復することによってSDカード内のデータを正常な状態に戻すことができます。修復が必要なSDカードをスロットに入れたときや、修復が必要なMP4クリップを再生したとき、修復するかどうかを確認するエラーメッセージが画面に表示されます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1 「SD A（SD B）は修復が必要です 修復しますか？」または「このクリップは修復が必要です　修復しますか？」が表示されたとき　修復を行う

① 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 修復が行われる。
- 修復が終了すると、「修復が終了しました。クリップを確認してください」が表示される。

② ジョイスティックを押す。

MEMO

- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはSDカードが物理的に壊れているときは修復できません。

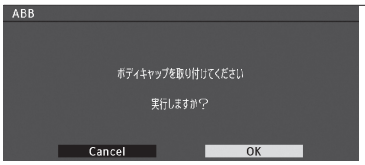
ブラックバランスを調整する

使用環境の温度が変わったときなど映像信号の黒がずれたときに、ブラックバランスを自動的に調整することができます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1 オートブラックバランス（ABB）を選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「ABB」を順に選ぶ。



2 ボディキャップを取り付けて、ABBを実行する

① ボディキャップ（📖 10）を取り付ける
- レンズを取り付けているときはレンズを取り外し、ボディキャップを取り付ける。

②「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に「実行中」が表示され、ブラックバランス調整が行われる。

3 終了する

調整が正常に終了したとき

- 画面に「処理が完了しました」が表示される。

ジョイスティックを押す。

センサーの遮光が正しく行われなかったとき

- ボディキャップが取り付けられていないと、画面に「エラー」が表示される。

❶ ジョイスティックを押す。
❷ 再度、操作1から操作する。

MEMO

ブラックバランス調整が必要な場合

- 本機を初めて使用するとき。
- 長時間使用しなかった後に使用するとき。
- 周囲の温度が大幅に変化したとき。
- ISO感度／ゲインの設定を変更したとき。

- ブラックバランス調整には、約40秒かかります（23.98Pの場合）。
- ブラックバランス調整中、画面の表示が乱れますが、故障ではありません。
- その他機能メニュー ➤「リセット」➤「全設定」または「カメラ設定」を行うと、ブラックバランス調整は初期状態に戻ります。このときは、再度ブラックバランス調整を行ってください。

3 撮影

動画を撮影する..... 50

映像の信号形式を選ぶ..... 59

カメラダイレクト設定を使う..... 61

シャッタースピードを調整する... 62

ISO感度／ゲインを調整する 67

NDフィルターを切り換える 70

アイリスを調整する..... 71

ホワイトバランスを調整する..... 77

フォーカスを調整する..... 83

ズームを操作する 93

マーカー／
ゼブラパターンを表示する..... 94

タイムコードを設定する..... 97

ユーザービットを設定する 100

音声を記録する..... 101

カラーバー／
テストトーンを記録する..... 110

波形モニターを表示する 111

レックレビューで確認する..... 113

ファイル番号の付けかたを
選ぶ 114

特殊記録を行う..... 115

常時記録を行う..... 118

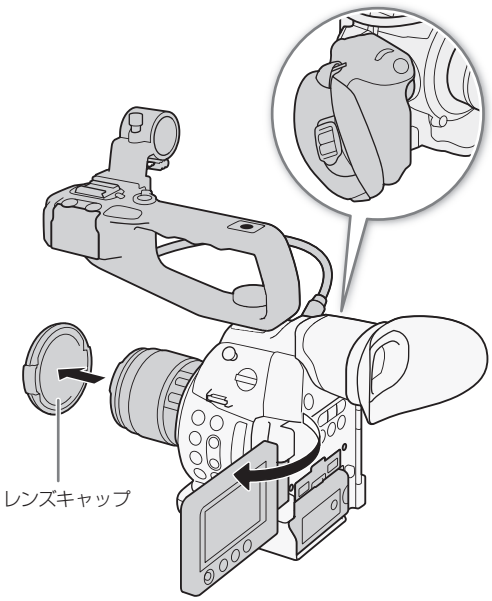
アクセサリーを使う 120

動画を撮影する

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、101ページをご覧ください。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

準備する



1 充電したバッテリーを取り付ける（📖 21）

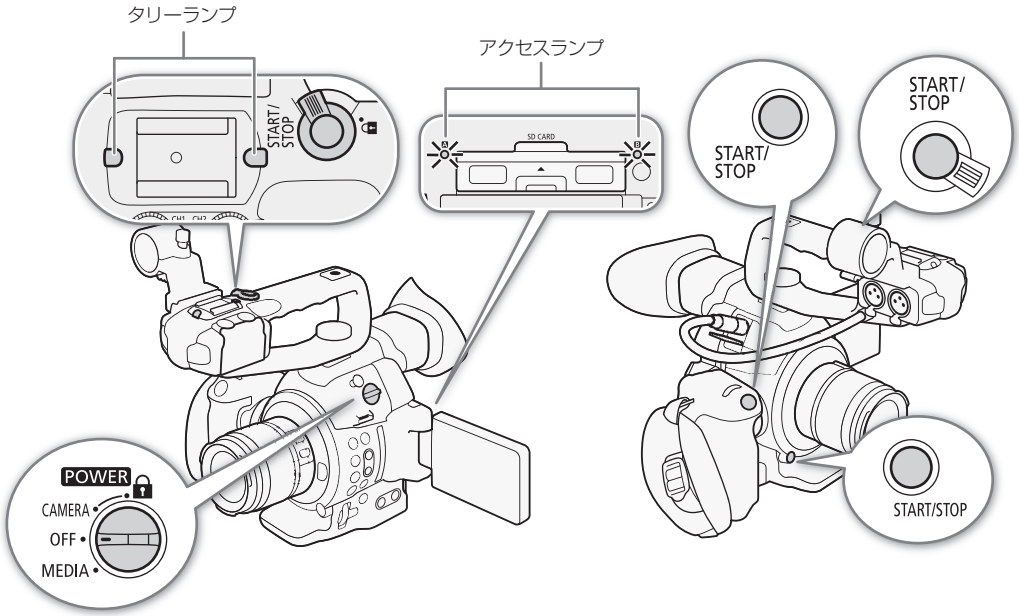
2 レンズを取り付ける（📖 30）

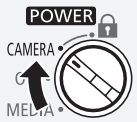
3 撮影状況に応じて、ハンドルユニット、グリップなどの構成を準備する（📖 34）

4 ファインダーと有機ELモニターを調整する（📖 37）

5 SDカードを入れる（📖 43）
- リレー記録（📖 46）、ダブルスロット記録（📖 46）を行うときは、SDカードを2枚入れる。

撮影する





1 POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする (📖 24)

- 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態 (STBY)になる。
- 両方のSDカードスロットのアクセスランプが赤く点灯したあと、記録先として選択されているSDカードスロットのアクセスランプが緑色に点灯する。

2 START/STOP(スタート／ストップ)ボタンを押す

- 撮影が始まる。前後のタリーランプが点灯し、画面に●RECが表示される。
- グリップ、ハンドルユニット、本体前面のSTART/STOPボタンのいずれを押しても撮影開始できる。

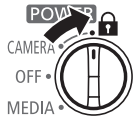
3 撮影を停止するとき　もう一度START/STOP(スタート／ストップ)ボタンを押す

- クリップ*がSDカードに記録され、撮影一時停止状態 (STBY) になる。タリーランプは消灯する。

* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。

撮影設定をロックする

- POWER（電源）スイッチを🔒（キーロック）にすると、カメラモードのまま、START/STOPボタン以外の操作を無効にでき、誤操作を防止できます。ブラウザーリモートからは操作できます。POWER（電源）スイッチをCAMERAに戻すとキーロックは解除されます。
- その他機能メニュー ➤「Custom Function」➤「🔒START/STOP」でSTART/STOPボタンを無効にすることもできます（📖 216）。



ハンドルユニットのSTART/STOPボタンをロックする

- ハンドルユニットのSTART/STOPボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。ロックレバーを🔒側にすると、ハンドルユニットのSTART/STOPボタンをロックできます。このとき、本体側の操作はロックされません。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - SDカードカバーを開けて、SDカードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

- 撮影環境によっては、オートフォーカス、絞り、手ブレ補正機能などを使用するときのレンズの動作音やファンの回転音が記録されることがあります。その場合、外部マイクを使用することで低減することができます。
- レックレビュー機能（📖 113）を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。
- その他機能メニュー ➤「最終クリップ消去」で、最後に記録したクリップを消去できます（📖 214）。なお、ダブルスロット記録を「入」に設定していると、「最終クリップ消去」は使用できません。
- ビデオ設定メニュー ➤「HDMI」➤「記録コマンド」➤「入」にして、本機とHDMI記録コマンド対応機器をHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。
- 1回の撮影操作で撮影できる時間は約12時間です。約12時間を超えると自動的に停止します。

クリップについて

- 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。
- クリップ内の映像ファイル（ストリーム）は、約4 GB毎に分割して記録されます。本機では連続して再生されます。
- 分割されたファイルは、付属のソフトウェアData Import Utilityで結合してパソコンに取り込むことができます（📖 168）。

ブラウザーリモートで撮影する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで撮影します。またライブビューを使うと、ネットワークに接続した機器の画面で画角を確認できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（📖 170）。画面の詳細については184ページをご覧ください。

1 ライブビュー映像を表示する

① LIVE VIEW ON/OFF（ライブビュー）ボタンを押す。
- ライブビュー映像が表示される。

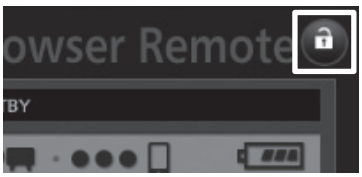
2 撮影を行う

① START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押す。
- 撮影が開始され、撮影状態表示が「● REC」に変わる。
- START/STOP（スタート／ストップ）ボタン中央の●が赤色に変わる。
- タイムコードがビデオカメラ本体と同様に表示される。

② START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押して撮影を終える。
- 撮影状態表示が「STBY」に変わる。

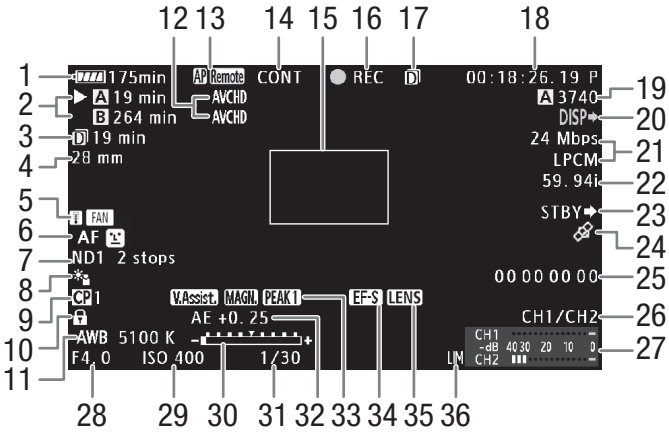
操作をロックする

ブラウザーリモート画面右上の🔒ボタンを押すとブラウザーリモートのすべての操作をロックできます。このとき、本体側の操作はロックされません。🔒を押すと、ロックは解除されます。



撮影時の画面表示

ここでは、カメラモードのときの画面表示について説明します。表示を入／切できる項目については表中の「カスタムディスプレイ」をご覧ください。



「日付/時刻」を表示したときの画面

番号	アイコン／表示	説明	カスタムディスプレイ*	📖
1	(赤色) 000 min	バッテリー残量と撮影／再生可能時間（分単位）の目安 は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。	2　バッテリー残量	ー
2	A / B 、（赤色）	SDカードに記録可能 選択中のSDカードに▶が付く。 SDカードなし／記録不可能	2　記録可能時間	ー
	00 min	記録可能時間（分）		
3	D 00 min	ダブルスロット記録時の記録可能時間 緑色：記録可能 黄色：残り時間わずか 赤色：SDカードなし／記録不可能	2　記録可能時間	46
	D CONT 00:00:00	常時記録時のショット総記録時間		118
4	00 mm	EFレンズの焦点距離の目安	1　焦点距離	ー
5	（赤色／黄色）	高温警告 内部温度が上昇すると（黄色）が、本機を使い続けてさらに上昇すると（赤色）が表示される。	2　温度/ファン	231
	FAN	冷却ファン		57

番号	アイコン／表示	説明	カスタムディスプレイ*	📖
6	MF、AF	フォーカスモード	1　Focus Mode	83
	、	顔検出AF	1　Focus Mode	91
7	ND1 2 stops、 ND2 4 stops、 ND3 6 stops	NDフィルター	1　ND Filter	70
8	、	測光方式	1　測光方式	76
9	CP 0、 0	カスタムピクチャー	1　Custom Picture	131
10		キーロック	1　キーロック	52
11	AWB 0000K、 A/B 0000 K、 K 0000 K、、	ホワイトバランス	1　White Balance	77
12	AVCHD、MP4	動画形式	2　動画形式	59
13	、AP	ネットワーク接続状態 白色：接続完了 黄色：接続／切断処理中	2　ネットワーク機能	170
	FTP	FTPファイル転送 白色：サーバーへのログイン完了 黄色：サーバーにログイン処理中 赤色：FTP転送不可能* * カメラモードのみ。		186
	Remote	ブラウザーリモート 白色：接続準備完了 黄色：接続／切断処理中 赤色：ブラウザーリモート不可能		181
14	PRE REC	プレ記録	2　記録モード	115
	S&F	スロー＆ファーストモーション記録		115
	CONT	常時記録		118
15		ワンショットAF枠	1　Focus Mode	87
16	STBY、●REC	撮影一時停止中*、撮影中 *常時記録中、CONTが赤く表示されているときは記録しています。	2　記録モード	―
17	D	ダブルスロット記録	2　記録モード	46
18	00:00:00.00 00:00:00:00	タイムコード	2　Time Code	97
19	A / B 0000	静止画記録可能枚数	2　静止画記録可能枚数	192
20	DISP→	画面表示出力	2　Output Display	165

番号	アイコン／表示	説明	カスタムディスプレイ*	📖
21	00 Mbps 0000x0000	ビットレート／解像度* *MP4動画記録時のみ。	2　ビットレート/解像度	59
	LPCM	音声記録方式 「ビットレート」で「28 Mbps LPCM」または「24 Mbps LPCM」を選択しているときのみ表示。		59
22	00.00P、00.00i	撮影フレームレート* ／フレームレート * スロー＆ファーストモーション記録時のみ。	2　フレームレート	59 115
23	REC➡、STBY➡	記録コマンド	2　記録コマンド	207
24		GPS信号の受信状態 GPSレシーバー GP-E2接続中、衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。	2　GPS	123
25	00 00 00 00	ユーザービット	2　User Bit	100
26	CH1/CH2	音声出力チャンネル	2　モニター Channels	166
27	CH1 -dB 40 30 20 10 0 CH2	オーディオレベルメーター	2　Audio Level	107
28	F0.0	アイリス／ F値	1　Iris	71
29	ISO 000、 00.0 dB	ISO感度／ゲイン	1　ISO/Gain	67
30	- +	露出バー	1　Exposure	75
31	1/0000、 000.00°、 000.00Hz	シャッタースピード	1　Shutter	62
32	AE ±0.00	AEシフト	1　Exposure	75
33	V.Assist.	ビューアシスト	1　ビューアシスト	58
	MAGN.	拡大表示	1　Magnification	86
	PEAK1、PEAK2	ピーキング	1　Peaking	86
34	EF-S	EF-Sレンズ	1　EF-S レンズ	30
35	LENS	レンズ警告	1　レンズ	209
36	LIM	オーディオリミッター	2　Audio Level	108
37	0000.00.00 AM/PM 00:00	日付/時刻	2　日付/時刻	25

* OLED/VF設定メニュー ➤「Custom Display 1」または「Custom Display 2」の詳細項目（📖 209）。「1」はCustom Display 1、「2」はCustom Display 2を表わす。

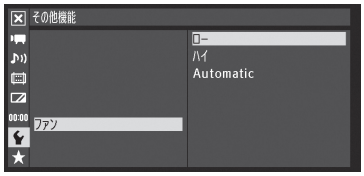
MEMO

- DISP.（ディスプレイ）ボタン（📖 13）を押すと画面表示を次のように切り換えることができます。
  カメラモード：全表示 → マーカーのみ表示* → 全消去
  メディアモード（動画再生中）：全表示 → ジョイスティックガイド以外表示 → 全消去
  * マーカー表示（📖 95）を「入」にしているときのみ。

冷却ファンの動作方法を選ぶ

本機内部の熱を排出する冷却ファンの動作方法を選びます。

ロー	常に低速で回転。通常はこの設定を使用する。
ハイ	常に高速で回転。
Automatic	撮影一時停止中は低速で回転し、撮影中（画面に●RECが表示中）は自動的に停止する。ただし撮影中でも本機の内部温度が上昇し🌡が出ると、自動的に低速で回転し、画面にFANが出る。内部温度が十分下がると再び停止する。冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。



① その他機能メニュー ➤「ファン」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「Automatic」選択時は画面にFANが表示される。

ご注意

- 冷却ファンが回転しているとき、EXHAUST VENT（排気口）から温かい空気が排出されます。

MEMO

- 高温下など撮影環境によっては「Automatic」にしてもファンが停止しないことがあります。
- メディアモードのときは常にファンは回転しています。
- 内蔵冷却ファンの吸排気口（📖 11、12）をテープなどで塞がないでください。

Canon LogガンマとCINEMAプリセット

CP CINEMA固定を使うと、画質設定がカスタムピクチャーのCINEMAプリセットに固定されます*。記録する映像やHDMI OUT端子から出力される映像のガンマとカラーマトリクスがCanon Log（📖 138）に設定されます。撮像素子の特性を最大限に引き出す広いダイナミックレンジを実現し、ポストプロダクション処理に適した色調の映像を記録します。Canon Logで撮影したクリップは、LUT（ルックアップテーブル）を適用してポストプロダクション処理を行うことができます。最新のLUTデータについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

* カスタムピクチャーは使用できません。

① カメラ設定メニュー ➤「CP CINEMA固定」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 本機の画質設定が、カスタムピクチャーのCINEMAプリセットに固定され、画面にCP LOCKEDが表示される。

MEMO

- カスタムピクチャーを「C9」に設定してもCanon Logが適用されます。その場合、その他のカスタムピクチャーの調整ができます（📖133）。

Canon Log使用時の映像を確認する

Canon Logを使用すると、画面に表示される映像が全体的に暗くなります。本機の画面またはHDMI OUT端子に接続したモニターで、通常のガンマに近い明るさの映像を確認できます。Canon Logで撮影している映像を本機の画面で確認するときは、ビューアシストを使用すると、通常のガンマに近い色調で表示できます。ビューアシストは、各出力端子から出力される映像や、記録される映像には影響しません。HDMI OUT端子に接続して確認するときは163ページをご覧ください。

① OLED/VF設定メニュー ➤「ビューアシスト」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に V.Assist. が表示される。

映像の信号形式を選ぶ

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、動画形式、ビットレート、解像度、音声記録方式、フレームレートの組み合わせからなります。本機ではAVCHD形式、MP4形式の2つの動画形式で動画を記録できます。MP4形式の動画は、Webへのアップロードや速報用のファイル転送などに適しています。

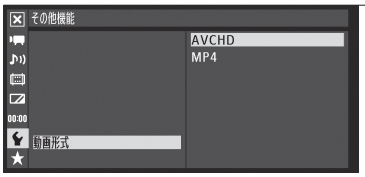
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

* システム周波数はメディアモード時にも設定できます。

記録信号形式

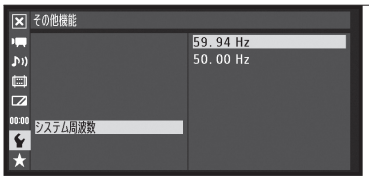
動画形式	ビットレート*1	解像度	音声記録方式	フレームレート	
				59.94Hz時*2	50.00Hz時*2
AVCHD	28 Mbps LPCM	1920x1080	リニアPCM	59.94P	50.00P
	28 Mbps		Dolby Digital		
	24 Mbps LPCM		リニアPCM	59.94i PF29.97*3 23.98P	50.00i PF25.00*4
	24 Mbps		Dolby Digital		
	17 Mbps				
	7 Mbps	1440x1080			
MP4	35 Mbps	1920x1080	AAC	59.94P	50.00P
	24 Mbps			29.97P 23.98P	25.00P
	17 Mbps				
	4 Mbps	1280x720			
	3 Mbps	640x360			

*1 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用。
*2 「システム周波数」の値。
*3 映像を約30コマ／秒（29.97P）で撮影、59.94iに変換して記録。
*4 映像を約25コマ／秒（25.00P）で撮影、50.00iに変換して記録。



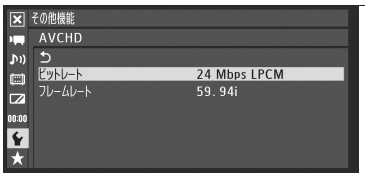
1 動画形式を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「動画形式」を順に選ぶ。
② 「AVCHD」または「MP4」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択した動画形式が画面に表示される。



2 システム周波数を選ぶ

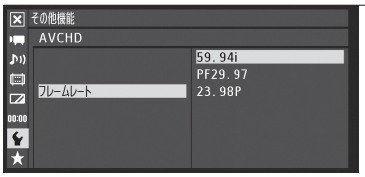
① その他機能メニュー ➤「システム周波数」を順に選ぶ。
② 「59.94 Hz」または「50.00 Hz」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 本機が59.94 Hzモードまたは50.00 Hzモードに設定され、再起動する。



3 ビットレートを選ぶ

① AVCHDのとき
その他機能メニュー ➤「AVCHD」➤「ビットレート」を順に選ぶ。
MP4のとき
その他機能メニュー ➤「MP4」➤「ビットレート/解像度」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したビットレートと解像度*が画面に表示される。

* MP4記録時のみ。



4 フレームレートを選ぶ

- 次の場合はこの操作は不要。
  - AVCHDモードで28 Mbpsのとき。
  - MP4モードで35 Mbpsのとき。
  - MP4モードでシステム周波数が50.00Hzのとき。

① その他機能メニュー ➤「AVCHD」または「MP4」➤「フレームレート」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだフレームレートが画面に表示される。

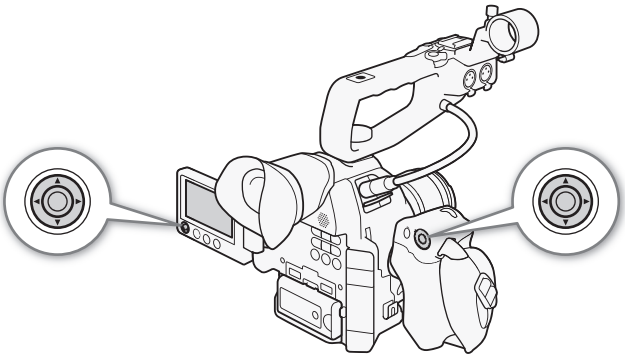
MEMO

- 1枚のSDカードに、59.94 Hzと50.00 Hzで撮影したAVCHDクリップを混在して記録することはできません。
- 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」（📖 160）をご覧ください。

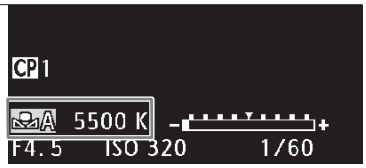
カメラダイレクト設定を使う

ジョイスティックを操作して、ホワイトバランス、ISO感度／ゲイン、シャッタースピードを設定できます。ここでは、基本的な操作を説明します。詳細については各機能のページをご覧ください。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



1 カメラダイレクト設定に入る



① ジョイスティックを押す。
- 画面のホワイトバランス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードのいずれかの背景がオレンジ色になる。

② ジョイスティックを左右に押して、設定したい項目に切り換える。
- ジョイスティックを左右に押すと、ホワイトバランス、ISO感度／ゲイン、シャッタースピードにオレンジの背景が切り換わる。設定する機能にオレンジの背景を合わせる。

2 調整方法や数値を変更する

① ジョイスティックを上下に押して調整方法や数値を変更する。
② ジョイスティックを押す。
- 設定が決定され、画面はオレンジ色の表示が解除され、通常表示に戻る。

MEMO

- 約6秒間操作しないか、またはメニューやステータス画面を開くと、カメラダイレクト設定は自動的に終了します。

シャッタースピードを調整する

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

シャッタースピードの調整のしかた

スピード	秒数でシャッタースピードを設定する。設定時の刻み幅は、メニューで1/3段と1/4段から選べる。
アングル	開角度でシャッタースピードを設定する。
クリアスキャン	周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにするときなど。
スロー	フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で撮影するときなど。スロー &ファーストモーション記録のときは選択できない。
切	各フレームレートの基準シャッタースピードを使用する。

設定可能なシャッタースピード

選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

システム周波数が59.94Hzのとき

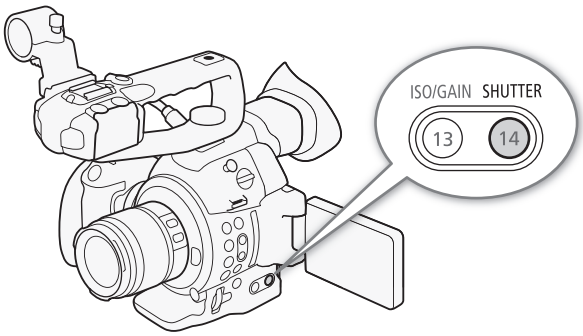
			フレームレート		
			59.94P / 59.94i	PF29.97 / 29.97P	23.98P
シャッタースピードのモード	切*1		1/60秒	1/30秒	1/24秒
	スピード *1*2	1/3段刻み	1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒	1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒	1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒
		1/4段刻み	1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒	1/30、1/34、1/40、1/48、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒	1/24、1/30、1/34、1/40、1/48、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒
	アングル*1		360°、240°、216°、180°、120°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、240°、216°、180°、120°、108°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、345.6°、288°、240°、180°、172.8°、144°、120°、90°、86.4°、72°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°
	クリアスキャン*1		59.94Hz ～ 250.51Hz	29.97Hz ～ 250.51Hz	23.98Hz ～ 250.51Hz
	スロー		1/4、1/8、1/15、1/30秒	1/4、1/8、1/15秒	1/3、1/6、1/12秒

システム周波数が50.00Hzのとき

			フレームレート	
			50.00P / 50.00i	PF25.00 / 25.00P
シャッタースピードのモード	切*1		1/50秒	1/25秒
	スピード*1*2	1/3段刻み	1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒	1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒
		1/4段刻み	1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/350、1/400、1/500、1/600、1/700、1/800、1/1000、1/1200、1/1400、1/1600、1/2000秒	1/25、1/29、1/33、1/40、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/350、1/400、1/500、1/600、1/700、1/800、1/1000、1/1200、1/1400、1/1600、1/2000秒
	アングル*1		360°、300°、240°、180°、150°、120°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、300°、240°、180°、150°、120°、90°、75°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°
	クリアスキャン*1		50.00Hz ～ 250.51Hz	25.00Hz ～ 250.51Hz
	スロー		1/3、1/6、1/12、1/25秒	1/3、1/6、1/12秒

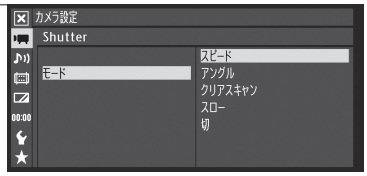
*1 スロー &ファーストモーション記録の場合、設定できる値は撮影フレームレートによって変わる。
*2 ブラウザーリモートで設定するときは、1/3段刻みと、1/4段刻みのすべての値の一覧から設定可能。

調整する



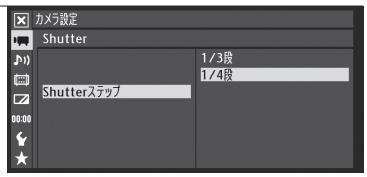
1 シャッタースピードのモードを選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「Shutter」➤「モード」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 「スピード」を選んだとき　設定時の刻み幅を選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「Shutter」➤「Shutterステップ」を順に選ぶ。
② 「1/3段」または「1/4段」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



3 値を調整する

① SHUTTER(シャッター)ボタンを押す。
- 画面のシャッタースピードの背景がオレンジ色になる。
- ジョイスティックを押してシャッタースピード設定に入ることもできる（📖 61）。

② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
③ ジョイスティックを押す。
- シャッタースピードの設定値が決定され、オレンジ色の表示が解除される。

MEMO

- アサインボタンに「SHUTTER」を割り当てると、アサインボタンを押してシャッタースピードの設定モードに入ることができます（📖 128）。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からワイヤレスで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（📖 181）。

1 シャッタースピードのモードを選ぶ

① 「Speed」を押す。
② 「Off」、「Speed」、「Slow」、「Angle」、「Clear Scan」のいずれかを選ぶ。

2 値を調整する

① シャッタースピードの設定値を押す。
- 選択可能なシャッタースピードの値が表示される。

② いずれかの値を選ぶ。
- 必要に応じて画面をスクロールさせて値を選ぶ。
- 選んだシャッタースピードの値がブラウザーリモートの画面に表示される。

スローによる撮影について

スローを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパンするときに背景を流したり、ズームに残像効果を加えたりするなど特殊効果として使用することもできます。
- 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。

MEMO

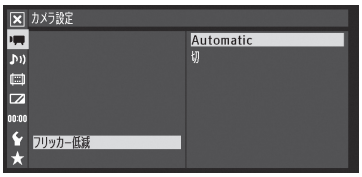
小絞りによるボケを防ぐには

- 晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りを絞り込むと、小絞りによるボケが発生することがあります。この現象は、NDフィルターの濃度を濃くするか、シャッタースピードを高速にして絞りを開くことによって防止できます。

- シャッタースピードのモードをスローにすると、画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- カスタムピクチャーをEOS Std.プリセットに設定しているとき、「スピード」モードでデジタル一眼レフカメラEOSと同じシャッター値を設定しても、デジタル一眼レフカメラEOSと同じ輝度にならないことがあります。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のSHUTTER SELECT（シャッタースピードモード選択）ボタンで、シャッタースピードのモードを切り換えることもできます。

フリッカーを抑える

蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正します。



① カメラ設定メニュー ➤「フリッカー低減」を順に選ぶ。
② 「Automatic」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

- 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒または1/120秒を選んでください。
  * フレームレートによっては選択できません。

ISO感度／ゲインを調整する

映像アンプの増幅量をISO感度またはゲインで設定できます。設定時の刻み幅は、ISO感度／ゲインそれぞれ個別に設定できます。

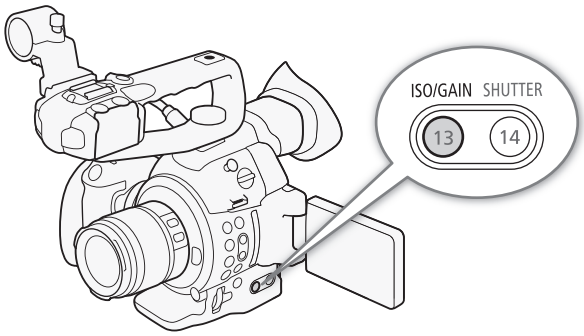
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

設定可能な値

	刻み幅	設定可能な値	
			感度拡張時のみ*1
ISO感度	1段	320*2、400、800、[850]*3、1600、3200、6400、12800、20000*2*4	25600、51200、102400*2
	1/3段	320、400、500、640、800、[850]*3、1000、1250、1600、2000、2500、3200、4000、5000、6400、8000、10000、12800、16000、20000	25600、32000、40000、51200、64000、80000、102400
ゲイン	ノーマル	−6 ～ 30dB（3dBごと）	33、36、39、42、44dB
	ファイン	−6 ～ 24dB（0.5dBごと）	−

*1 カメラ設定メニュー ➤「ISO/Gain」➤「感度拡張」を「入」にしたとき（203）。
*2 刻み幅が1段のときでも最大値／最小値を設定可能。
*3 [ ]で表記したISO感度は、Canon Logガンマに適したダイナミックレンジを実現するのに必要な感度。ゲインの2.5dBに相当。
*4「感度拡張」が「切」のときのみ設定可能。

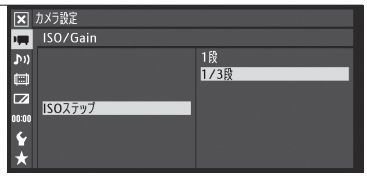
調整する

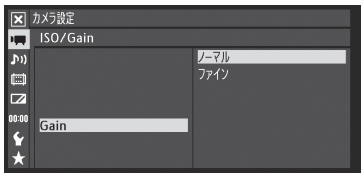


1 設定方法を選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「ISO/Gain」➤「選択」を順に選ぶ。
② 「ISO」または「Gain」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 設定時の刻み幅を選ぶ





「ISO」を選んだとき

① カメラ設定メニュー ➤「ISO/Gain」➤「ISOステップ」を順に選ぶ。
② 「1段」または「1/3段」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「Gain」を選んだとき

① カメラ設定メニュー ➤「ISO/Gain」➤「Gain」を順に選ぶ。
② 「ノーマル」または「ファイン」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 値を調整する

① ISO/GAIN（ISO感度／ゲイン）ボタンを押す。
- 画面のISO/GAINの背景がオレンジ色になる。
- ジョイスティックを押してISO/GAIN設定に入ることもできる（📖 61）。

② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
③ ジョイスティックを押す。
- ISO/GAINの設定値が決定され、オレンジ色の表示が解除される。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からワイヤレスで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（📖 181）。

1 ISO感度／ゲインの設定方法を選ぶ

① 「ISO」を押す。
② 「ISO」または「Gain」を押す。

2 値を調整する

① ISO感度またはゲインの設定値を押す。
- 選択可能なISO感度／ゲインの値が表示される。

② いずれかの値を選ぶ。
- 必要に応じて画面をスクロールさせて値を選ぶ。
- 選んだISO感度／ゲインの値がブラウザーリモートの画面に表示される。

MEMO

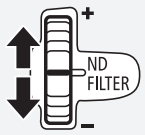
- ISO感度／ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。
- ISO感度／ゲインを上げると、画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- ISO感度／ゲインの切り換え時、画面にノイズが現れることがあります。撮影中は、ISO感度／ゲインを切り換えないでください。
- ISO感度／ゲインの値を、リモートコントローラー RC-V100（別売）のISO/GAIN（ISO感度／ゲイン）上／下ボタンを押して調整できます。

NDフィルターを切り換える

レンズの絞りを適切な範囲に保つために、NDフィルターを使用します。屋外などの明るい場所で撮影するとき、光の量を調整するためにアイリスを絞り込むと、絞りの径が極端に小さくなってボケ*が生じることがあります。NDフィルターを使うか、シャッタースピードを速くして光の量を減らすと、絞りをより開くことができ、小絞りによるボケを回避できます。

*「小絞り回折」や「小絞りによるボケ」と呼ぶ。レンズのズーム位置によって、ボケが発生する絞り径が異なる。

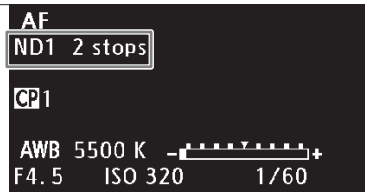
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



1 NDフィルターを切り換える

ND FILTER(NDフィルター)切り換えダイヤルを回す。

- ＋側（上方向)に回すたびに次の順にNDフィルターが切り換わる（－側は逆順)。
  OFF→ND1 2 stops→ND2 4 stops→ND3 6 stops→OFF
- 切り換えたNDフィルターが画面に表示される。



MEMO

- シーンによっては、NDフィルターを入／切すると、わずかに発色が変化することがあります。このときはホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です(📖 78)。

アイリスを調整する

被写体の明るさに応じてアイリス（絞り）を調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さく、近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく設定します。次の3種類の方法でアイリスを調整できます*。設定可能な値（F値）は取り付けたレンズによって異なり、設定時の刻み幅は、「1/2段」、「1/3段」、「ファイン」をメニューで設定できます。

* レンズによって使用できる調整方法が異なる（📖 254）

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

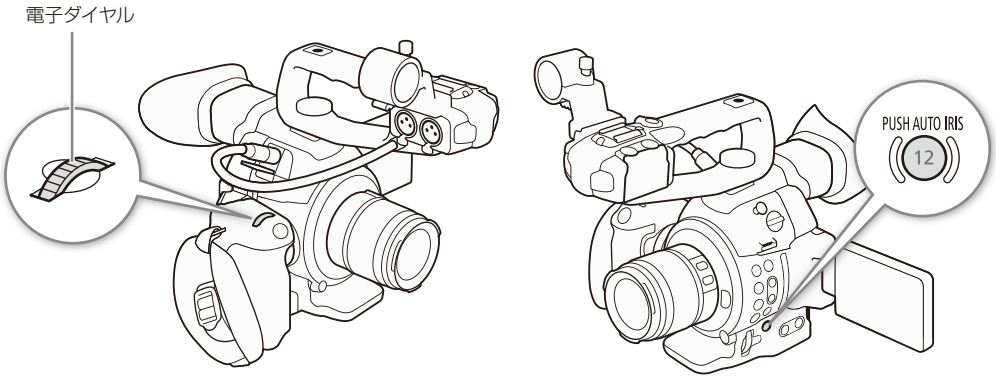
アイリスの調整のしかた

マニュアルアイリス	グリップの電子ダイヤルやブラウザーリモートで手動調整する。
プッシュオートアイリス	PUSH AUTO IRIS（プッシュオートアイリス）ボタンやブラウザーリモートで一時的に自動調整する。
オートアイリス	適正露出になるように常に自動調整する。

カメラからのアイリス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部／設定がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	アイリス動作モード切替えスイッチ	A
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	アイリスオート／マニュアル切替えスイッチ	A

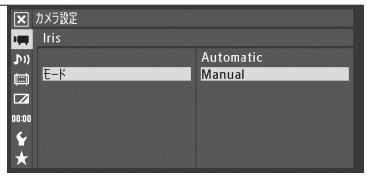


マニュアルで調整する

グリップの電子ダイヤルで調整する

電子ダイヤルでアイリスを調整します。設定可能な値（F値）は取り付けたレンズによって異なります。また、設定時の刻み幅は、「1/2段」、「1/3段」、「ファイン」をメニューで設定できます。

1 アイリスモードをマニュアルに設定する



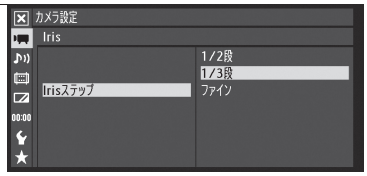
- オートアイリス対応EFレンズ装着時のみ設定可能。
- 非対応レンズ装着時は「Manual」固定となる。

① カメラ設定メニュー ➤「Iris」➤「モード」を順に選ぶ。

② 「Manual」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（📖 71）。

2 設定時の刻み幅を選ぶ



① カメラ設定メニュー ➤「Iris」➤「Irisステップ」を順に選ぶ。

② 「1/2段」、「1/3段」、「ファイン」（1/3段より細かい刻み幅）のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 電子ダイヤルを回してF値を調整する

- 調整したF値が画面に表示される*。
  * 「ファイン」を選んだときは「1/3段」刻みで表示される。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からワイヤレスで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（📖 181）。

F値を選んで調整する

1 アイリスモードを設定可能なときはマニュアルに設定する（📖 72）

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（📖 71）。

2 F値の設定方法を選ぶ

① F値ボタンを押す。
- 選択可能なF値が表示される。

② いずれかの値を選ぶ。
- 必要に応じて画面をスクロールさせて値を選ぶ。
- 選んだF値がブラウザーリモートの画面に表示される。

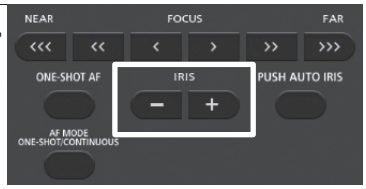
IRISボタンで調整する

1 アイリスモードを設定可能なときはマニュアルに設定する（📖 72）

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（📖 71）。

2 IRISの－ボタンまたは＋ボタンを押して調整する。

－ボタン：絞りを約1/8段刻みで絞る。
＋ボタン：絞りを約1/8段刻みで開く。
- F値表示は1/3段刻みで行われる。



MEMO

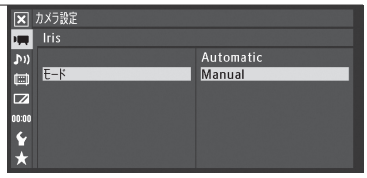
- 接点のないEFレンズやEFシネマレンズ*を装着しているときは、本機でアイリスを調整できません。レンズ側で調整してください。
  * アイリス調整に対応するEFシネマレンズ（📖 254）を除く。
- レンズのエクステンダーを使用しているときは、F値を選んで調整できません。
- その他機能メニュー ➤「Custom Function」➤「グリップ電子ダイヤル方向」で、電子ダイヤルの操作方向を変更できます（📖 145）。
- ズーム操作によりF値が変化するEFレンズを使うときは、カメラ設定メニュー ➤「Iris」➤「Zoom連動F値補正」で、ズームに連動してF値を維持するかどうかを指定できます（📖 203）。
- アサインボタンに「Iris +」と「Iris -」を割り当てると、アサインボタンを押して、F値を調整できます（📖 128）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）でアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS（アイリス）ダイヤルを右に回すとF値が小さくなり、左に回すとF値が大きくなります（初期状態）。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズを装着して、アイリスがオープンまたはクローズの状態からF値を変更するとき、アイリスが動作するまでに複数回の操作が必要なことがあります。

一時的にオートで調整する（プッシュオートアイリス）

PUSH AUTO IRIS（プッシュオートアイリス）ボタンで操作する

PUSH AUTO IRIS（プッシュオートアイリス）ボタンを押している間、絞りを自動的に調整して適正な露出にします。

1 アイリスモードをマニュアルに設定する



- オートアイリス対応EFレンズ装着時のみ設定可能。
- 非対応レンズ装着時は「Manual」固定となる。

① カメラ設定メニュー ➤「Iris」➤「モード」を順に選ぶ。

② 「Manual」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（📖 71）。

2 PUSH AUTO IRISボタンを押し続ける

- 適正露出になるように絞りを自動的に調整する。
- 画面のF値の左にAが表示され、調整にともなって画面のF値表示が更新される。

3 PUSH AUTO IRISボタンを離す

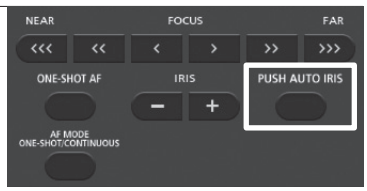
- 絞りの自動調整が終了し、ボタンを離したときのF値が固定される。F値の左のAは消える。

ブラウザーリモートで操作する

1 アイリスモードを設定可能なときはマニュアルに設定する（📖 72）

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（📖 71）。

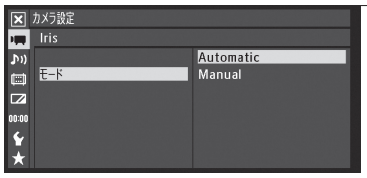
2 「PUSH AUTO IRIS」を押す



- ビデオカメラの画面上に表示されるF値の左にAが出て、適正露出になるように絞りが自動調整される。
- 調整中はブラウザーリモート画面上のF値がグレーで表示され、操作できない。調整が終わると黒色に変わり操作可能となる。

オートで調整する（オートアイリス）

対応するEFレンズ（📖 254）を装着しているときは、アイリスを常に自動調整できます。



1 アイリスのモードをオートにする

① カメラ設定メニュー ➤「Iris」➤「モード」を順に選ぶ。
② 「Automatic」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（📖 71）。
- 画面のF値の左にAが表示され、適正露出になるように絞りが自動調整される。

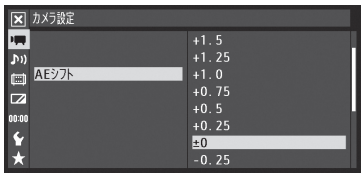
MEMO

- アサインボタンに「Irisモード」を割り当てると、アサインボタンを押してアイリスモードを切り換えられます（📖 128）。
- 次のときはF値が変わることがあります。
  - EFシネマレンズの内蔵エクステンダーとアイリス補正機能を使用にしていて、オートアイリスからマニュアルアイリスに切り換えたとき。
  - レンズのアイリス設定のオート／マニュアルを切り換えたとき。
- アイリスのゲインを調整できるEFシネマレンズの装着時、レンズのアイリスゲインが高いと撮影シーンによってはハンチング（絞りが不安定になること）が発生することがあります。このときは、レンズのアイリスゲインを初期設定に戻してください。

露出を調整する（AEシフト）

メニューで調整する

プッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整するとき、露出を意図的に補正して、明るめや暗めに撮影します。



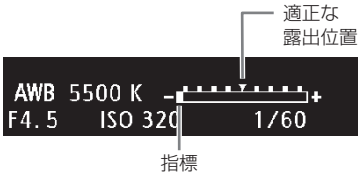
① カメラ設定メニュー ➤「AEシフト」を順に選ぶ。
② いずれかの値を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
－2.0、－1.75、－1.5、－1.25、－1.0、－0.75、－0.5、－0.25、±0、+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、＋1.75、+2.0

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からワイヤレスで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（📖 181）。

1 「AE SHIFT－」、「AE SHIFT＋」を押す

露出バー



現在の露出位置を露出バー*の指標の位置で確認できます。図の「適正な露出位置」は補正量が±0時の明るさの目標値を示します。測光方式（📖 76）を変更すると、適正露出は変化します。
* 1/2段の刻み幅で－2段～ +2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

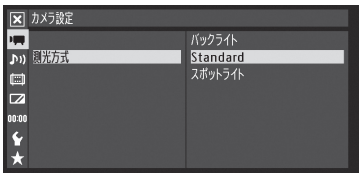
MEMO

- PUSH AUTO IRISボタンを押している間、電子ダイヤルでAEシフトを調整することができます。
- アサインボタンに「AE Shift +」と「AE Shift －」を割り当てると、アサインボタンを押して、AEシフトを設定できます（📖 128）。
- AEシフトを変更してオートで露出を調整すると、調整された位置で露出バーの指標が点灯します。

測光方式を設定する

プッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整する場合、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、より適正な明るさで撮影できます。測光方式には次の3種類があります。

バックライト（逆光）	逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。
Standard（スタンダード）	画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。
スポットライト	スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。



① カメラ設定メニュー ➤「測光方式」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- バックライトを選ぶと画面に が、スポットライトを選ぶと画面に が表示される。

MEMO

- アサインボタンに「バックライト」または「スポットライト」を割り当てると、アサインボタンを押して測光方式を切り換えられます（📖 128）。

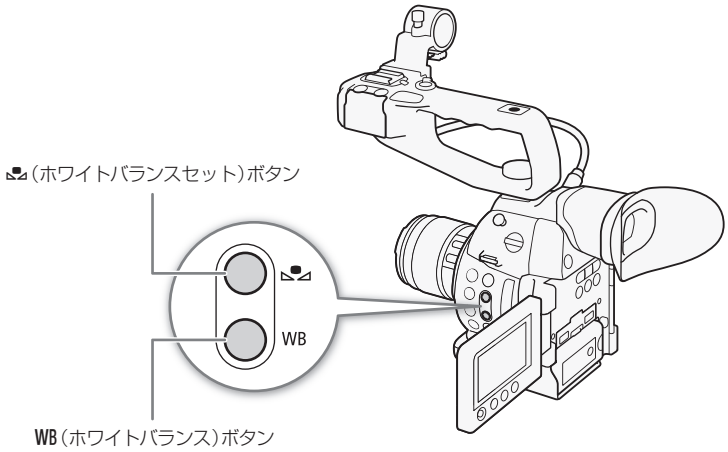
ホワイトバランスを調整する

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定できます。蛍光灯下で撮影するときは、ホワイトバランスセットで調整してください。プリセット設定を使うときは、さらに+9 ～－9の範囲で微調整することができます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

調整のしかた

ホワイトバランスセット	グレーカードや白い無地の被写体を写して基準白色を取り込む。2種類の設定を登録できる。
プリセット設定	「☀（太陽光）」または「💡（電球）」のいずれかを選ぶ。
色温度設定	2000K ～ 15000Kの範囲で色温度を設定する。
オートホワイトバランス	常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。

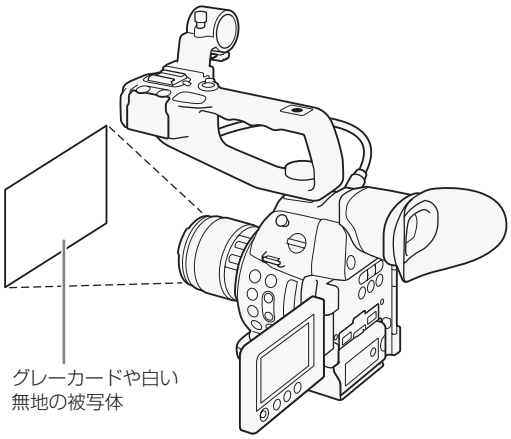


MEMO

- カスタムピクチャーの「Color Matrix」（📖 141）または「White Balance」（📖 141、144）を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
- その他機能メニュー ➤「Custom Function」➤「ショックレスWB」を「入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値がなめらかに変化します（📖 215）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のA ／ Bボタン、PRESETボタン、ボタン、AWBボタンを使って、調整することもできます。

ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で基準白色を取り込みます。「A」と「B」の2種類の設定を登録できます。

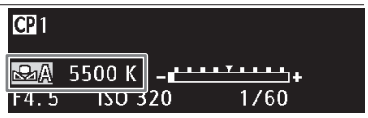


WB（ホワイトバランス）ボタンで操作する

1 調整方法を選ぶ

① WB（ホワイトバランス）ボタンを押す。
- 画面のホワイトバランスの背景がオレンジ色になる。
- ジョイスティックを押してホワイトバランスの設定に入ることもできる（61）

② ジョイスティックを上下に押して、「A」または「B」を選ぶ。



登録済みのホワイトバランスセットを選ぶとき

ジョイスティックを押す。以降の操作は不要。

- 一度も設定を登録していないときは、選んだ「A」／「B」が画面上で点滅する。

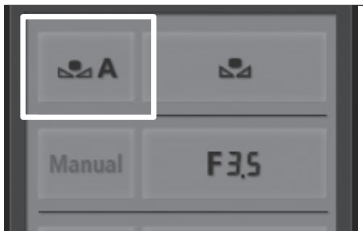
2 被写体と同じ照明条件の場所にグレーカードや白い無地の被写体を置き、画面いっぱいに写す

3 基準白色を取り込んで、登録する

① （ホワイトバランスセット）ボタンを押す。
- 「A」または「B」が速く点滅する。
- 調整中は、グレーカードや白い無地の被写体を画面いっぱいに写し続ける。
- 点滅→点灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

ブラウザーリモートで操作する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からワイヤレスで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（181）。



1 ホワイトバランスの設定方法を選ぶ

① 「A」を押す。
② 「A」または「B」を選ぶ。

2 基準白色を取り込んで、登録する

- 一度も登録されていないときは、「A」または「B」がゆっくり点滅する。

① グレーカードや白い無地の被写体をビデオカメラの画面いっぱいに写し、「」を押す。
- 「A」または「B」が早く点滅し、点灯に変わったら調整完了。

MEMO

ホワイトバランスセットで調整するとき

- 場所や明るさが変わったとき、NDフィルターを切り換えたときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれにが速い点滅→点灯に変わらない（速い点滅から遅い点滅に変わる）ことがありますが、その場合でもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。

■ プリセット設定／色温度設定で調整する

屋外（太陽光）用、または屋内（電球）用にプリセットされた設定を選ぶか、色温度を指定してホワイトバランスを調整します。プリセット設定を選んだときは、+9 ～ −9の範囲で微調整することができます。色温度は、設定範囲が2000K ～ 15000Kで、100K刻みで設定できます。

WB（ホワイトバランス）ボタンで操作する

1 調整方法を選ぶ

① WB（ホワイトバランス）ボタンを押す。
- ホワイトバランスの背景がオレンジ色になる。
- ジョイスティックを押して設定に入ることもできる（📖 61）。

② ジョイスティックを上下に押して、「☀（太陽光）」、「☀（電球）」、「K（色温度）」のいずれかを選ぶ。

2 「☀（太陽光）」または「☀（電球）」を選んだとき 必要に応じて微調整する

① （ホワイトバランスセット）ボタンを押す。
- 微調整用の入力エリアがオレンジ色で表示される。
- ジョイスティックを左右に押して切り換えることもできる。

② ジョイスティックを上下に押して、調整する。

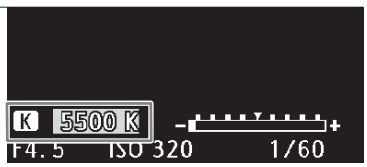
③ ジョイスティックを押す。
- 調整値が決定され、ホワイトバランス設定を終了する。
- 画面ではオレンジ色の表示が解除される。

3 「K（色温度）」を選んだとき 色温度を設定する

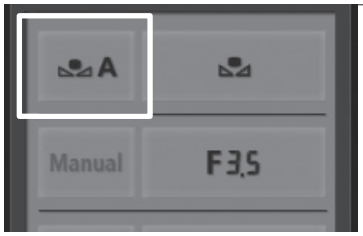
① （ホワイトバランスセット）ボタンを押す。
- 色温度調整用の入力エリアがオレンジ色で表示される。
- ジョイスティックを左右に押して切り換えることもできる。

② ジョイスティックを上下に押して、調整する。

③ ジョイスティックを押す。
- 色温度が決定され、ホワイトバランス設定を終了する。
- 画面はオレンジ色の表示が解除される。



ブラウザーリモートで調整する



1 ホワイトバランスの設定方法を選ぶ

① 「A」を押す。
② 「☀」、「☀」、「K」のいずれかを選ぶ。

2 「☀（太陽光）」または「☀（電球）」を選んだとき　必要に応じて微調整する

① 調整値を押す。
- 選択可能な微調整値が表示される。

② いずれかの値を選ぶ。
- 選んだ微調整値が決定され、ブラウザーリモートの画面に表示される。

3 「K（色温度）」を選んだとき　色温度を設定する

① 色温度の値を押す。
- 選択可能な色温度が表示される。

② いずれかの値を選ぶ。
- 選んだ色温度が決定され、ブラウザーリモートの画面に表示される。

オートホワイトバランスで調整する

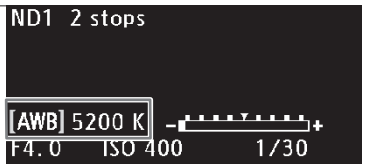
常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。

WB（ホワイトバランス）ボタンで調整する

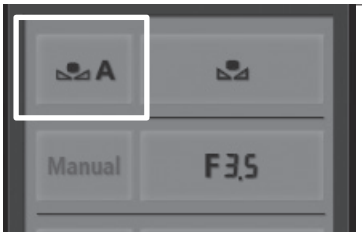
1 調整方法を選ぶ

① WB（ホワイトバランス）ボタンを押す。
- 画面のホワイトバランスの背景がオレンジ色になる。
- ジョイスティックを押してホワイトバランスの設定に入ることもできる（📖 61）。

② ジョイスティックを上下に押して、「AWB」を選ぶ。
③ ジョイスティックを押す。
- 画面の色温度表示の左に「AWB」が表示される。



ブラウザーリモートで調整する



1 オートホワイトバランスを選ぶ

①「A」を押す。
②「AWB」を選ぶ。

MEMO

オートホワイトバランスでうまくいかないとき

次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは（ホワイトバランスセット）で調整してください。
- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森などの単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。

フォーカスを調整する

本機はデュアルピクセルCMOSを搭載しているため、コンティニュアスAFやワンショットAFに対応しています。フォーカス調整のしかた*1には次の4種類があり、マニュアルフォーカスで調整中は、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。レンズキット以外のレンズをお使いの場合は、レンズの使用説明書も併せてご確認ください。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

フォーカス調整のしかた

マニュアルフォーカス	レンズのフォーカスリングを回すか、ブラウザーリモートのフォーカス操作ボタンを押してフォーカスを調整する。
ワンショットAF*2	ONE-SHOT AF（ワンショットAF）ボタンやブラウザーリモートを使って、画面中央に一度だけ自動でピントを合わせる。
コンティニュアスAF*2	画面中央の被写体に自動でピントを合わせ続ける。AF LOCK（AFロック）ボタンを押すことにより、置きピン撮影（ピント合わせ後の構図変更）もできる。
顔検出AF*3	人物の顔に自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾する。

*1 レンズによって使用できる調整方法が異なる（📖 254）。
*2 マニュアルフォーカスレンズ装着時を除く。
*3 対応EFレンズ装着時（📖 254）。

調整方法と必要な設定

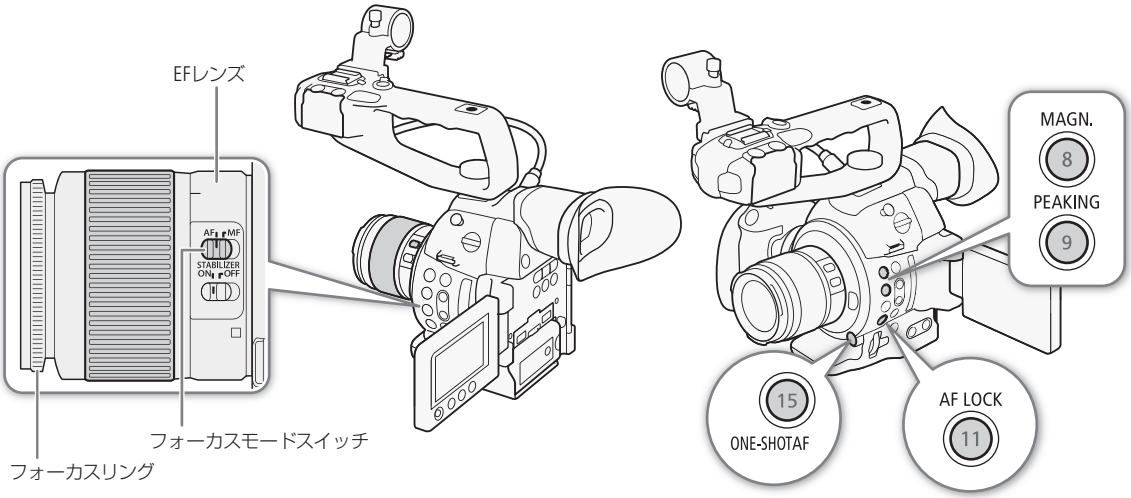
調整方法		EFレンズのフォーカスモードスイッチ*1	AFモード*2
マニュアルフォーカス	フォーカスリング	MF	–
		AF*3	ワンショット
	ブラウザーリモート	AF	
ワンショットAF	ONE-SHOT AFボタン	AF	ワンショット
	ブラウザーリモート		
コンティニュアスAF	メニュー	AF	連続
	ブラウザーリモート		
顔検出AF	メニュー	AF	–
	ブラウザーリモート		

*1 フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ（📖 254）の操作については、下表を参照のこと。
*2 カメラ設定メニュー ➤「AF」➤「モード」の設定。
*3 レンズによってはフォーカスリングによる調整ができないことがある。

カメラからのフォーカス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部／設定がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート	マニュアル
EFレンズ	フォーカスモードスイッチ	AF	MF
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	フォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ	SERVO	MANU.
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	オートフォーカス／マニュアルフォーカス切替えスイッチ	AF	MF

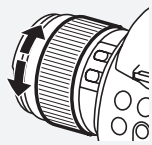


マニュアルで調整する

フォーカスリングで調整する

1 レンズのフォーカスモードスイッチをMFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのフォーカス設定をマニュアルにする（📖 83）。
- 画面にMFが表示される。



2 フォーカスリングを回して、ピントを合わせる

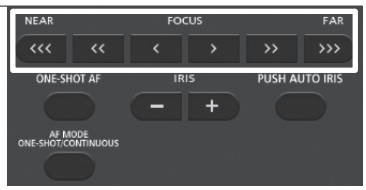
ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からワイヤレスで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（📖 181）。

1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（📖 83）。
- 画面にAFが表示される。

2 フォーカス操作ボタンを押して、ピントを合わせる



- NEARのボタン（‹、«、⋘）を押すと至近方向に調整し、FARのボタン（›、»、⋙）を押すと無限方向に調整します。
- 調整量は押すボタンによって異なり、‹ ／ › は小、« ／ » は中、⋘ ／ ⋙は大です。

MEMO

- EFレンズによっては、フォーカスモードスイッチをAFにしたまま、フォーカスリングで調整できるものがあります。
- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- フォーカス調整時にレンズの先端部分やフォーカスリングが動くときは、動いている部分に触れないでください。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を使うとき、RC-V100のFOCUS（フォーカス）ダイヤルを右に回すと無限方向に、左に回すと至近方向に調整できます（初期状態）。

フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。両方を同時に使うこともできます。画面を自動的にモノクロ表示にするときは、その他機能メニュー ➤「Custom Function」➤「フォーカスアシストB&W」で設定します（📖 145）。

ピーキング

ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。

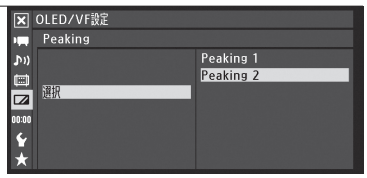
1 PEAKING（ピーキング）ボタンを押す

- 画面に PEAK1 または PEAK2 が表示され、画面の映像の輪郭が合焦状態に応じて強調される。
- もう一度、PEAKINGボタンを押すと、ピーキング表示が解除される。
- OLED/VF設定メニュー ➤「Peaking」➤「設定」でピーキング表示を入／切することもできる。

2 ピーキング1またはピーキング2を選ぶ

① OLED/VF設定メニュー ➤「Peaking」➤「選択」を順に選ぶ。

② 「Peaking 1」または「Peaking 2」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



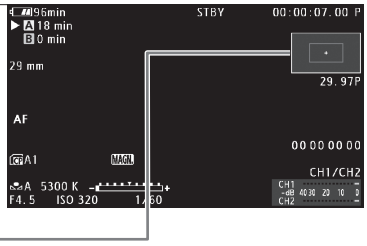
拡大表示

1 本体またはグリップのMAGN.（拡大）ボタンを押す

- 画面に MAGN. が表示され、画面の中心部が約2倍*に拡大される。

  * 倍率は有機ELモニターとファインダーで異なる。また、記録信号形式の解像度によっても異なる。

- 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。



2 必要に応じて拡大位置を移動させる

ジョイスティックを上下左右に押して、拡大位置を移動させる。

- 拡大領域の中心位置は、上下方向および左右方向にそれぞれ5段階で変更できる。
- 拡大位置を中央に戻すときはCANCELを押す。
- もう一度MAGN.ボタンを押すと拡大表示が解除される。

MEMO

- ピーキング表示／拡大表示は画面にのみ表示され、各出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- ピーキングの色、ゲイン、周波数は、OLED/VF設定メニュー ➤「Peaking」➤「Peaking 1」または「Peaking 2」でそれぞれ設定できます。
- その他機能メニュー ➤「Custom Function」➤「Magnification連動」で「Peaking」または「Edge Monitor」を選ぶと、拡大表示中にピーキングまたはエッジモニターを同時に表示することができます。

有機ELモニターでフォーカス調整するとき

- エッジモニター（112）を表示してピントを合わせやすくすることもできます。
- ピーキングとエッジモニターを同時に表示することができます。このとき、ピーキングのゲイン／周波数は、エッジモニターのゲイン設定によって自動的に設定されます。

ワンショットAFで調整する

マニュアルフォーカスレンズを除くすべてのEFレンズ装着時、画面中央の被写体に自動でピントを合わせます。操作を行ったときに一度だけ合焦動作を行います。

ONE-SHOT AFボタンで操作する

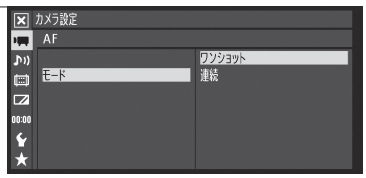
1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（83）。
- 画面にAFが表示される。

2 ワンショットAFを選ぶ

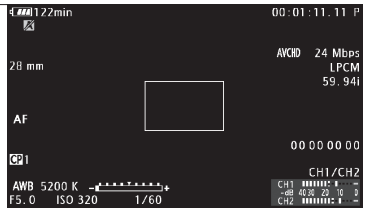
① カメラ設定メニュー ➤「AF」➤「モード」を順に選ぶ。

② 「ワンショット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



3 ONE-SHOT AFボタンを押し続ける

- 画面中央に白い枠が表示され、自動的にフォーカスの調整を行う。顔検出AF（91）使用中は、主な被写体と判断した顔に白い枠が表示される。
- ピントが合うと、枠が緑色に変わる。
- フォーカスの調整ができない場合は、枠が赤色に変わる。
- ONE-SHOT AFボタンを離すと枠が消える。



ブラウザーリモートで操作する

1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（📖 83）。
- 画面にAFが表示される。

2 「AF MODE ONE-SHOT/CONTINUOUS」を押す

- ワンショットAFに切り換わるとONE-SHOT AFボタンが表示される。

3 「ONE-SHOT AF」を押す

- 画面中央に白い枠が表示され、自動的にフォーカスが調整される。
- 枠はピントが合うと緑色に、フォーカス調整できないと赤色に変わり、その後数秒で消える。

MEMO

ワンショットAFが動作しないとき

- シャッタースピードのモードがスローで、設定値が1/4秒または1/3秒のとき。
- 顔検出AFが「顔限定」で、顔が検出されていないとき。

- 現在のF値がF11以上のときは、従来方式（コントラストAF）で調整します。

コンティニュアスAFで調整する

マニュアルフォーカスレンズを除くすべてのEFレンズ装着時、画面中央の被写体に自動でピントを合わせ続けます。

メニューで設定する

1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

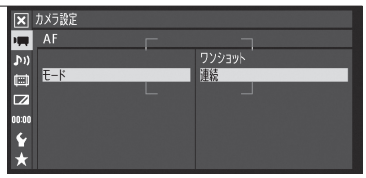
- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（📖 83）。
- 画面にAFが表示される。

2 AFモードを「連続」に設定する

① カメラ設定メニュー ➤「AF」➤「モード」を順に選ぶ。

② 「連続」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 画面中央に白い枠が表示される。



AFロックを行うとき

AF LOCK（AFロック）ボタンを押す。

- 画面中央の白い枠が灰色に変わり、フォーカス位置が固定される。もう一度押すと解除される。

ブラウザーリモートで調整する

1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（📖 83）。
- 画面にAFが表示される。

2 「AF MODE ONE-SHOT/CONTINUOUS」を押す

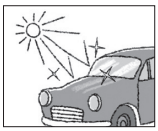
- コンティニュアスAFに切り換わるとAF LOCKボタンが表示される。

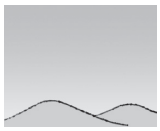
AFロックを行うとき

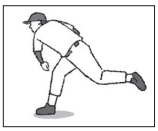
「AF LOCK」を押す。

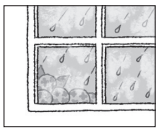
- 画面中央の白い枠が灰色に変わり、フォーカス位置が固定される。もう一度押すと解除される。

オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件


強い光が反射


画面中央に
明暗差がない


動きが速い


水滴が付いた
ガラス越しの撮影

夜景

繰り返し模様

- ISO感度／ゲインの感度を拡張して（📖 67）、拡張領域のISO/Gain値を設定しているとき
- カスタムピクチャーのガンマ（📖 131）をCanon LogなどのLogガンマまたはWide DRに設定したとき
- 絞りを小絞りに設定したとき
- 遠近の被写体が同時に含まれるとき

MEMO

- ピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によってわずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

ピント合わせに時間がかかるとき

- フレームレート（記録信号形式）や撮影フレームレート（📖 116）がPF29.97、29.97P、23.98P、PF25.00、25.00Pのとき。
- 一部のEFレンズでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。詳細情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

デュアルピクセルCMOS AFが適用されない場合

- エクステンダー EF装着時。
- 顔検出AFを「顔優先」にして、顔を検出しているとき。
- 顔検出AFを「顔限定」にしているとき。

コンティニュアスAF が動作しないとき

- フォーカスモードスイッチがないEFレンズを装着時。
- アイリスの調整中。顔検出AFに対応したEFレンズ装着時を除く（📖 254）。
- REMOTE端子に接続したリモコンでフォーカス操作中。

顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF）

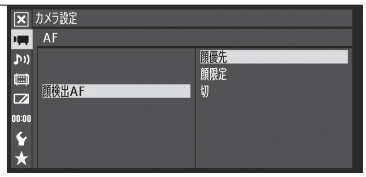
対応EFレンズ装着時（📖 254）、人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾します。複数の人物を検出したときは、主な被写体を自動的に決定し、その人物にピントを合わせます。主な被写体を変更することもできます。顔が検出されないときは次のように動作します。

顔優先：　オートフォーカスで、画面中央の被写体にピントを合わせる。
顔限定：　ピントが固定される。

1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

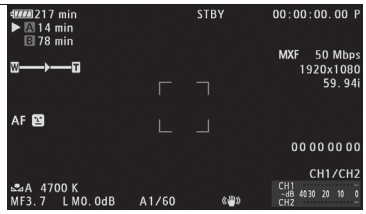
- 画面にAFが表示される。

2 顔検出AFをONにする



① カメラ設定メニュー ➤「AF」➤「顔検出AF」を順に選ぶ。
② 「顔優先」または「顔限定」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に（顔優先）または（顔限定）が表示される。
- 「切」を選ぶと顔の検出を行わず、オートフォーカスとして動作する。

3 カメラを人物に向ける



- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。
- 顔限定の場合、顔検出時は AF が白色で、顔非検出時は AF が灰色で表示される。

AFロックを行うとき

① カメラ設定メニュー ➤「AF」➤「モード」を順に選ぶ。
② 「連続」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面中央に白い枠が表示される。

③ AF LOCK（AFロック）ボタンを押す。
- 主な被写体の顔にグレーの枠が表示され、フォーカスが調整される。
- もう一度押すと解除される。

複数の人物から特定の人を選ぶとき

ジョイスティックを左右に押す。
- 押すたびに主な被写体が切り換わる。

ブラウザーリモートで調整する

1 顔検出AFをONにする

● 91ページの操作1 ～ 2を行う。

2 カメラを人物に向ける

AFロックを行うとき

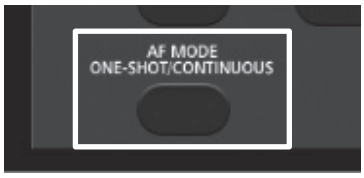
① AF MODE ONE-SHOT/CONTINUOUSボタンを押す
- コンティニュアスAFに切り換わるとAF LOCKボタンが表示される。

② AF LOCK（AFロック）ボタンを押す。
- 画面の白い枠が灰色に変わり、フォーカス位置が固定される。もう一度押すと解除される。

ワンショットAFを行うとき

① AF MODE ONE-SHOT/CONTINUOUSボタンを押す
- ワンショットAFに切り換わるとONE-SHOT AFボタンが表示される。

② ONE-SHOT AF（ワンショットAF）ボタンを押す。
- 自動的にフォーカスが調整され、合焦アイコンが表示される。
  白色：フォーカス動作を実行中。
  緑色：フォーカス動作に成功。
  赤色：フォーカス動作に失敗。



MEMO

● 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「顔検出AF」を「切」にしてください。

顔が検出されない主な例
- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

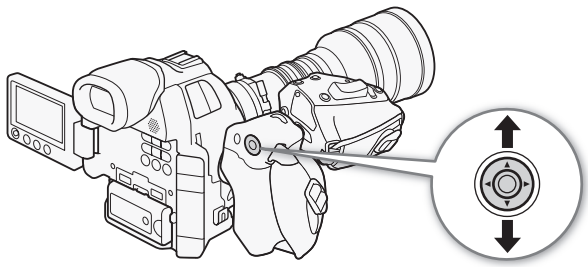
● 以下のシャッタースピードにしているときは顔検出AFが使用できません。
- 1/30秒未満（59.94Hz、PF29.97時）
- 1/24秒未満（59.94Hz、23.98P時）
- 1/25秒未満（50.00Hz、PF25.00時）

● アサインボタンに「顔検出AF」を割り当てると、アサインボタンを押して設定を切り換えることができます（📖 128）。

ズームを操作する

ズーム調整に対応するEFシネマレンズ（📖 254）を装着すると、本機からズームを操作することができます。
また、リモートコントローラー RC-V100（別売。📖 125）から操作することもできます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



カメラからのズーム調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	ズームサーボ／マニュアル切替えノブ	SERVO
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	ズーム切替えノブ	SERVO

1 レンズのズーム設定をSERVOにする

2 ズーム操作を有効にする

① カメラ設定メニュー ➤「本体グリップズーム」➤「設定」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 ズームスピードを選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「本体グリップズーム」➤「スピード」を順に選ぶ。
② 「1」から「16」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ズームスピードは固定速で、値が大きいほど高速になる。

4 本体のグリップのジョイスティックを上下に操作して、ズームを調整する

- 上に操作すると望遠（テレ）方向に、下に操作すると広角（ワイド）方向に調整できる。

MEMO

- リモートコントローラー RC-V100（別売）のZOOMダイヤルを使って、調整することもできます。
- ズームスピードを低速に設定していると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。

マーカー／ゼブラパターンを表示する

撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は記録される映像には影響しません。

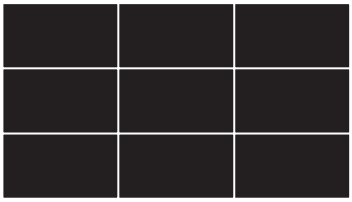
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

マーカーを表示する

構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。

センターマーカー

水平マーカー



グリッド

セーフティーゾーンマーカー *1

アスペクトマーカー *2

*1 セーフティーゾーンの領域（セーフティーゾーンエリア）を「80%」、「90%」、「92.5%」、「95%」の4つの中から選択できます。

*2 アスペクト比を「4:3」、「13:9」、「14:9」、「1.66:1」、「1.75:1」、「1.85:1」、「2.35:1」の7つの中から選択できます。

マーカー表示を有効にする

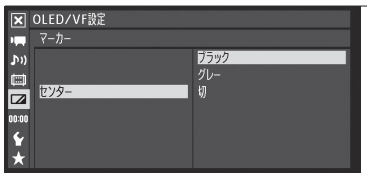
マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。

① OLED/VF設定メニュー ➤「マーカー」➤「表示」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- マーカーが表示可能になる。
- マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

表示したいマーカーを選ぶ

異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、必要に応じて個別の設定をします。

例：センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合



1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ

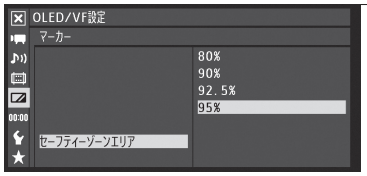
① OLED/VF設定メニュー ➤「マーカー」➤「センター」を順に選ぶ。
② 「ブラック」または「グレー」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 指定した色のセンターマーカー表示が選択される。

表示を解除するとき　「切」を選ぶ。

2 表示するマーカー（セーフティーゾーンマーカー）を選ぶ

① OLED/VF設定メニュー ➤「マーカー」➤「セーフティーゾーン」を順に選ぶ。
② 「ブラック」または「グレー」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 指定した色のセーフティーゾーンマーカー表示が選択される。

表示を解除するとき　「切」を選ぶ。



3 マーカー（セーフティーゾーンマーカー）の個別設定（セーフティーゾーンエリア）を行う

① OLED/VF設定メニュー ➤「マーカー」➤「セーフティーゾーンエリア」を順に選ぶ。
② セーフティーゾーンの領域「80%」、「90%」、「92.5%」、「95%」の中から選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- 他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます（📖 56）。
- アサインボタンに「マーカー」を割り当てると、アサインボタンを押してマーカー表示の入／切を切り換えられます（📖 128）。

ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

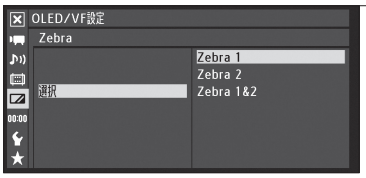
ゼブラ1	設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは6段階（70±5%、75±5%、80±5%、85±5%、90±5%、95±5%）あり、いずれか1つを選択する。
ゼブラ2	設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは7段階（70%、75%、80%、85%、90%、95%、100%）あり、いずれかを1つを選択する。
ゼブラ1+ゼブラ2	ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。両者の表示条件が重なる領域では、ゼブラ1を優先して表示する。

ゼブラパターン表示を入／切する

ZEBRA（ゼブラ）ボタンを押す。OLED/VF設定メニュー ➤「Zebra」➤「設定」で、ゼブラパターン表示を入／切することもできます。

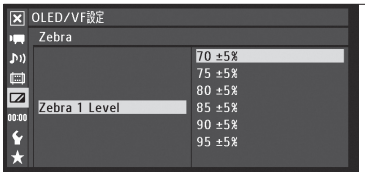
ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。



1 ゼブラパターンを選ぶ

① OLED/VF設定メニュー ➤「Zebra」➤「選択」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 ゼブラパターンの輝度レベルを設定する

① OLED/VF設定メニュー ➤「Zebra」➤「Zebra 1 Level」または「Zebra 2 Level」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- ゼブラパターンは、出力信号が1080/59.94Pまたは1080/50.00P以外のとき、HDMI OUT端子（HD出力時のみ）に出力できます。端子からの出力は、OLED/VF設定メニュー ➤「Zebra」➤「HD Output」で入／切できます（📖 209）。

タイムコードを設定する

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにSDカードに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力できます（📖 207）。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

タイムコードのカウントアップ方式

歩進モード	歩進方法	内容
Preset（プリセット）	Rec Run（レックラン）	タイムコードは記録時に歩進する。初期値は任意に設定可能。タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
	Free Run（フリーラン）	タイムコードは記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen.（リジェネ）	–	タイムコードは記録時に歩進する。記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

カウントアップ方式を選ぶ

カウントアップ方式は、歩進モード（モード）で「Preset」または「Regen.」を選びます。「Preset」を選んだときは、歩進方法（Run）で「Rec Run」または「Free Run」を選び、任意の初期値を設定します。

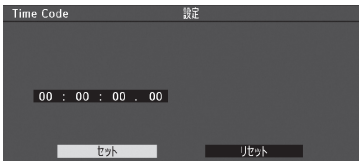
1 歩進モードを選ぶ

① **00:00** TC/UB設定メニュー ➤「Time Code」➤「モード」を順に選ぶ。
② 「Preset」または「Regen.」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
Preset：　「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。
Regen.：　SDカードに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。
● 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。

2 「Preset」を選んだ場合　歩進方法を選ぶ

① **00:00** TC/UB設定メニュー ➤「Time Code」➤「Run」を順に選ぶ。
② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

撮影



3 「Preset」を選んだとき　任意の初期値を設定する

① **00:00** TC/UB設定メニュー ➤「Time Code」➤「設定」を順に選ぶ。

② 「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
- 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

③ ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

④ ③の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム（DF）またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換えることができます。なお、システム周波数が59.94Hz時フレームレートを23.98Pにしているときや、50.00HzのときはNDFに固定されます。

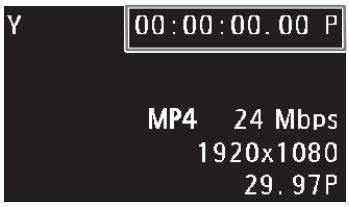
① **00:00** TC/UB設定メニュー ➤「Time Code」➤「DF/NDF」を順に選ぶ。

② 「DF」または「NDF」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
  DFのとき　00：00：00.　00
  NDFのとき　00：00：00：00

タイムコードを保持する（タイムコードホールド）

アサインボタン（📖 128）に「Time Codeホールド」を割り当て、割り当てたアサインボタンを押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます。タイムコード保持中は、画面に「**H**」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

タイムコードの表示について



R：　Regen.（リジェネ）設定時
P：　Rec Run（レックラン）設定時
F：　Free Run（フリーラン）設定時
H：　タイムコードホールド時
表示なし：再生時

MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが23.98Pのときは0 ～ 23、50.00iやPF25.00、25.00Pのときは0 ～ 24、それ以外は0 ～ 29となります。
- スロー &ファーストモーション記録のときは「Free Run」は使用できません。また、プレ記録のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。
- アサインボタンに「Time Code」を割り当てると、アサインボタンを押して**00:00**TC/UB設定メニュー ➤ 「Time Code」メニューを表示できます（📖 128）。

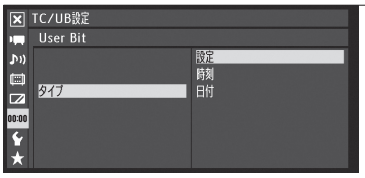
ユーザービットを設定する

8桁の任意の16進数（0 ～ 9、A ～ Fの英数字）や日時をユーザービットとして設定します。ユーザービットはAVCHDクリップに記録されます。またHDMI OUT端子から出力できます。映像を管理するときに便利です。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4 *

*ユーザービットはMP4クリップには記録されません。

任意の16進数を設定する

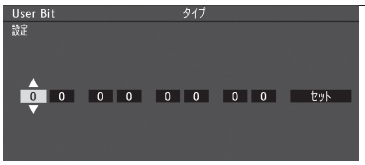


1 「設定」を選ぶ

① **00:00** TC/UB設定メニュー ➤「User Bit」➤「タイプ」➤「設定」を順に選ぶ。

② 「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

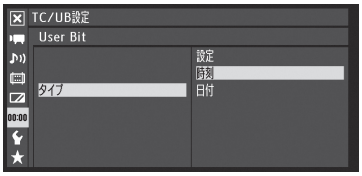


2 8桁の任意の16進数を入力する

① ジョイスティックを上下に押して英数字を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

② ①の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

時刻または日付を設定する



① **00:00** TC/UB設定メニュー ➤「User Bit」➤「タイプ」を順に選ぶ。

② 「時刻」または「日付」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

ユーザービットを出力する

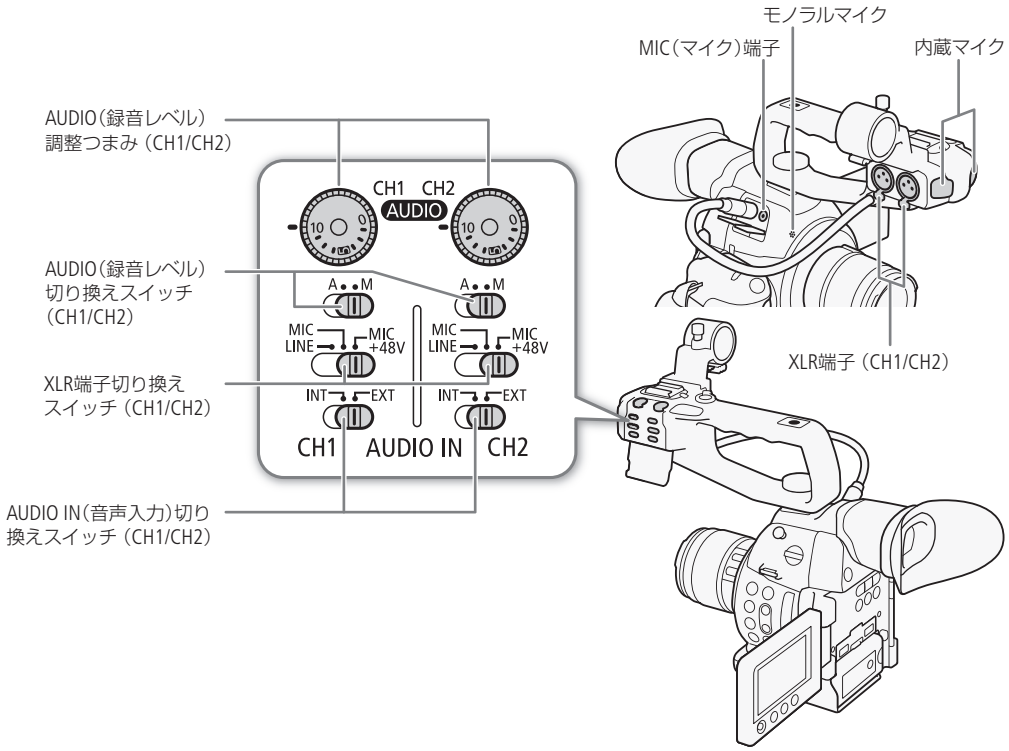
設定したユーザービットをHDMI OUT端子から出力します。フレームレートが23.98Pの場合、**00:00** TC/UB設定メニュー ➤「User Bit」➤「Outputモード」を「プルダウン」にすると、ユーザービットが2:3プルダウン情報になります。

音声を記録する

本機で収録する音声は、モノラルマイク、内蔵マイク*、外部マイク（MIC端子／ XLR端子*）、外部ライン入力（XLR端子）*から選びます。XLR端子を使用するとき、チャンネル1 ／チャンネル2の音声入力はそれぞれ個別に選択できます。ビットレートを「28 Mbps LPCM」または「24 Mbps LPCM」に設定すると、2チャンネルのリニアPCM記録方式で音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHzです。

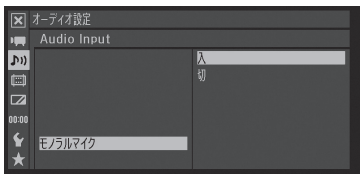
* ハンドルユニット装着時のみ。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



モノラルマイクを使う

モノラルマイクを使ってボイスメモを記録すると、編集時、映像と音声を同期しやすくなります。モノラルマイクは、本機にハンドルユニットと外部マイク（MIC端子）を取り付けていないときに、メニューで有効にすると使用できます。音声はモノラルで記録されます。

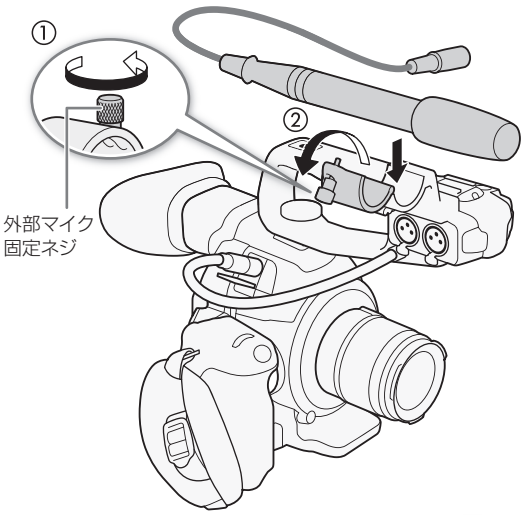


① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「モノラルマイク」を順に選ぶ。

②「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

■ 外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する

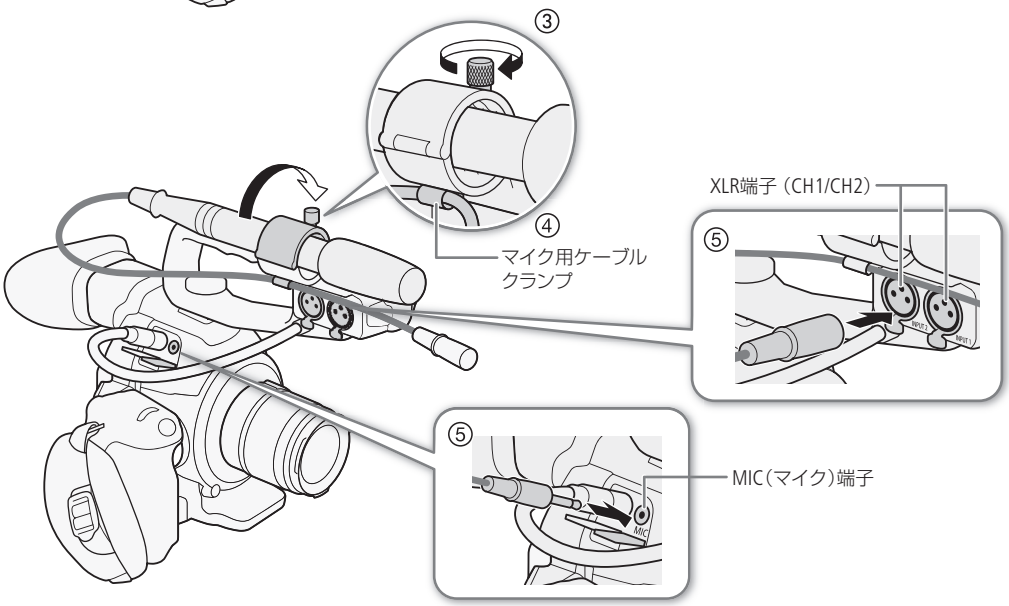
XLR端子にはXLRコネクターの外部マイク／外部ライン入力機器を、MIC（マイク）端子にはΦ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクを接続できます。マイクホルダーやXLR端子を使用するときは、ハンドルユニットを取り付けてください。



1 マイクのとき　外部マイク固定ねじをゆるめ（①）、外部マイクホルダーを開く（②）

2 マイクのとき　外部マイクを取り付けて固定し（③）、ケーブルをクランプにとめる（④）

3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する（⑤）



■ 内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の音声を選ぶ

内蔵マイクを使用するときはハンドルユニットを取り付けてください。

1 AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチのCH1/CH2をINTにする。
- 内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の音声が選択される。
- INTにしているとき、MIC端子にマイクを接続すると、内蔵マイクから外部マイク（MIC端子）へ自動的に切り換わる。

■ 内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の録音レベルを調整する

内蔵マイク／外部マイクの録音レベルを調整します。調整後、AUDIO（録音レベル）カバーを閉じることによって、誤動作を防止できます。

ハンドルユニットを取り付けているとき（内蔵マイク／外部マイク）

CH1の設定（オート／マニュアル、録音レベル）が自動的にCH2に反映されます。

オートで調整する

1 CH1の録音レベル切り換えスイッチをA（オート）にする

マニュアルで調整する

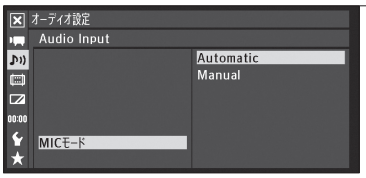
1 CH1の録音レベル切り換えスイッチをM（マニュアル）にする

2 CH1の録音レベル調整つまみを回して、調整する
- つまみの0（−∞）～5（0 dB）～10（+18 dB）の範囲で録音レベルを調整する。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの−18dB（−20dBのひとつ右隣り）より右が時々点灯するように調整する。

3 AUDIO（録音レベル）カバーを閉じる

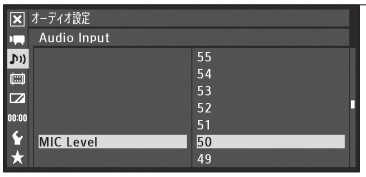
ハンドルユニットを取り付けていないとき（外部マイク）

マニュアルにすると0 ～ 99の範囲で調整できます。



1 録音レベルの調整方法を選ぶ

① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「MICモード」を順に選ぶ。
② 「Automatic」または「Manual」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 「Manual」を選んだとき　録音レベルを調整する

① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「MIC Level」を順に選ぶ。
② ジョイスティックを上下に押して、0（－∞）～ 50（0dB）～ 99（+18dB）の範囲で録音レベルを調節する。
③ ジョイスティックを押す。

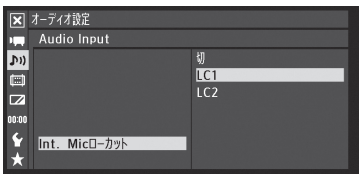
MEMO

- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- アサインボタンに「Audio Level」を割り当てると、アサインボタンを押してオーディオレベルメーター表示を入／切できます（📖 128）。

内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の特性を選ぶ

収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。

内蔵マイク	LC1	人の声を中心に録音するとき。
	LC2	海辺やビルの近くなど風の強いところ、常に風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。
外部マイク	入	



内蔵マイクのとき

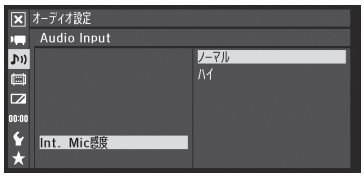
① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「Int. Micローカット」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

外部マイクのとき

① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「MICローカット」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

内蔵マイクの感度を選ぶ

収録する音に合わせて最適な感度で録音できます。



① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「Int. Mic感度」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
ノーマル：通常のレベルの音を録音するとき。
ハイ　　：より大きな音量（+6db）で録音するとき。

内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）のアッテネーターを使う

必要に応じてアッテネーターを使用できます（Att.：Attenuator）。

① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「Int. Mic Att.」または「MIC Att.」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 内蔵マイクには12dBの、外部マイク（MIC端子）には20dBのアッテネーターがかかる。

■ 外部マイク（XLR端子）／外部ライン入力（XLR端子）の音声を選ぶ

XLR端子はチャンネル1 ／チャンネル2の音声入力をそれぞれ個別に選択できます。

外部マイクまたは外部ライン入力を選ぶ

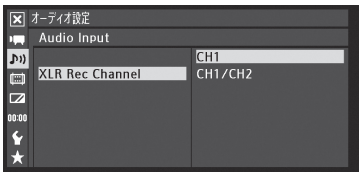
1 AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチのCH1/CH2をEXTに切り換える

2 XLR端子切り換えスイッチのCH1/CH2をLINE（ライン）またはMIC（マイク）にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC＋48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。

録音するチャンネルを割り当てる

CH1に入力する音声をチャンネル1に録音するか、チャンネル1とチャンネル2の両方に録音するかを選びます。



① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「XLR Rec Channel」を順に選ぶ。
② 「CH1」または「CH1/CH2」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
CH1：　CH1入力をチャンネル1に、CH2入力をチャンネル2に録音する。
CH1/CH2：CH1入力をチャンネル1／チャンネル2の両方に録音する。CH2入力は録音されない。

ご注意

- ＋48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

XLR端子の録音レベルを調整する

XLR端子の録音レベルはチャンネルごとにオート／マニュアルを個別に設定できます。

オートで調整する

AUDIO（録音レベル）切り換えスイッチをA（オート）にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

XLR端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させる

XLR端子のCH1/CH2が同じ音声入力（外部ライン入力または外部マイク）に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、CH1とCH2のレベル調整を連動させることができます。♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「XLR ALCリンク」（📖 205）で設定します。

マニュアルで調整する

CH1/CH2の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は－∞～ +18 dBの範囲で行うことができます。調整後、AUDIO（録音レベル）カバーを閉じることによって、誤操作を防止できます。

1 AUDIO（録音レベル）切り換えスイッチをM（マニュアル）にする

2 AUDIO（録音レベル）調整つまみを回して、調整する

- つまみの0（－∞）～ 5（0 dB）～ 10（+18 dB）の範囲でレベルを調整できる。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの－18dB（－20dBのひとつ右隣り）より右が時々点灯するように調整する。

3 AUDIO（録音レベル）カバーを閉じる

音声信号レベルを制限する

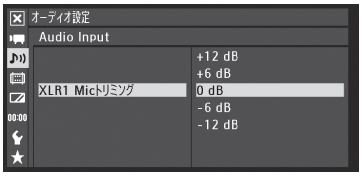
過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力レベルが−6 dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限してひずみを防止します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「XLR リミッター」(📖 205)で行います。

MEMO

- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- アサインボタンに「Audio Level」を割り当てると、アサインボタンを押してオーディオレベルメーター表示を入／切できます(📖 128)。

外部マイク (XLR端子)の入力感度を調整する

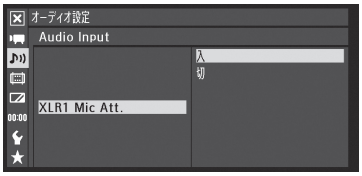
XLR端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。



① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「XLR1 Micトリミング」または「XLR2 Micトリミング」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

外部マイク (XLR端子)のアッテネーターを使う

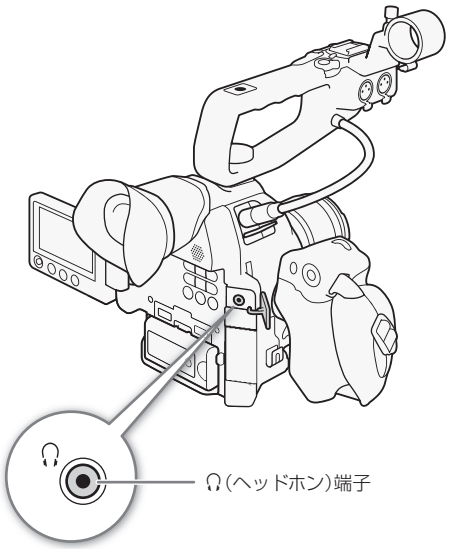
XLR端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。



① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「XLR1 Mic Att.*」または「XLR2 Mic Att.」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- マイク信号にアッテネーター (20 dB)がかかる。

* Att.はAttenuator(アッテネーター)の略。

■ ヘッドホンでモニターする



Φ3.5mmステレオミニプラグのヘッドホンをΩ（ヘッドホン）端子に接続して、収録される音声をモニターできます。音量は♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」➤「Headphone音量」またはアサインボタン（📖 128）で調整します。

MEMO

- モニターする際、音声を映像に同期させるか、リアルタイムの音声をモニターするかを♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」の「モニターディレイ」で設定できます（📖 166）。

カラーバー／テストトーンを記録する

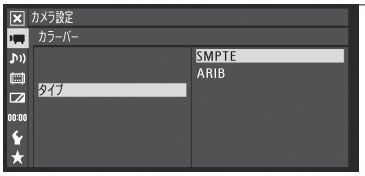
測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを出力／記録できます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

出力される端子

	AV OUT端子	HDMI OUT端子	∩(ヘッドホン)端子
カラーバー	●	●	—
テストトーン	●	●	●

カラーバーを記録する



1 カラーバーのタイプを選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「カラーバー」➤「タイプ」を順に選ぶ。
② 「SMPTE」、「ARIB*1」、「EBU*2」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

*1 システム周波数が「59.94Hz」時のみ。
*2 システム周波数が「50.00Hz」時のみ。

2 カラーバーを表示する

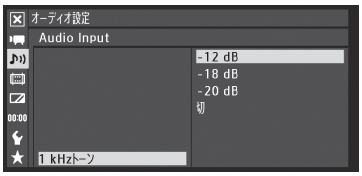
① カメラ設定メニュー ➤「カラーバー」➤「表示」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面にカラーバーが表示される。
- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーが記録される。
- 電源を切るかメディアモードに切り換えると、自動的に「切」になる。

MEMO

- カラーバーを使用するときは、カスタムピクチャーを「Off」にするか、カスタムピクチャーの「Other Functions」➤「Over 100%」を「Through」に設定してください(📖 142)。
- アサインボタンに「カラーバー」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます(📖 128)。

テストトーンを記録する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて－12 dB、－18 dB、－20 dBから選ぶことができます。



① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「1 kHzトーン」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したレベルのテストトーンが出力される。
- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、テストトーンが記録される。

波形モニターを表示する

画面に波形モニター（Waveform Monitor）やベクトルスコープ（Vectorscope）を簡易表示できます。また、エッジモニター（Edge Monitor）を表示することもできます。これらは有機ELモニターの画面のみに表示され、ファインダーや各出力端子からの映像には表示されません。

モニター表示を選ぶ

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

WFM（波形モニター）ボタンを押す。

- WFM（波形モニター）ボタンを押すたびにモニター表示が次の順に切り換わる。

  切 → 「Waveform Monitor」（波形モニター） → 「Vectorscope」（ベクトルスコープ） → 「Edge Monitor」（エッジモニター）* → 切

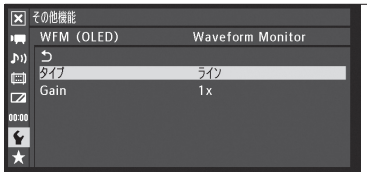
  * カメラモードのみ

- その他機能メニュー ➤ 「WFM（OLED）」 ➤ 「設定」でもモニター表示を選ぶことができる。

波形モニター（Waveform Monitor）のタイプを選ぶ

波形モニターは5種類のタイプから選ぶことができます。また、波形のゲインを1倍と2倍から選択できます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

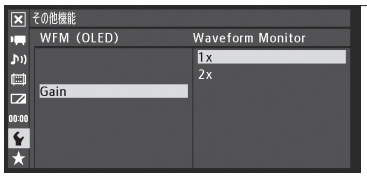


1 波形モニターのタイプを選ぶ

① その他機能メニュー ➤ 「WFM（OLED）」 ➤ 「Waveform Monitor」 ➤ 「タイプ」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

ライン：	ライン表示する。
ライン+スポット：	ライン表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。
フィールド：	フィールド表示する。
RGB：	R、G、B信号をパレード表示する。
YPbPr：	Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。



2 波形のゲインを選ぶ

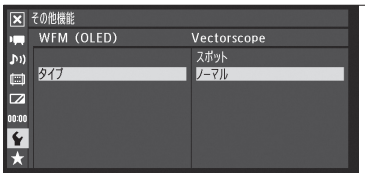
① その他機能メニュー ➤ 「WFM（OLED）」 ➤ 「Waveform Monitor」 ➤ 「Gain」を順に選ぶ。

② 「1x」（1倍）または「2x」（2倍）を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

ベクトルスコープ（Vectorscope）のタイプを選ぶ

ベクトルスコープは2種類のタイプから選びます。また、波形のゲインを1倍と5倍から選択できます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



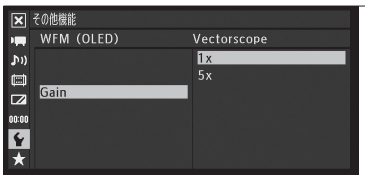
1 ベクトルスコープのタイプを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「WFM（OLED）」➤「Vectorscope」➤「タイプ」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

スポット： ノーマル表示に重ねて、赤枠内の色信号を赤色で表示する。

ノーマル： ベクトルスコープを表示する。



2 波形のゲインを選ぶ

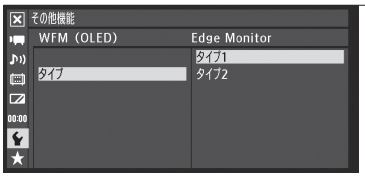
① その他機能メニュー ➤「WFM（OLED）」➤「Vectorscope」➤「Gain」を順に選ぶ。

②「1x」（1倍）または「5x」（5倍）を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

エッジモニター（Edge Monitor）のタイプを選ぶ

エッジモニターは2種類のタイプから選びます。映像全体の合焦度合いを波形で表示するため、フォーカスを調整するときに使うと、ピントが合わせやすくなります。フォーカスアシスト機能（ピーキング、拡大表示）と一緒に使うこともできます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



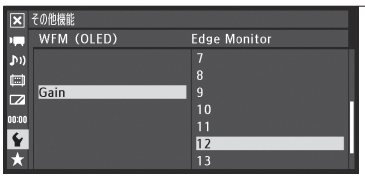
1 エッジモニターのタイプを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「WFM（OLED）」➤「Edge Monitor」➤「タイプ」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

タイプ1： 合焦度合いを示す波形を緑色で表示し、さらに画面上の3箇所に表示した赤枠内で検出した波形を赤色で重ねて表示。

タイプ2： 波形モニター（ライン+スポット）とエッジモニターを同時に表示。エッジモニターは、画面全体の合焦度合いを示す波形を青色で、画面中央赤枠内の合焦度合いを示す波形を赤色で表示。



2 波形のゲインを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「WFM（OLED）」➤「Edge Monitor」➤「Gain」を順に選ぶ。

②「切」または「1」～「15」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

レックレビューで確認する

カメラモードで最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。再生のしかたは、映像をすべて再生するか、最後の4秒のみを再生するかを選択できます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1 レックレビューの再生範囲を設定する

① その他機能メニュー ➤「レックレビュー」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

クリップ先頭から： クリップの先頭からすべて再生する。

最終4 sec： クリップの最後の4秒間のみを再生する。

2 撮影が終了したあと 映像を再生して確認する

① ⊜ ／ INDEXボタンを押す。

- 画面に「▶ REVIEW」が表示される。
- 直前に撮影した映像が再生される。このとき、映像と一緒に記録された音声は再生されない。

レックレビューを中止するとき

CANCELを押す。

- レックレビューが終了すると、自動的に撮影一時停止状態（STBY）に戻る。

MEMO

- プレ記録、スロー &ファーストモーション記録と同時に使用することはできません。
- 撮影中に記録先のSDカードが自動的に切り換わった場合、直後にレックレビューを行うと、新たに記録先となったSDカード内のクリップが再生されます。

ファイル番号の付けかたを選ぶ

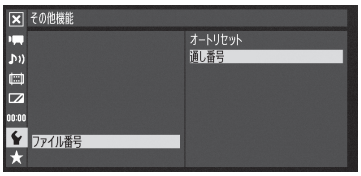
MP4クリップ／静止画のファイル番号の付けかたを選びます。MP4クリップ／静止画には連続した番号が自動的に付けられ、SDカード内のフォルダーに保存されます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

ファイル番号の付けかた

通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

オートリセット	初期化されたSDカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。SDカード内にすでにMP4クリップ／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	最後に記録したMP4クリップ／静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカード内に記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。



① その他機能メニュー ➤「ファイル番号」を順に選ぶ。
② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

フォルダー番号

フォルダー番号の上3桁は100 ～ 999の番号、下4桁は記録した月日を表します。

ファイル番号

- ファイル番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー番号の上3桁（100 ～ 999）、下4桁はMP4クリップ／静止画固有の番号（0001 ～ 9999）になります。
- ファイル番号は、パソコンで見るときのSDカード内のファイルの場所も表します。6月1日に記録したファイル番号が「100-0007」のMP4クリップ／静止画は、「DCIM ￥100_0601」というフォルダーの中に「MVI_0007.MP4」または「IMG_0007.JPG」というファイル名で表示されます。

MEMO

- 1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。
- 「通し番号」選択時にファイル番号をリセットするときは、その他機能メニュー ➤「リセット」➤「全設定」を選んでください（📖 211）。ただしその他の設定も初期状態に戻ります。

特殊記録を行う

次の特殊記録を行うことができます。

プレ記録	撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮影開始操作が遅れたときの撮り逃がしを防ぐ。
スロー &ファーストモーション記録	再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にスローモーションやファーストモーションの効果を得る。

プレ記録を行う

START/STOP(スタート／ストップ)ボタンを押して撮影を開始する約3秒前からの映像と音声を記録できます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1 プレ記録を設定する

① その他機能メニュー ➤「特殊記録」➤「プレ記録」を順に選ぶ。

② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、プレ記録モードになる。

2 撮影する

① START/STOPボタンを押す。

- 撮影が開始される。
- 画面に「●PRE REC」が表示されて、前後のタリーランプが点灯する。

② 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す。

- 撮影開始約3秒前からの映像が記録される。
- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、前後のタリーランプは消灯する。

MEMO

- プレ記録を「入」にして、プレ記録撮影一時停止の状態で約1時間経過すると、プレ記録は解除されます。
- 最終クリップ消去、レックレビュー、常時記録、スロー&ファーストモーション記録と同時に使用することはできません。

プレ記録中のタイムコード

- タイムコードの記録は、撮影開始操作の約3秒前から行われます。
- Free Run（フリーラン）で記録されます。
- Rec Run（レックラン）またはRegen.（リジェネ）に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Run（フリーラン）に設定されます。
- プレRecを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

スロー＆ファーストモーション記録を行う

再生時のフレームレートと異なるフレームレート（撮影フレームレート）でMP4形式の動画を記録できます。再生時よりも高いフレームレートで撮影し再生するとスローモーション効果が得られ、再生時よりも低いフレームレートで撮影し再生するとファーストモーション効果が得られます。なお、音声は記録されません。

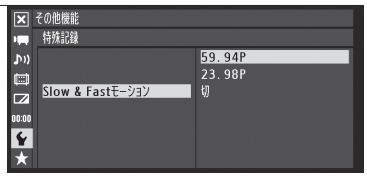
CAMERA　MEDIA　AVCHD　MP4

記録信号形式と撮影フレームレート

記録信号形式によって、撮影フレームレートが異なります。

記録信号形式			撮影フレームレート
システム周波数	ビットレート	フレームレート	
59.94Hz	35 Mbps	59.94P	29.97P、23.98P
	24 Mbps、17 Mbps	29.97P	59.94P、23.98P
		23.98P	59.94P、29.97P
50.00Hz	35 Mbps	50.00P	25.00P
	24 Mbps、17Mbps	25.00P	50.00P

1 スロー＆ファーストモーション記録を選ぶ



① その他機能メニュー ➤「特殊記録」➤「Slow & Fastモーション」を順に選ぶ。

② システム周波数が59.94Hzのとき
いずれかの撮影フレームレートを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

システム周波数が50.00Hzのとき
「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 画面に「S&F STBY」と、設定されているフレームレート（撮影フレームレート／再生フレームレート）が表示される。

解除するとき　「切」を選ぶ。

2 撮影する

① START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押す。

- 設定した撮影フレームレートで記録される。
- 画面に「●S&F REC」が表示され、前後のタリーランプが点灯する。

② 撮影を停止するとき　もう一度START/STOPボタンを押す。

- 撮影が終了し、クリップとして記録される。
- 画面に「S&F STBY」が表示され、前後のタリーランプは消灯する。

MEMO

- リレー記録、プレ記録、ダブルスロット記録、常時記録、静止画の撮影と同時に使用することはできません。
- スロー &ファーストモーション記録中は撮影フレームレートの変更はできません。
- 撮影フレームレートの値が小さいと、記録停止に約1秒程度の時間がかかることがあります。
- 記録信号形式を変更すると、スロー &ファーストモーション記録モードは解除されます。

スロー＆ファーストモーション記録中のタイムコード

- Rec Run（レックラン）またはRegen.（リジェネ）で記録され、記録フレーム数ずつ歩進します。
- Free Run（フリーラン）に設定しているときにスロー＆ファーストモーション記録モードにすると、強制的にRec Runに設定されます。
- スロー＆ファーストモーション記録を解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

常時記録を行う

常時記録は、一度開始するとメニューで終了操作を行うまで映像を記録し続けるので、大切な撮影の撮り逃しを防ぐことができます。常時記録中は2枚のSDカードに同時に記録されます（ダブルスロット記録）。

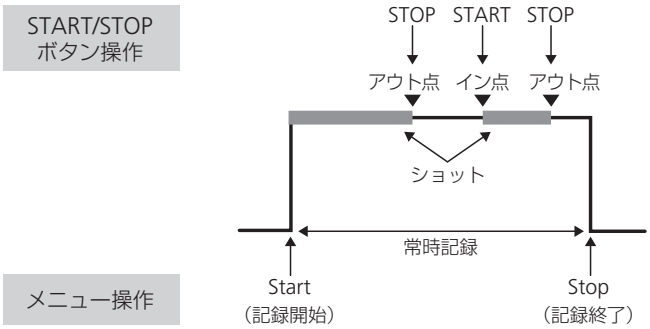
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

常時記録の概念図

START/STOPボタンを押してイン点／アウト点をクリップ内に記録します*1。メディアモードでのインデックス表示や再生、消去をショット単位で行うことができます（📖 148）。記録したイン点／アウト点情報は、対応するソフトウェアに取り込んでノンリニア編集に活用できます*2。

*1 イン点／アウト点は、常時記録で撮影した映像内の必要部分の開始／終了位置を表わすマークです。

*2 対応ソフトウェアについては、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

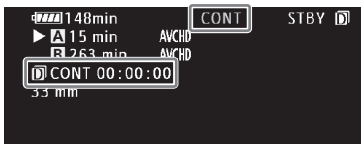


1 常時記録モードを「入」にする

① その他機能メニュー ➤「常時記録」➤「モード」を順に選ぶ。

② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 画面に「CONT」とショットの総記録時間（CONT 00:00:00）が表示され、常時記録モードになる。

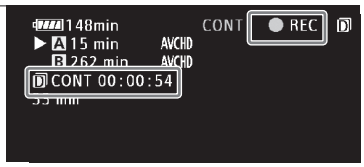


2 常時記録を開始する

① その他機能メニュー ➤「常時記録」➤「Start/Stop」を選ぶ。

② 「Start」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- タリーランプが点灯し常時記録が始まる。画面上では「CONT」が赤色に変わり、タイムコードの更新が始まる。
- 同時にショットのイン点が記録される。画面上では「●REC」が表示され、ショットの総記録時間の更新が始まる。
- START/STOPボタンを押して、常時記録を開始することもできる。



3 必要に応じて、ショットのイン点／アウト点を記録する

① START/STOPボタンを押す。
- ショットの記録中に押すとアウト点が記録され、画面に「STBY」が表示される。ショットの総記録時間の更新は止まる。
- ショットの記録中でないときに押すとイン点が記録され、画面に「●REC」が表示される。

4 常時記録を終了する

① その他機能メニュー ➤「常時記録」➤「Start/Stop」を順に選ぶ。
② 「Stop」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- タリーランプが消灯して常時記録が終了し、常時記録クリップが記録される。
- 画面上では「CONT」が白色に変わり、タイムコードの更新が止まる。
- ショットの記録中に本操作を行うと、自動的にアウト点が記録される。

5 常時記録モードを「切」にする

① その他機能メニュー ➤「常時記録」➤「モード」を順に選ぶ。
② 「切」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 常時記録モードが終了し、画面の「CONT」とショットの総記録時間が消える。

MEMO

- 通常記録時の記録先として選択されていないカードのクリップが常時記録の上限（200個）に達した場合、記録先として選択しているカードだけで常時記録を開始します。
- 常時記録モード中に、リレー記録、プレ記録、レックレビュー、スロー＆ファーストモーション記録、最終クリップ消去は使用できません。
- 常時記録モードを「入」にした直後や常時記録終了直後は、画面上部中央のCONTが点滅し、その他機能メニュー ➤「常時記録」内の設定を変更できません。CONTが点灯してから操作してください。

アクセサリーを使う

本機ではEFレンズEF24-105mm F4L IS II USMやGPSレシーバー GP-E2（別売）、リモートコントローラーRC-V100（別売）を使用できます。

EFレンズEF24-105mm F4L IS II USMを使う

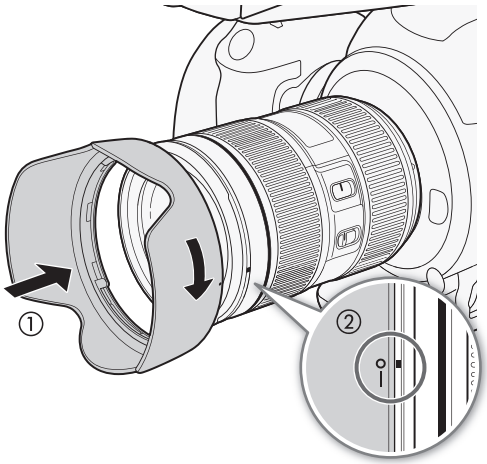
ここではレンズキットに付属しているEFレンズEF24-105mm F4L IS II USM*の使いかたについて説明します。取り付けかたについては30ページをご覧ください。

* ISはImage Stabilizer（手ブレ補正）、USMはUltrasonic Motor（超音波モーター）の略称です。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

フードを取り付ける

専用フードEW-83Mを取り付けると、有害な光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズの前面を保護することができます。なお、レンズをバッグなどに収納するときは、フードを逆向きに取り付けることもできます。



1 フードの赤いマークと、レンズ先端の赤い指標を合わせる（①）

2 図の位置まで回す（②）
- フードを時計方向に回して確実に取り付けます。

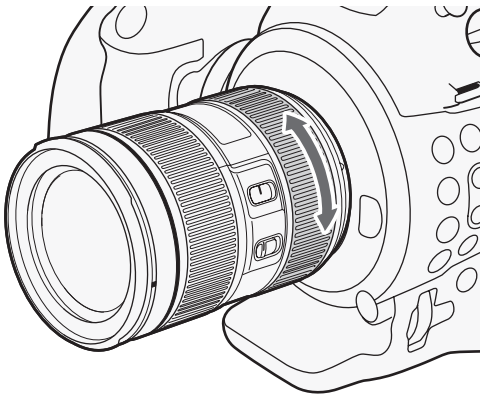
ご注意

- フードの取り付け／取り外しを行うときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。

MEMO

- フードが正しく取り付けられていないと、フードにより画面の周囲がケラレて暗くなることがあります。

ズーム操作する



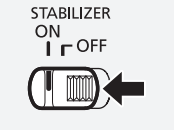
1 ズームリングを回して、ズームを操作する

MEMO

- ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。ピントを合わせた後でズーム操作を行うと、ピントがずれることがあります。

手ブレ補正機能を使う

ISレンズに内蔵された手ブレ補正機能を使用すると、手ブレを補正して安定した映像を撮影できます。レンズのフォーカスモードスイッチがAF/MFどちらの場合でも使用できます。



1 手ブレ補正スイッチをONにする

ご注意

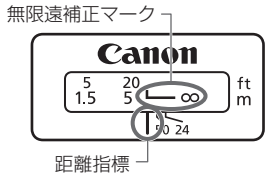
- 撮影後約2秒間は手ブレ補正が作動しています。この間はレンズを外さないでください。故障の原因になります。

MEMO

- 次のような条件の手持ち撮影で効果を発揮します。
  - 夕景や室内など、薄暗い場所
  - 足場が不安定な状況
- 被写体が動いてしまう「被写体ブレ」は補正できません。
- 手ブレ補正が大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 三脚使用時は、バッテリーの消耗を防ぐため手ブレ補正スイッチをOFFにすることをおすすめします。
- 手ブレ補正機能はエクステンションチューブEF12 II/EF25 II（別売）を使用しても作動します。

無限遠補正マークを使う

温度変化によるピント移動を補正するため、無限遠（∞）位置に余裕を持たせてあります。Lマークの縦線と距離指標が合うところが常温の無限遠位置です。

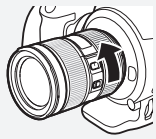


MEMO

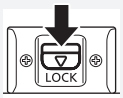
無限遠の被写体に正確にピントを合わせる場合は、マニュアルで調整してください（📖 84）。

ズームリングを固定する

ズームリングを固定してレンズを最短状態に保持し、ズーム繰り出し部が伸びてしまうことを防ぎます。



1 ズームリングをワイド端（24mm）まで回す



2 ズームリングロックレバーをスライドする

- ズームリングの固定を解除するときは、ズームロックレバーを矢印の反対方向にスライドする。

MEMO

- ワイド端以外ではズームリングを固定できません。

フィルター（別売）を使う

レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

MEMO

- フィルターは1枚のみ使用できます。
- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター（77mm）を使用してください。
- 円偏光フィルターの調整操作は、フードを外して行ってください。

エクステンションチューブ（別売）を使う

エクステンションチューブEF12 II/EF25 II を使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

		撮影距離範囲（mm）		撮影倍率（倍）	
		近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	24mm	187	196	0.60	0.50
	105mm	338	1026	0.41	0.12
EF25 II	24mm	使用できません			
	105mm	294	578	0.61	0.27

MEMO

- 正確にピントを合わせるために、マニュアルで調整することをおすすめします。

クローズアップレンズ500D（別売）を使う

クローズアップレンズ500D（77mm）を使用して倍率0.05 ～ 0.36倍の拡大撮影ができます。

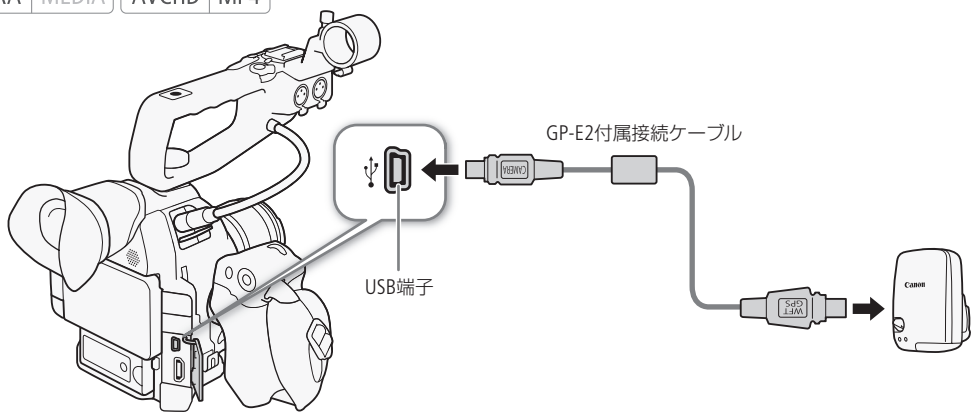
MEMO

- クローズアップレンズ250Dは使用できません。
- 正確にピントを合わせるために、マニュアルで調整することをおすすめします。

GPSレシーバー GP-E2（別売）を使う

本機にGPSレシーバー GP-E2（別売）を接続して撮影すると動画や静止画に経度、緯度、標高、協定世界時（UTC）などのGPS情報を記録できます。本機では、GPS情報の記録の有無をメディアモードで確認できます（📖 149）。撮影時はGP-E2付属の携帯用ケースに入れ、本機のグリップベルトまたは腰に取り付けて使用することをおすすめします。GP-E2の取り付け方や詳細については、GP-E2の説明書をご覧ください。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



1 GP-E2の電源を切り、本機に接続する

2 GP-E2 電源を入れる

- GPS機能が有効になる。画面に🛰が点滅表示されGPS衛星を探索する。
- 衛星を捕捉すると🛰が点灯し、以降に記録するクリップ／静止画にGPS情報が付加される。

日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

① その他機能メニュー ➤「GPS自動時刻設定」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 以降、GP-E2を接続後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
- 「GPS自動時刻設定」が「入」の場合、その他機能メニュー ➤「日時設定」は使用できません。
- ブラウザーリモートを使用中、自動時刻設定は働きません。

クリップ／静止画のGPS情報を表示する

クリップや静止画のGPS情報を表示します。クリップの場合は記録開始時点、ショットの場合はイン点のGPS情報が表示されます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

① クリップまたは静止画を選ぶ。
② クリップメニュー ➤「GPS情報」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- GPS情報が表示される。

ご注意

- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画／静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

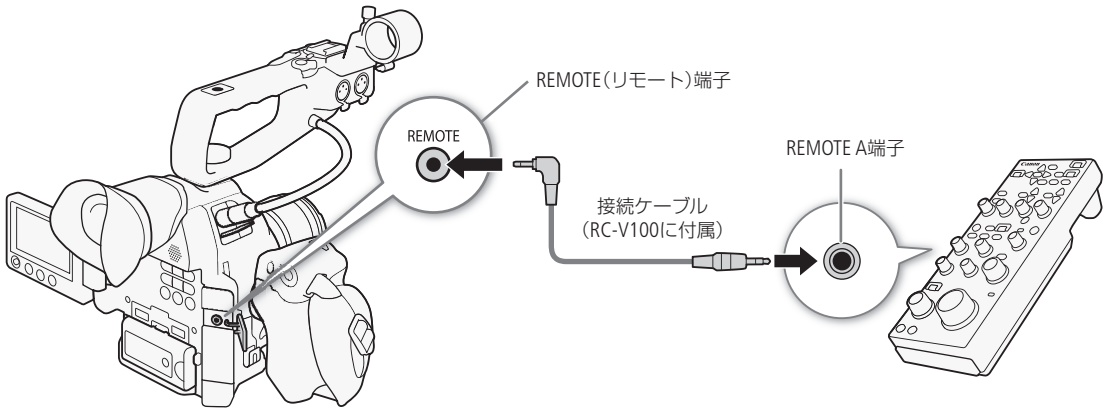
MEMO

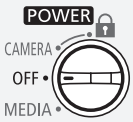
- GPSから取得した位置情報や衛星捕捉状態、信号強度などをステータス画面で確認することもできます（📖 220）。
- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を長時間切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- 本機は、GP-E2の次の機能には対応していません。
  - 「自動時刻設定」の「今すぐ実行」
  - 「位置情報の更新間隔」
  - 「電子コンパス」（方位情報）
- 動画から切り取った静止画には、GPS情報は記録されません。

リモートコントローラー RC-V100（別売）を使う

リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続すると、本機をリモートで操作できます。電源の入／切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッターなどのカメラ設定や、ニー、シャープネスなどの画質調整ができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。

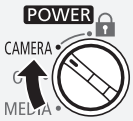
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4





1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

2 RC-V100を本機につなぐ

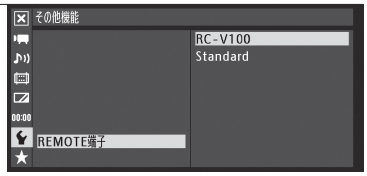


3 POWER（電源）スイッチをCAMERAにする

4 RC-V100を有効にする

① その他機能メニュー ➤「REMOTE端子」を順に選ぶ。

② 「RC-V100」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



MEMO

本機で動作しないボタン／ダイヤル

- ND切り換えボタン
- AGCボタン
- AUTO KNEEボタン
- AFボタン

● AUTO IRISボタンは、対応するEFレンズ（📖 254）を装着しているときのみ使用可能です。
● ZOOMダイヤルは、ズーム調整に対応するEFシネマレンズ（📖 254）を装着しているときのみ使用可能です。
● RC-V100の画質調整（📖 142）は、カスタムピクチャーファイルを選んでいるときのみ使用できます（📖 132）。

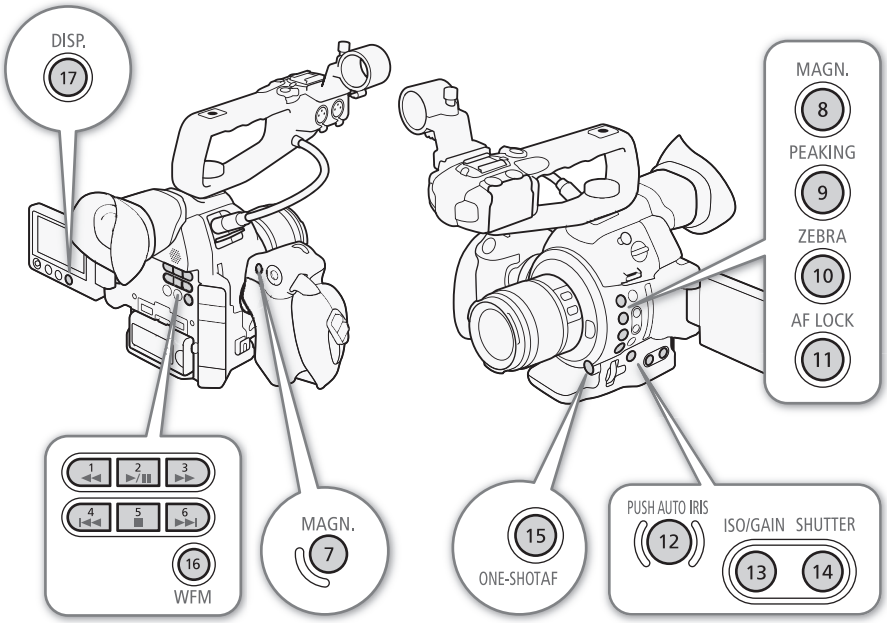
4 カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する... 128
カスタムピクチャーを使用する ... 131
機能や表示をカスタマイズする ... 145
設定データの保存と読み出し..... 146

アサインボタンの機能を変更する

本機には17個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズできます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



No. 1 ～ No. 6のアサインボタンはカメラモードのときのみ使用できます。No. 7 ～ No. 17のアサインボタンには、初期設定でそれぞれのボタン名の機能が割り当てられています。
アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードとメディアモードでそれぞれ個別に設定できます。使用可能な機能は、モードによって異なります。

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
ONE - SHOT AF	ワンショットAFを実行する。	●	
AF LOCK	コンティニュアスAFと顔検出AFのフォーカス位置をロック状態に切り換える。	●	
顔検出AF	顔検出AFの顔優先／顔限定／切を切り換える。	●	
PUSH AUTO IRIS	プッシュ オート アイリスを実行する。	●	
Irisモード	アイリスのモードを切り換える。	●	
Iris +	F値を調整する。押すたびに、絞りを開く。	●	
Iris −	F値を調整する。押すたびに、絞りを絞る。	●	
AE Shift +	露出を明るめに調整する。	●	
AE Shift −	露出を暗めに調整する。	●	
バックライト	測光方式のバックライトの入／切を切り換える。	●	
スポットライト	測光方式のスポットライトの入／切を切り換える。	●	
ISO/GAIN	ISO感度／ゲイン設定に切り換える。	●	
SHUTTER	シャッタースピード設定に切り換える。	●	

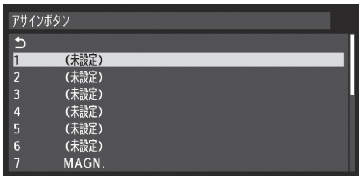
機能名	内容	CAMERA	MEDIA
ビューアシスト	ビューアシストの入／切を切り換える。	●	
HDMI LUT	HDMI OUT端子の出力映像に適用するLUTの入／切を切り換える。	●	
PEAKING	ピーキングの入／切を切り換える。	●	
ZEBRA	ゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
WFM	モニター表示を切り換える。押すたびに、波形モニター → ベクトルスコープ → エッジモニター * → OFFが切り換わる。* カメラモードのみ	●	●
MAGN.	拡大表示の入／切を切り換える。	●	
DISP.	画面の表示を切り換える。	●	●
カラーバー	カラーバーの入／切を切り換える。	●	
マーカー	マーカーの入／切を切り換える。	●	
OLED設定	OLED設定メニューを表示する。	●	●
VF設定	VF設定メニューを表示する。	●	●
OLED/VF モノクロ	画面のモノクロ表示の入／切を切り換える。	●	●
オンスクリーン表示	端子からの出力映像に画面表示を重畳する／しないを切り換える。切り換えは、HD出力とSD出力を同時に行う。	●	●
Time Code	タイムコードメニューを表示する。	●	
Time Codeホールド *1	画面に表示されるタイムコード値の保持／保持解除を切り換える。	●	●
Headphone +	ヘッドホンの音量を大きくする。	●	●
Headphone −	ヘッドホンの音量を小さくする。	●	●
Speaker +	スピーカーの音量を大きくする。		●
Speaker −	スピーカーの音量を小さくする。		●
モニター Channels	🎧(ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。	●	●
Audio Level	オーディオレベルメーター表示の入／切を切り換える。	●	●
Photo *1	静止画を記録する。	●	●
マイメニュー	マイメニューを表示する。	●	
Media初期化	その他機能メニュー ➤「Media初期化」を表示する。	●	●
上	ジョイスティックの▲と同じ。押すとカーソルが上に移動する。	●	●
下	ジョイスティックの▼と同じ。押すとカーソルが下に移動する。	●	●
左	ジョイスティックの◀と同じ。押すとカーソルが左に移動する。	●	●
右	ジョイスティックの▶と同じ。押すとカーソルが右に移動する。	●	●
SET	ジョイスティックを垂直に押す操作と同じ。押すと選択した内容を決定する。	●	●
STATUS	ステータス画面を表示する。	●	●
WB SET	ホワイトバランスセットやプリセット設定、色温度設定を調整する。	●	
WB	ホワイトバランスのモードを切り換える。	●	

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
CUSTOM PICTURE	CP（カスタムピクチャー）メニューを表示する。	●	
ユーザー設定*1	任意のメニュー項目を表示する。	●	●

*1 アサインボタンのみの機能
*2 動画のみ

機能を変更する

例：アサイン1ボタンに「マーカー」を割り当てる場合



① その他機能メニュー ➤「アサインボタン」➤「1」を順に選ぶ。
②「マーカー」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「ユーザー設定」を選んだとき

- メニューが青色に変わり、割り当てるメニュー項目を選ぶ画面になる。メニュー項目を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「ユーザー設定」が選んだメニュー項目の名称（先頭に★が付く）に変わる。

アサインボタンに割り当てた機能を使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押して項目を選び、ジョイスティックを押します。

MEMO

- アサインボタンに割り当てられた機能は、ステータス画面で確認できます（📖 220）。
- その他機能メニュー ➤「リセット」➤「アサインボタン」で、アサインボタンの割り当てを初期状態に戻すことができます（📖 211）。

カスタムピクチャーを使用する

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機やSDカードに保存し、必要に応じて再利用できます。また、カスタムピクチャーを設定して静止画を撮影すると、カスタムピクチャーファイルを静止画と一緒にSDカードに保存できます（📖 137）。カスタムピクチャーファイルは、本機に9セット、各SDカードに20セットずつ保存でき、本機とSDカードの間で相互にコピーできます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

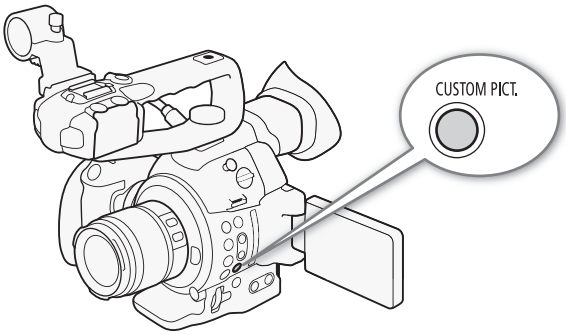
機能分類	機能	設定項目	📖
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	138
	ブラックガンマ	Black Gamma	139
	マスターペデスタル	Black – Master Pedestal	138
	マスターブラック	Black – Master Black	138
	ニー	Knee	139
	セットアップ	Other Functions – Setup Level	142
	オーバー 100%	Other Functions – Over 100%	142
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネスレベル	Sharpness – Level	140
	シャープネス水平帯域	Sharpness – H Detail Freq.	140
	シャープネス水平垂直バランス	Sharpness – HV Detail Bal.	140
	シャープネスリミット	Sharpness – Limit	140
	シャープネスセレクト	Sharpness – Select	140
	ニーアパーチャー	Sharpness – Knee Aperture	140
	輝度適応シャープネス	Sharpness – Level Depend	140
	コアリングレベル	Sharpness – Coring – Level	140
	輝度適応コアリング	Sharpness – Coring – D-Ofst / D-Curve	140
	ノイズリダクション	Noise Reduction	140
	スキンディテール	Skin Detail	140
輪郭やノイズに関わるグループ	セレクティブノイズリダクション	Selective NR	141
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.	139
	ニーサチュレーション	Knee – Saturation	139
	カラーマトリックス	Color Matrix	141
	カラーゲイン	Color Matrix –Gain	141
	色相	Color Matrix – Phase	141
	ホワイトバランス	White Balance	141
	カラーコレクション	Color Correction	142

MEMO

- SDカードに保存したカスタムピクチャーファイルは、C100 Mark IIのみで使用可能です。
- カメラ設定メニュー ➤「CP CINEMA固定」が「入」の場合、カスタムピクチャーは使用できません。撮影した映像は、CINEMAプリセットの設定で記録されます。

カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。カスタムピクチャーファイルの編集／登録、名称変更、プロテクト、コピーを行うときも、その対象となるカスタムピクチャーファイルを選びます。



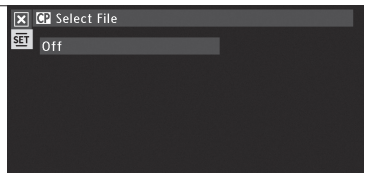
CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタン
押すとCP（カスタムピクチャー）メニューが表示される。もう一度押すと消える。

1 CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押す

- CP（カスタムピクチャー）メニューが表示される。

2 SET（Select File）を選ぶ

① SET（Select File）を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

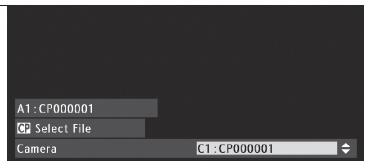


3 カスタムピクチャーファイルを選ぶ

① 「Camera」（本機）、「SD A」または「SD B」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「SD A」と「SD B」はSDカードにカスタムピクチャーが保存されているときのみ表示。

カスタムピクチャーを使用しないとき
「Off」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

② カスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- C1 ～ C9が本機の、A1 ～ A20、B1 ～ B20がSDカードのカスタムピクチャーファイルを表わす。
- 選んだカスタムピクチャーファイルに登録されている設定に調整される。



CUSTOM PICT.

4 CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押す

- CPメニューが消え、選んだカスタムピクチャーファイルの番号（「CP X」または「CP XX」）が表示される。

プリセットされたカスタムピクチャーについて

初期状態では、C7 ／ C8 ／ C9にシーン設定値がプリセットされています。これらのカスタムピクチャーファイルは、プロテクトされているため、変更するときはプロテクトを解除する必要があります。

	用途
C7 : EOS Std.	デジタル一眼レフカメラEOSでピクチャースタイル「スタンダード」を選択した場合の画質を再現する設定。鮮やかでくっきりした画質になる。
C8 : Wide DR	ポストプロダクション処理なしでも使用でき、広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせたカラーマトリックスを適用する設定。
C9 : CINEMA	ガンマとカラーマトリックスをCanon Logにすることにより、ダイナミックレンジが広く、ポストプロダクション処理に適した色調の映像を記録する。

MEMO

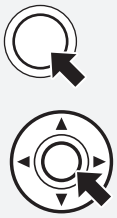
リモートコントローラー RC-V100（別売）を使うとき

- RC-V100のCUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押して、CP（カスタムピクチャー）メニューを表示することもできます。
- カスタムピクチャーファイルを選んでいないか、プロテクトしたカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません（📖 142）。
- RC-V100を接続中、SDカード内のカスタムピクチャーは使用できません。A1 ～ A20またはB1 ～ B20を選択中にRC-V100を接続すると、自動的に「Off」に切り換わります。SDカードに入っているカスタムピクチャーファイルを使うときは、あらかじめ本機のカスタムピクチャーファイルに置き換えて使用してください（📖 136）。
- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されます。大切なカスタムピクチャーファイルはSDカードにコピーし、変更しても良いカスタムピクチャーファイルを選んでから、RC-V100で調整してください。

カスタムピクチャーファイルを登録する

撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。

CUSTOM PICT.



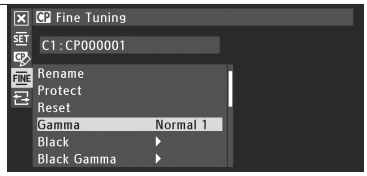
1 CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ カスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。

2 画質調整の設定を行う

参考 ➤➤「カスタムピクチャーの設定項目」（📖 137）

例：Gammaを「Cine 1」に設定する場合

① CPメニュー ➤ FINE（Fine Tuning）➤「Gamma」を選ぶ。
② 「Cine 1」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



設定を初期設定に戻すとき

❶ CPメニュー ➤ FINE（Fine Tuning）➤「Reset」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
❷ 「NEUTRAL」、「EOS Std.」、「Wide DR」、「CINEMA」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
❸ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 カスタムピクチャーファイルの名前を設定する

① CPメニュー ➤ FINE（Fine Tuning）➤「Rename」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- Rename（名前変更）画面が表示され、一番左の文字の背景がオレンジ色になる。

② ジョイスティックを上下に押して文字を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 文字は、英数字、記号が使用できる。

③ ②の操作を繰り返して、すべての文字を設定する ➤「Set」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- カスタムピクチャーファイルの名前が決定される。

CUSTOM PICT.

4 CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押す

- CPメニューが消え、画面に選んだカスタムピクチャーファイルの番号（CP X）が表示される。

カスタムピクチャーファイルをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーファイルをプロテクトすることができます。

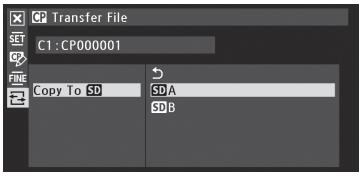
① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ カスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
② CPメニュー ➤ FINE（Fine Tuning）➤「Protect」を順に選ぶ。
③「Protect」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- CPメニュー上のカスタムピクチャーファイル名に O-n が表示される。

カスタムピクチャーファイルをコピーする

カスタムピクチャーファイルを本機とSDカードAまたはSDカードBとの間で相互にコピーすることができます。SDカードAとSDカードBとの間では相互にコピーすることはできません。

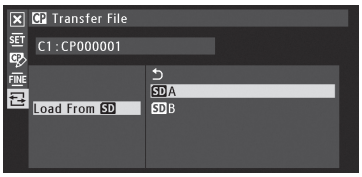
Copy To SD	現在のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーファイルを上書きするかを選ぶ。
Load From SD	現在のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードのカスタムピクチャーファイルで上書きする。
Copy To Cam.	現在のカスタムピクチャーファイル（SDカード）を本機にコピーする。コピー先として選んだ既存のカスタムピクチャーファイルが上書きされる。
Load From Cam.	現在のカスタムピクチャーファイル（SDカード）を本機のカスタムピクチャーファイルで上書きする。

現在のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードにコピーする



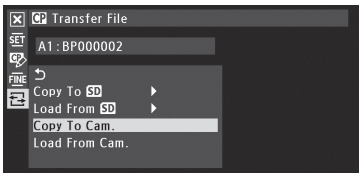
① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ 本機内のカスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
② CPメニュー ➤ （Transfer File）➤「Copy To SD」を順に選ぶ。
③「SD A」または「SD B」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ SDカード内のコピー先となるカスタムピクチャーファイルまたは「New File」*を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
* SDカード内のカスタムピクチャーファイルが20セット未満のときに表示される。
⑤「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 現在のカスタムピクチャーファイル（本機）がSDカードにコピーされる。
● 「New File」を選んだときは、自動的に最後に追加される。
⑥ ジョイスティックを押す。
⑦ CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードのカスタムピクチャーファイルで置き換える



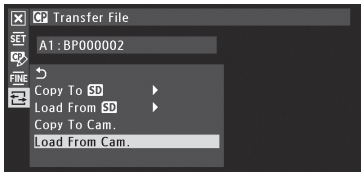
① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ 本機内のカスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
② CPメニュー ➤ （Transfer File）➤「Load From SD」を順に選ぶ。
③「SD A」または「SD B」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ SDカード内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
⑤「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 現在のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
⑥ ジョイスティックを押す。
⑦ CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャーファイル（SDカード）を本機にコピーする



① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ SDカード内のカスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
② CPメニュー ➤ （Transfer File）➤「Copy To Cam.」を順に選ぶ。
③ 本機内のコピー先となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 現在のカスタムピクチャーファイル（SDカード）が本機にコピーされる。
⑤ ジョイスティックを押す。
⑥ CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャーファイル（SDカード）を本機のカスタムピクチャーファイルで置き換える



① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ SDカード内のカスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
② CPメニュー ➤ （Transfer File）➤「Load From Cam.」を順に選ぶ。
③ 本機内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 現在のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
⑤ ジョイスティックを押す。
⑥ CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

カスタムピクチャーファイルを静止画と一緒に保存する

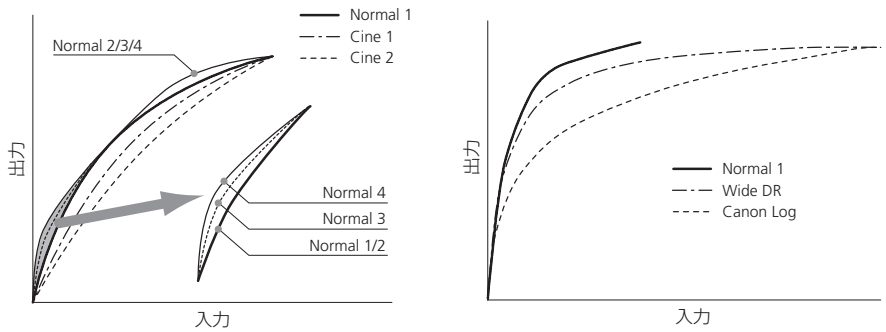
調整を行った画質設定で静止画を撮影すると、カスタムピクチャーファイルが静止画と一緒に保存されます。静止画と一緒に保存したカスタムピクチャーファイルは、本機にコピーして再利用することができます（📖 199）。

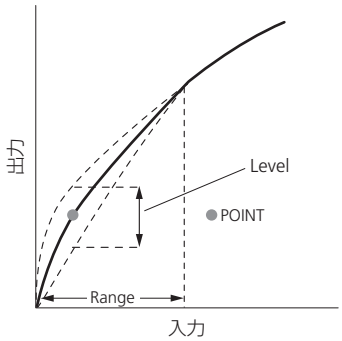
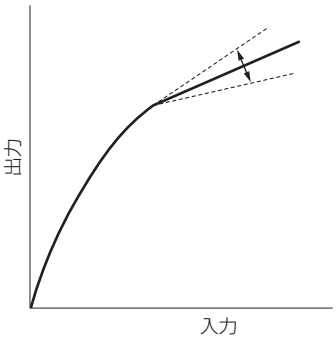
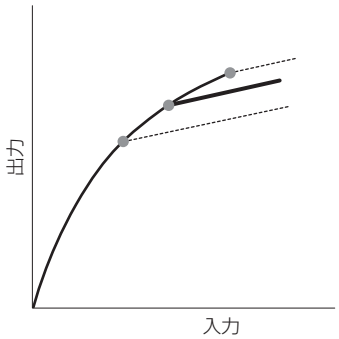
① その他機能メニュー ➤「静止画」➤「CP ファイル付加」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字*で記載しています。
* カスタムピクチャーファイルの選択（CPメニュー ➤ Select File）で「Off」を選んだときも太字の内容に設定されます。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Rename	カスタムピクチャーファイル名		カスタムピクチャーファイルの名前を英数字8文字で設定する。
Protect（プロテクト）	—	Protect、Unprotect	現在のカスタムピクチャーファイルをプロテクトする。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Reset（リセット）	—	**NEUTRAL**、 CINEMA、 Wide DR、 EOS Std.	現在のカスタムピクチャーファイルの設定を、初期設定に戻す。 NEUTRAL：標準的な初期設定に戻す。 CINEMA：　CINEMAプリセットの初期設定に戻す。 Wide DR：　Wide DRプリセットの初期設定に戻す。 EOS Std.：　EOS Std.プリセットの初期設定に戻す。
Gamma（ガンマ） ガンマカーブを選択する	—	**Normal 1**、 Normal 2、 Normal 3、 Normal 4、 Cine 1、 Cine 2、 EOS Std.、 Wide DR、 Canon Log	画面全体のテイストを決めるガンマカーブを9種類から選択する。 Normal 1 ～ Normal 4：TVモニターで見るとき。 Normal 2：Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影。 Normal 3（ITU-R BT.709）／ Normal 4：順にNormal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。 Cine 1：映画に近い質感や階調。 Cine 2：Cine 1よりソフトなコントラストで映画表現に適したガンマ。 EOS Std.：デジタル一眼レフカメラEOSでピクチャースタイル「スタンダード」を選択したとき。Normal1に比べてコントラストが高い。 Wide DR：広いダイナミックレンジを確保。TVモニターに出力するとき。 Canon Log：ダイナミックレンジを広くとる。ポストプロダクション処理が前提（📖 57）。
	Gamma  		
Black（ブラック） 黒のレベル、黒の色かぶりを調整する	Master Pedestal	±50（**±0**）	黒のレベルを調整する。値を高くするほど画像の暗い部分が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。
	Master Black Red Green Blue	 ±50（**±0**） ±50（**±0**） ±50（**±0**）	黒の色かぶりをRGB個別に補正する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Black Gamma （ブラックガンマ） 低輝度部のガンマを補正する	Level	±50（**±0**）	低輝度部のガンマを補正する。Level（基準ガンマからの高さ）、Range（幅）、Point（頂点の位置）の調整があり、各設定値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。 「Gamma」で「Wide DR」または「Canon Log」を選択時は、設定の変更はできるが機能は無効になる。 Black Gamma 
	Range	−20 ～ 50（**±0**）	
	Point	−20 ～ 50（**±0**）	
Low Key Satur. （ローキーサチュレーション）	Enable	On、**Off**	Onにすると、低輝度領域で色の濃い／薄いを調整できる。
	Level	±50（**±0**）	EnableがOnのとき、低輝度領域の色の濃さ・薄さを設定する。
Knee（ニー） ニー（高輝度部に圧縮をかける機能）を調整する	Enable	**On**、Off	高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。ニーのかけかたは、Slope（ニーの傾き）、Point（ニーポイント）、Saturation（ニーポイントより上の高輝度部における色の濃さ・薄さ）の各設定値で調整する。 「Gamma」で「Cine 1」／「Cine 2」／「EOS Std.」／「Wide DR」／「Canon Log」を選択時は、設定の変更はできるが機能は無効になる。
	Slope	−35 ～ 50（**±0**）	
	Point	50 ～ 109（**95**）	
	Saturation	±10（**±0**）	
	Knee Slope  		Knee Point 

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Sharpness （シャープネス） 出力信号、記録信号の輪郭強調を設定する	Level	−10 ～ 50（**±0**）	輪郭強調のレベルを調整する。
	H Detail Freq.	±8（**±0**）	水平の輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。
	Coring Level D-Ofst D-Curve	 −30 ～ 50（**±0**） **0** ～ 50 **0** ～ 8	輪郭強調によって発生するノイズ成分を低減する（コアリング）。Level（コアリングのレベル）を大きくすると、微小な輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。また、輝度に応じてコアリングのレベルを変えることもできる（輝度適応コアリング）。最低輝度のコアリングレベルをD-Ofst（レベルディペンド-オフセット）で、LevelからD-Ofstまでの変化のしかたをD-Curve（レベルディペンド-カーブ）で設定する。
	HV Detail Bal.	±8（**±0**）	輪郭強調の水平成分と垂直成分の比率を調整する。値を大きくすると垂直成分が大きくなり、値を小さくすると水平成分が大きくなる。
	Limit	±50（**±0**）	輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。
	Select	**0** ～ 15	Levelで設定した通常の輪郭強調に加えて、より高い周波数成分を含む輪郭強調をかけるときに設定する。数値が大きくなるほど高い周波数成分を含む輪郭強調のレベルが強くなる。通常の輪郭強調では鮮明になりにくい被写体に使用する。
	Knee Aperture Gain Slope	 **0** ～ 9 0 ～ 3（**1**）	ニーポイントより輝度が高い領域だけに輪郭強調をかける。Gainは輪郭強調の強さを、Slopeは輪郭強調の傾きを0（なし）、1（急）～ 3（なだらか）の4段階で設定する。Gammaで「Cine 1」／「Cine 2」／「Canon Log」／「EOS Std.」／「Wide DR」を選択時は無効。
	Level Depend Level Slope Offset	 **0** ～ 50 **0** ～ 3 **0** ～ 50	低輝度部分の輪郭強調を弱める。Levelは処理対象の低輝度部分の輝度を設定する。Slopeは低輝度と高輝度部との間の傾きを0（なし）、1（急）～ 3（なだらか）の4段階で設定する。Offsetは低輝度部の輪郭強調のレベルを設定し、値を大きくするほど低輝度部の輪郭強調が弱められる。
Noise Reduction （ノイズリダクション） 一般的なノイズを低減する回路の設定を変更する	—	**Off**、 1 ～ 12	ノイズを低減するノイズフィルターを選択する。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。
Skin Detail （スキンディテール） 肌色部分のノイズを低減して肌を美しく撮影するための設定を行う	Effect Level	**Off**、Low、Middle、High	肌色を検出して、きれいな肌を演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	±16（**±0**）	検出する肌色の設定は、Hue（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ調整する。調整中、設定した肌色部分を検出すると、有機ELモニターまたはファインダー上にゼブラパターンで表示する。
	Chroma	0 ～ 31（**16**）	
	Area	0 ～ 31（**16**）	
	Y Level	0 ～ 31（**16**）	

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Selective NR（セレクティブノイズリダクション） 特定の色域を検出してノイズを低減する設定を行う	Effect Level	**Off**、Low、Middle、High	特定の色を検出して、その色の範囲を美しく演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	0 ～ 31（**0**）	検出する色の設定は、Hue（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ調整する。調整中、設定した色部分を検出すると、有機ELモニターまたはファインダー上にゼブラパターンで表示する。
	Chroma	0 ～ 31（**16**）	
	Area	0 ～ 31（**16**）	
	Y Level	0 ～ 31（**16**）	
Color Matrix（カラーマトリックス） 映像の色調を調整する	Select	**Normal 1**、Normal 2、Normal 3、Normal 4、Cine 1、Cine 2、EOS Std.、Wide DR、Canon Log	色調をNormal 1 ～ 4、Cine 1 ～ 2、EOS Std.、Wide DR、Canon Logの9種類から選択する（通常はGammaと同じ設定にする）。選択した色調をより細かく調整するために、カラーゲイン、色相、マトリクスを設定できる。 「Gamma」で「Canon Log」を選択時は、設定の変更はできるが機能は無効になる。
	Gain	±50（**±0**）	色の濃さを調整する。
	Phase	±18（**±0**）	色相を調整する。
	R-G	±50（**±0**）	シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。
	R-B	±50（**±0**）	シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。
	G-R	±50（**±0**）	マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。
	G-B	±50（**±0**）	マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。
	B-R	±50（**±0**）	イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。
	B-G	±50（**±0**）	イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。
White Balance（ホワイトバランス） ホワイトバランスのシフト量を調整する	R Gain	±50（**±0**）	赤色の濃淡を調整する。
	B Gain	±50（**±0**）	青色の濃淡を調整する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Color Correction （カラーコレクション） 特定の範囲の色調を補正する	Select Area	**Off**、 Area A、 Area B、 Area A&B	補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定できる。補正は、「Aエリアのみ」、「Bエリアのみ」、「Aエリア／ Bエリア両方」を選択できる。
	Area A Setting Phase Chroma Area Y Level	 **0** ～ 31 0 ～ 31（**16**） 0 ～ 31（**16**） 0 ～ 31（**16**）	補正する色の範囲（Aエリア）を設定する。Phase（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ設定する。
	Area A Revision Level Phase	 ±50（**±0**） ±18（**±0**）	Aエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。
	Area B Setting Phase Chroma Area Y Level	 **0** ～ 31 0 ～ 31（**16**） 0 ～ 31（**16**） 0 ～ 31（**16**）	補正する色の範囲（Bエリア）を設定する。Phase（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ設定する。
	Area B Revision Level Phase	 ±50（**±0**） ±18（**±0**）	Bエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。
Other Functions （その他） 上記のカテゴリーに属さないものを調整する	Setup Level	±50（**±0**）	BlackのMaster Pedestalで設定した黒レベルに付加するセットアップの調整量を設定する。
	Over 100%	**Through**、Clip、Press	100%を超える信号の出力のしかたを設定する。Throughは信号をそのまま出力する。Clipは白レベルを100%でクリップする。Pressは108%までの信号全体を100%に圧縮する。

MEMO

- リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続すると、次の項目をRC-V100から調整できます。このとき、本機では調整できません。
  - 「Black」➤「Master Pedestal」
  - 「Black」➤「Master Black」➤「Red」、「Blue」
  - 「Black Gamma」➤「Level」
  - 「Knee」➤「Slope」*、「Point」*
  - 「Sharpness」➤「Level」
  - 「White Balance」➤「R Gain」、「B Gain」

  *「Knee」➤「Enable」➤「On」のときのみ。

ガンマとホワイトバランスを視覚的に調整する

ガンマとホワイトバランスは前述した設定方法のほか、画面上に表示したグラフで画質の変化を視覚的に確認しながら調整することができます。ガンマはガンマカーブの形状を、ホワイトバランスは色平面上の色の補正方向と補正量を確認できます。また、ガンマの調整は、基本となるガンマ（Gamma）と低輝度部のカーブを補正するブラックガンマ（Black Gamma）、高輝度部のカーブを補正するニー（Knee）からなります。

ガンマを調整する

CUSTOM PICT.

1 ガンマ調整を選ぶ

① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ カスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
② CPメニュー ➤ CP（CP Edit File）➤「Gamma」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に現在の設定のガンマカーブが赤色で表示される。

2 基本のガンマを指定する

① カーソルを左右に移動させて「M」を選ぶ。
② ジョイスティックを上下に押して、いずれかのガンマ（📖 138）を選ぶ。
- 調整前は白色、調整後は赤色のガンマカーブが表示される。

1 ～ 4：Normal 1 ～ Normal 4
5 ～ 6：Cine 1 ～ Cine 2
7：EOS Std.
8：Wide DR
9：Canon Log

3 ブラックガンマとニーを調整する

- 白色のガンマカーブの形状を確認しながら以下の調整を行う。

① カーソルを左右に移動させて「L」を選ぶ ➤ ジョイスティックを上下に押してブラックガンマを調整する。
- 「L」はBlack Gamma（📖131）に対応し、低輝度部分の階調性を調整する。1 ～ 9の9段階で設定可能。
- 「M」が「8」または「9」のときは設定できない。

② カーソルを左右に移動させて「H」を選ぶ ➤ ジョイスティックを上下に押してニーを調整する。
- 「H」はKnee（📖 131）に対応し、高輝度部分の階調性を調整する。1～5の5段階で設定可能。
- 「M」が「5」 ～「9」のときは設定できない。

③ 「Set」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ここで変更した内容は、FINE（CP Fine Tuning）のGamma、Black Gamma、Kneeの設定にも反映される。

4 CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押す

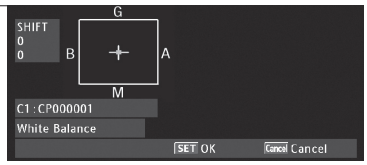
- CPメニューが終了し、調整した画質が反映される。

ホワイトバランスを調整する

1 ホワイトバランス調整を選ぶ

① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ カスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。

② CPメニュー ➤ （Edit File）➤「White Balance」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 ホワイトバランスを調整する

① ジョイスティックを上下左右に押して、画面のオレンジ色の■を移動する。
- Bはブルー、Aはアンバー、Mはマゼンタ、Gはグリーンの意味で、移動方向寄りの色に補正される（補正幅は各色9段）。
- グラフ左の「SHIFT」に補正方向と補正量が表示される。

② ジョイスティックを押す。
- 変更した設定は FINE（Fine Tuning）の「White Balance」にも同時に設定される。

3 CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押す

- CPメニューが終了し、調整した画質が反映される。

機能や表示をカスタマイズする

カメラモードで使用する機能をカスタマイズする「カスタムファンクション」と、撮影中の画面の表示項目をカスタマイズする「カスタムディスプレイ」とがあります。撮影スタイルや目的に合わせて、より使いやすいように設定することができます。設定した内容は、他のメニュー設定とともに設定データとしてSDカードに保存したり、SDカードから読み出して再利用したりすることができます（📖 146）。設定のしかたは通常のメニュー操作と同じです。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

カスタムファンクションで設定できる項目

設定内容の詳細は、メニュー一覧の🔧その他機能メニュー ➤「Custom Function」（📖 215）をご覧ください。

設定項目	内容
ショックレスWB	ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。
AEレスポンス	AEの応答性を選ぶ。
グリップ電子ダイヤル方向	電子ダイヤルの操作方向を設定する。
電源オフ時のレンズ収納	対応レンズ（📖 215）を使用時、電源を切ったときにレンズの全長が最短になるように、自動的にレンズを収納する。
フォーカスアシストB&W	フォーカスを調整時、ピーキング（PEAKING）または拡大表示（MAGN.）を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。
Magnification連動	拡大表示を使用時にピーキングまたはエッジモニターも同時に表示するかを選ぶ。
スキャンリバース記録	記録する映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させるかどうかを設定する。
🔒START/STOP	POWER（電源）スイッチを🔒（キーロック）にしているときにSTART/STOPボタンを有効にするかどうかを設定する。

カスタムディスプレイで設定できる項目

カスタマイズ可能な表示項目については、「撮影時の画面表示」（📖 54）を、設定内容の詳細は、OLED/VF設定メニュー ➤「Custom Display 1」または「Custom Display 2」（📖 209）をご覧ください。

設定データの保存と読み出し

メニューやカスタムピクチャーで行った各種設定情報をSDカードに保存できます。設定データは、必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のC100 Mark IIを同じ設定にするときに便利です。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

設定データをSDカードに保存する

メニュー設定やカスタムピクチャーを設定データとしてSDカードに保存します。

① その他機能メニュー ➤「メニュー /CP設定保存」➤「SDへ保存」を順に選ぶ。
② 「SDA」または「SDB」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 「メニュー」または「メニュー +CP」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
メニュー： メニュー設定のみ。
メニュー +CP： メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）。
④ 「OK」を選び、ジョイスティックを押す。
● 現在のメニュー設定やカスタムピクチャーが、設定データとしてSDカードに保存される。
⑤ ジョイスティックを押す。

設定データをSDカードから読み込む

SDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。

① その他機能メニュー ➤「メニュー /CP設定保存」➤「SDから読み出し」を順に選ぶ。
② 「SDA」または「SDB」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 「メニュー」または「メニュー +CP」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
メニュー： メニュー設定のみ。
メニュー +CP： メニュー設定とカスタムピクチャー。
④ 「OK」を選び、ジョイスティックを押す。
● メニュー設定やカスタムピクチャーが、SDカードから読み込んだ設定データの内容に設定される。
● 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニューは消える）。

MEMO

● 設定データをSDカードから読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーファイルがあっても、上書きされます。
● C100 Mark IIの設定データのみ本機で読み込むことができます。

保存されない設定

■ その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「接続設定」の「暗号化キー」
■ その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「FTPサーバー設定」の「パスワード」

5 再　生

クリップを再生する..... 148
クリップを操作する..... 153

クリップを再生する

ここでは、撮影した映像（クリップ）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」（📖 159）をご覧ください。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

AVCHDインデックス画面／ MP4インデックス画面を表示する

SDカードを切り換える

両方のSDカードスロットにSDカードを入れているときは、SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押して、再生するSDカードを切り換えます（📖 45）。

インデックス画面を切り換える

AVCHD動画インデックス画面表示中に、インデックス画面を切り換えられます。それ以外のインデックス画面表示中は、まずAVCHD動画インデックス画面に切り換え、次に表示する画面に切り換えてください。インデックス画面は次の4種類があります。

AVCHD動画	選択中のSDカードのAVCHD動画を表示。
ショットリスト	選択中のSDカードの常時記録のショットを表示。
MP4動画	選択中のSDカードのMP4動画を表示。
静止画	選択中のSDカードの静止画を表示。

1 POWER（電源）スイッチをMEDIAにする

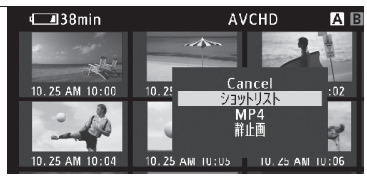
- カメラモード時、その他機能メニュー ➤「動画形式」で選んだ動画のインデックス画面が表示される。

2 INDEX（インデックス）ボタンを押す

- AVCHD動画インデックス画面を表示中は、インデックスメニューが表示される。
- それ以外のインデックス画面表示中はAVCHD動画インデックス画面に切り換わる。

3 いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す

- 選んだインデックス画面に切り換わる。



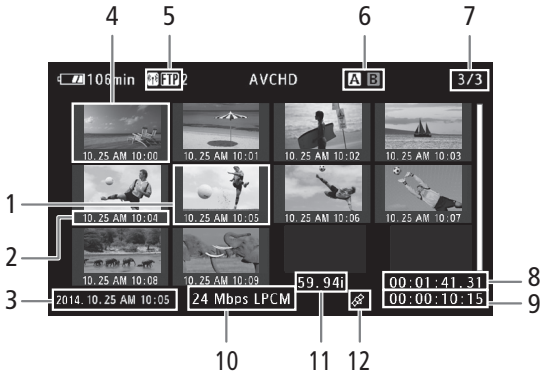
切り換えを中止するとき

「Cancel」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

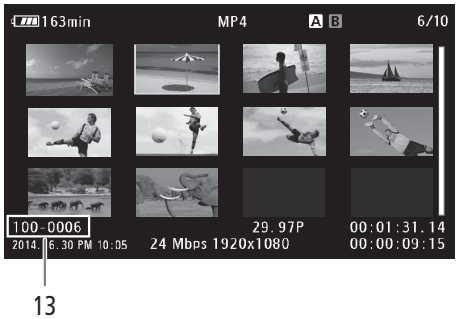
AVCHD動画のインデックス画面に戻るとき

INDEX（インデックス）ボタンを押す。

AVCHD



MP4



1 カーソル（オレンジ色の枠）

2 収録日（月日）と記録開始時間

3 収録日（年月日）と記録開始時間

4 クリップのサムネイル

5 、AP、FTP：ネットワーク機能
：高温警告

6 現在選択しているSDカード（ハイライト表示）

7 クリップ番号／クリップ総数

8 記録開始フレームのタイムコード

9 記録時間

10 ビットレート／音声記録方式
- 音声記録方式は「28 Mbps LPCM」または「24 Mbps LPCM」のビットレートで記録されたクリップを選択したときのみ表示されます。

11 フレームレート
- スロー &ファーストモーション記録で記録されたクリップのときは、「撮影フレームレート／再生フレームレート」が表示される。

12 GPS情報マーク

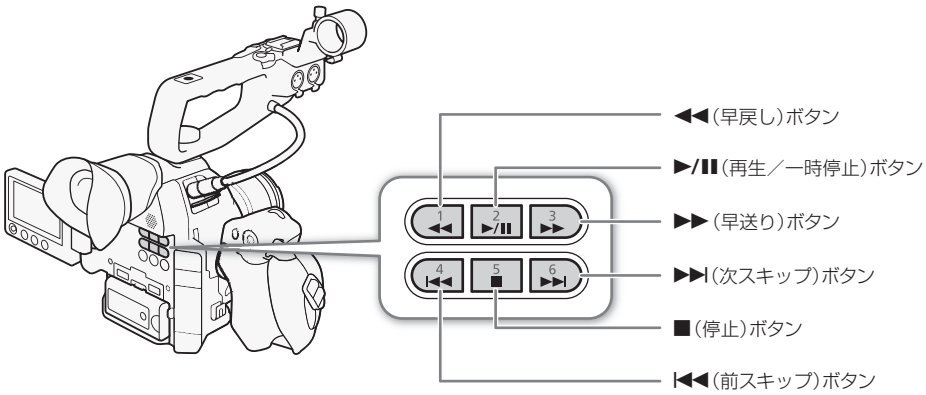
13 ファイル番号

MEMO

- 常時記録モード中に、カメラモードからメディアモードに切り換えると、ショットリストインデックス画面が表示されます。
- SDカードに記録されているクリップのシステム周波数が、本機の設定と異なると再生できません。本機の「システム周波数」（59）を再生するクリップと同じ設定にしてください。

再生する

インデックス画面で選んだクリップを再生します。再生には各種再生操作ボタンを使用します。ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで操作することもできます。



1 ジョイスティックを上下左右に押して、クリップを選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したいクリップに合わせる。

2 ▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押す

- 再生が始まる。
- 再度、▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと再生一時停止となる。
- 選んだクリップの再生が終わると、自動的に次のクリップが再生される。最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで再生一時停止となる。

再生を終えるとき

本体の■（停止）ボタンを押す。

ご注意

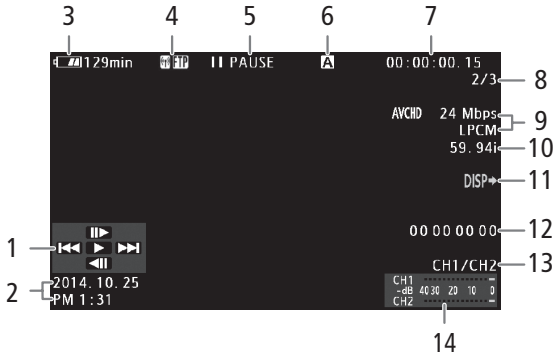
- アクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードカバーを開けない。

MEMO

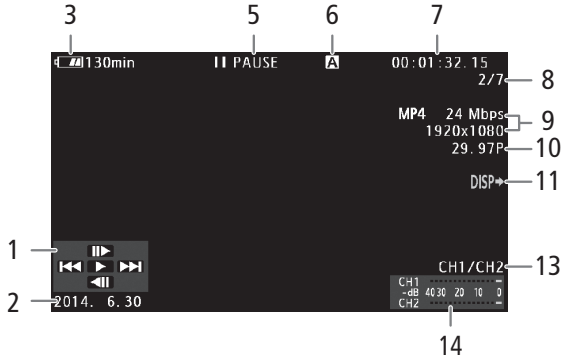
- クリップが切り換わるときに映像と音声が途切れることがあります。

再生時の画面表示

AVCHDクリップ



MP4クリップ



1 ジョイスティックガイド ▶▶ 📖 152

2 収録日と記録開始時間*1

3 バッテリー残量の目安 ▶▶ 📖 54

4 、AP、FTP：ネットワーク機能 ▶▶ 📖 186、189
：高温警告 ▶▶ 📖 231
- 本体内部の温度が高くなると黄色く表示される。さらに温度が上昇すると、赤く表示される。

5 再生状況

▶ PLAY	再生中
❚❚ PAUSE	再生一時停止中
❚❚▶	コマ送り
◀❚❚	コマ戻し
F FWD x5 ▶▶	早送り（5倍速）
F FWD x15 ▶▶	早送り（15倍速）
F FWD x60 ▶▶	早送り（60倍速）
◀◀F REV x5	早戻し（5倍速）
◀◀F REV x15	早戻し（15倍速）
◀◀F REV x60	早戻し（60倍速）

6 SDカード ▶▶ 📖 45

7 タイムコード ▶▶ 📖 97

8 クリップ番号／クリップ総数

9 ビットレート／音声記録方式 ▶▶ 📖 59
- 音声記録方式は「28 Mbps LPCM」または「24 Mbps LPCM」のビットレートで記録されたクリップを再生しているときのみ表示されます。

10 フレームレート ▶▶ 📖 59
- スロー &ファーストモーション記録で記録されたクリップのときは、「撮影フレームレート／再生フレームレート」が表示される。

11 画面表示出力 ▶▶ 📖 165

12 ユーザービット ▶▶ 📖 100

13 音声出力チャンネル ▶▶ 📖 166

14 オーディオレベルメーター *2

*1 OLED/VF設定メニュー ➤「日時表示」が「入」のときに表示される。MP4クリップは日付のみ。

*2 OLED/VF設定メニュー ➤「Audio Level」が「入」のときに表示される。

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。操作は、本体の再生操作ボタンを使うか、ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで行います。ジョイスティックガイドは、DISP.（ディスプレイ）ボタンを押して表示を入／切できます。

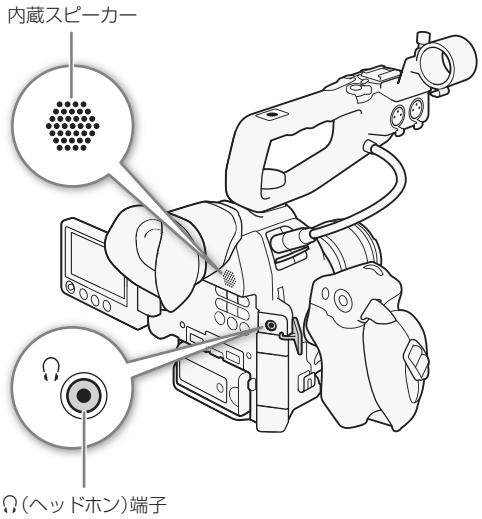
機　能	操　作	ボタン	ジョイスティック	説　　明
早送り*1	再生中に	▶▶	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。*2
早戻し*1	再生中に	◀◀	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	—	II▶	押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し*3	一時停止中に	—	◀II	押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶I	▶▶I	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	I◀◀	I◀◀	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に 2回押す	I◀◀	I◀◀	前のクリップの先頭から再生。

*1 操作中、画面が乱れることがあります。
*2 画面に出る倍速表示は目安です。
*3 コマの間隔は0.5秒で、コマ送りのときより長くなります。

MEMO

- さまざまな再生中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶/IIボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く



通常の再生中は、音声を内蔵スピーカー（モノラル）またはヘッドホンで聞くことができます。ﾊ（ヘッドホン）端子にヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーは切になります。

音量は、♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」の「Headphone音量」（ヘッドホン）または「Speaker音量」（内蔵スピーカー）で調整できます。アサインボタン（📖 128）で調整することもできます。

MEMO

- モニターするチャンネルの選択については、「音声出力を選択する」（📖 166）をご覧ください。

クリップを操作する

クリップのコピー*や消去を行うときは、クリップメニューを使用します。クリップメニューは動画のインデックス画面で表示することができます。また、すべてのクリップに対する操作は、その他機能メニューから行うことができます。

* AVCHD/MP4動画のインデックス画面の動画のみ

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

クリップメニューで操作する

例：インデックス画面で1つのクリップを消去する場合

1 操作するクリップを選ぶ

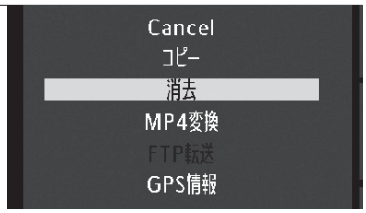
2 ジョイスティックを押す

- クリップメニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択しているクリップによって変わる。

3 消去する

① 「消去」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したクリップが消去される。

③ ジョイスティックを押す。



ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードのカードカバーを開けない。

MEMO

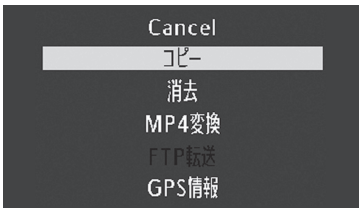
- クリップを操作するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

再生

クリップをコピーする

SDカードに記録されたクリップを、もう一方のスロットのSDカードにコピーすることができます。

1つのクリップをコピーする



① コピーするクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「コピー」を選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したクリップがもう一方のSDカードにコピーされる。

中止するとき　ジョイスティックを押す。

④ ジョイスティックを押す。

クリップをまとめてコピーする

選択したクリップやすべてのクリップをまとめてコピーできます。

① その他機能メニュー ➤「クリップ」➤「コピー」を順に選ぶ。
②「選択」または「すべて」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「選択」を選んだとき

❶ コピーするクリップを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ☑が表示される。
- もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して、コピーするクリップをすべて選ぶ。
❸ MENUボタンを押す。

③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- もう一方のSDカードにコピーされる。

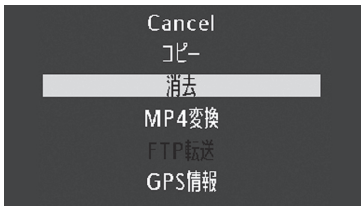
中止するとき　ジョイスティックを押す。

④ ジョイスティックを押す。

クリップやショットを消去する

SDカードに記録されたAVCHD ／ MP4クリップやショットを消去できます。なお、ショットを消去しても、常時記録で記録したクリップ内のイン点／アウト点情報が消去されるだけで、映像は消去されません。下記の説明では、必要に応じて「クリップ」を「ショット」に置き換えてお読みください。

1つのクリップ／ショットを消去する

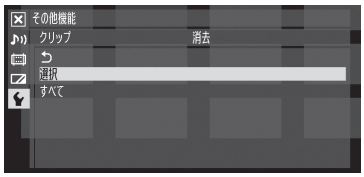


① 消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したクリップが消去される。
- 消去の途中で中止することはできない。

④ ジョイスティックを押す。

クリップ／ショットをまとめて消去する

選択したクリップやすべてのクリップをまとめて消去できます。



① その他機能メニュー ➤「クリップ」➤「消去」を順に選ぶ。
- ショットを消去するときは、その他機能メニュー ➤「ショット消去」を選ぶ。

② 「選択」または「すべて」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「選択」を選んだとき

❶ 消去するクリップを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ☑が表示される。
- もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して、消去するクリップをすべて選ぶ。
❸ MENUボタンを押す。

③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- クリップが消去される。

中止するとき　ジョイスティックを押す。

④ ジョイスティックを押す。

MP4動画に変換する

AVCHD動画やMP4動画をMP4動画（3 Mbps 640 × 360）に変換して、もう一方のSDカードに記録します。

MP4変換後のフレームレート

記録信号形式によってはMP4変換できない場合があります。

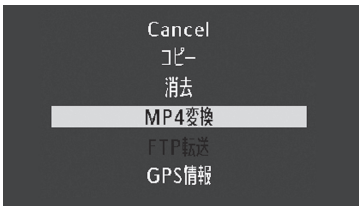
システム周波数が59.94Hzのとき

記録信号形式			変換後
動画形式	ビットレート	フレームレート	フレームレート
AVCHD	28 Mbps	59.94P	変換できない
	24 Mbps、17 Mbps、7 Mbps	59.94i、PF29.97	29.97P
		23.98P	23.98P
MP4	35 Mbps	59.94P	変換できない
	24 Mbps、17 Mbps、4 Mbps、3 Mbps	29.97P	29.97P
		23.98P	23.98P

システム周波数が50.00Hzのとき

記録信号形式			変換後
動画形式	ビットレート	フレームレート	フレームレート
AVCHD	28 Mbps	50.00P	変換できない
	24 Mbps、17 Mbps、7 Mbps	50.00i、PF25.00	25.00P
MP4	35 Mbps	50.00P	変換できない
	24 Mbps、17 Mbps、4 Mbps、3 Mbps	25.00P	25.00P

1つのクリップを変換する



① 変換するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「MP4変換」を順に選ぶ。
- 変換後のクリップサイズと変換先SDカードの空き容量の目安が表示される。

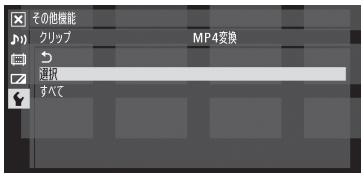
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 変換が始まりクリップが再生される。

中止するとき　ジョイスティックを押す。

④ ジョイスティックを押す。

クリップをまとめて変換する

選択したクリップやすべてのクリップをまとめて変換できます。



① その他機能メニュー ➤「クリップ」➤「MP4変換」を順に選ぶ。
② 「選択」または「すべて」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「選択」を選んだとき

❶ 変換するクリップを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ☑が表示される。
- もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して、変換するクリップをすべて選ぶ。
❸ MENUボタンを押す。
- 変換後のクリップサイズと変換先SDカードの空き容量の目安が表示される。

③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 変換が始まりクリップが再生される。

中止するとき　ジョイスティックを押す。

④ ジョイスティックを押す。

MEMO

- 変換できる記録時間は12時間までです。
- 変換中に再生される音声を調整する場合は、あらかじめアサインボタン（📖 128）に「Headphone +」／「Headphone −」または「Speaker +」／「Speaker −」を割り当てて調整してください。
- SDカード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないときは変換できません（📖 114）。

MEMO

6 接　続

出力信号形式 160
外部モニターを接続する 162
音声出力を選ぶ..... 166
クリップをパソコンに保存する..... 168

出力信号形式

HDMI™ OUT端子からの出力信号は、メニューの設定や接続した外部モニターの能力によって変わります。
映像に画面表示を重畳することもできます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

システム周波数が59.94Hz*1のとき

カメラモード時の記録信号形式と出力信号形式

<table>
<tr><th colspan="4">記録信号形式</th><th colspan="2">HDMI OUT端子</th><th>AV OUT端子</th></tr>
<tr><th rowspan="2">動画形式</th><th rowspan="2">ビットレート</th><th rowspan="2">解像度</th><th rowspan="2">フレームレート</th><th colspan="2">「Output」*2</th><th rowspan="2">SD出力</th></tr>
<tr><th>「+1920x1080 59.94P」</th><th>「ノーマル」</th></tr>
<tr><td rowspan="3">AVCHD</td><td>28 Mbps</td><td rowspan="2">1920×1080</td><td>59.94P</td><td>1080/59.94P
1080/59.94i
480/59.94P</td><td>1080/59.94i
480/59.94P</td><td rowspan="7">480/59.94i</td></tr>
<tr><td>24 Mbps
17 Mbps</td><td rowspan="2">59.94i
PF29.97
23.98P</td><td colspan="2">1080/59.94i
480/59.94P</td></tr>
<tr><td>7 Mbps</td><td>1440×1080</td></tr>
<tr><td rowspan="4">MP4</td><td>35 Mbps</td><td rowspan="2">1920×1080</td><td>59.94P</td><td>1080/59.94P
1080/59.94i
480/59.94P</td><td>1080/59.94i
480/59.94P</td></tr>
<tr><td>24 Mbps
17 Mbps</td><td rowspan="3">29.97P
23.98P</td><td colspan="2">1080/59.94i
480/59.94P</td></tr>
<tr><td>4 Mbps</td><td>1280×720</td><td colspan="2">720/59.94P
480/59.94P</td></tr>
<tr><td>3 Mbps</td><td>640×360</td><td colspan="2">480/59.94P</td></tr>
</table>

メディアモード時の出力信号形式
いずれの再生信号形式でも同様に出力されます。

<table>
<tr><th colspan="2">HDMI OUT端子</th><th>AV OUT端子</th></tr>
<tr><th colspan="2">「Output」*2</th><th rowspan="2">SD出力</th></tr>
<tr><th>「+1920x1080 59.94P」</th><th>「ノーマル」</th></tr>
<tr><td>1080/59.94P
1080/59.94i
480/59.94P</td><td>1080/59.94i
480/59.94P</td><td>480/59.94i</td></tr>
</table>

システム周波数が50.00Hz*1のとき

カメラモード時の記録信号形式と出力信号形式

<table>
<tr><th colspan="4">記録信号形式</th><th colspan="2">HDMI OUT端子</th><th>AV OUT端子</th></tr>
<tr><th rowspan="2">動画形式</th><th rowspan="2">ビットレート</th><th rowspan="2">解像度</th><th rowspan="2">フレームレート</th><th colspan="2">「Output」*2</th><th rowspan="2">SD出力</th></tr>
<tr><th>「+1920x1080 50.00P」</th><th>「ノーマル」</th></tr>
<tr><td rowspan="3">AVCHD</td><td>28 Mbps</td><td rowspan="2">1920×1080</td><td>50.00P</td><td>1080/50.00P
1080/50.00i
576/50.00P</td><td>1080/50.00i
576/50.00P</td><td rowspan="7">576/50.00i</td></tr>
<tr><td>24 Mbps
17 Mbps</td><td rowspan="2">50.00i
PF25.00</td><td colspan="2">1080/50.00i
576/50.00P</td></tr>
<tr><td>7 Mbps</td><td>1440×1080</td></tr>
<tr><td rowspan="4">MP4</td><td>35 Mbps</td><td rowspan="2">1920×1080</td><td>50.00P</td><td>1080/50.00P
1080/50.00i
576/50.00P</td><td>1080/50.00i
576/50.00P</td></tr>
<tr><td>24 Mbps
17 Mbps</td><td rowspan="3">25.00P</td><td colspan="2">1080/50.00i
576/50.00P</td></tr>
<tr><td>4 Mbps</td><td>1280×720</td><td colspan="2">720/50.00P
576/50.00P</td></tr>
<tr><td>3 Mbps</td><td>640×360</td><td colspan="2">576/50.00P</td></tr>
</table>

メディアモード時の出力信号形式

いずれの再生信号形式でも同様に出力されます。

<table>
<tr><th colspan="2">HDMI OUT端子</th><th>AV OUT端子</th></tr>
<tr><th colspan="2">「Output」*2</th><th rowspan="2">SD出力</th></tr>
<tr><th>「+1920x1080 50.00P」</th><th>「ノーマル」</th></tr>
<tr><td>1080/50.00P
1080/50.00i
576/50.00P</td><td>1080/50.00i
576/50.00P</td><td>576/50.00i</td></tr>
</table>

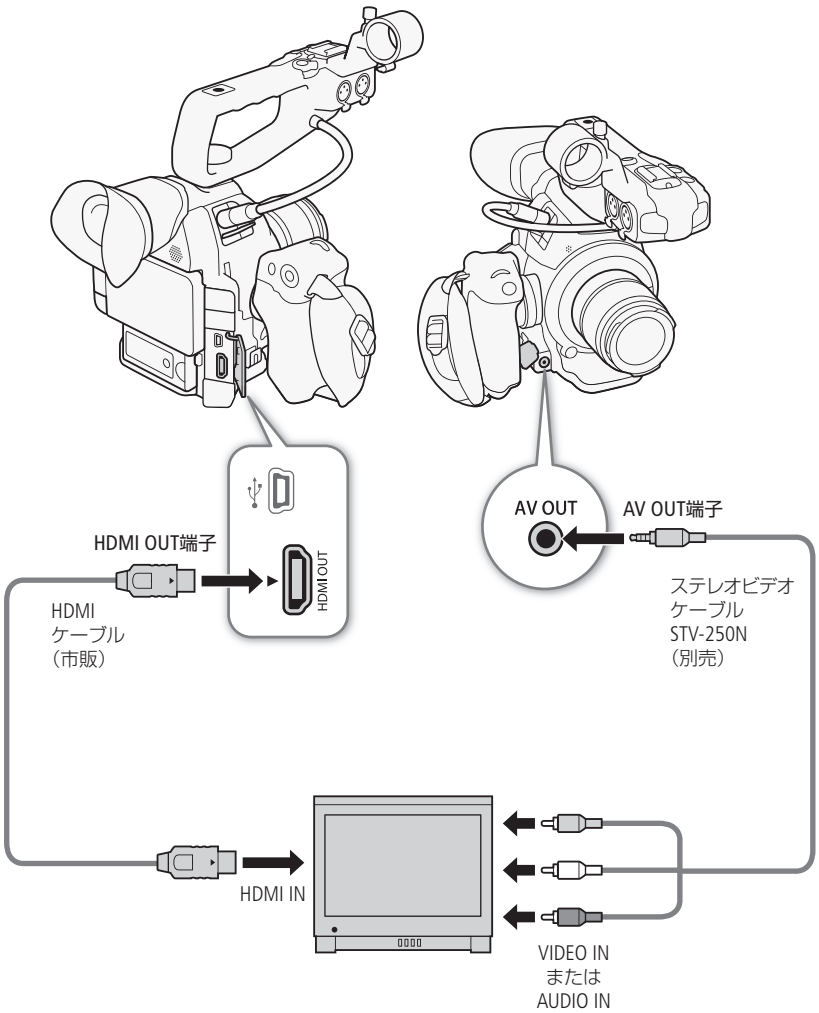
*1 その他機能メニュー ➤「システム周波数」の設定。

*2 ビデオ設定メニュー ➤「HDMI」➤「Output」の設定。

外部モニターを接続する

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考 ▸▸「出力信号形式」（📖 160））。
映像は各映像出力端子に同時に出力できます。

接続のしかた



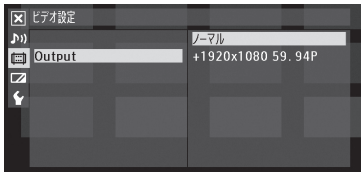
MEMO

- ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

HDMI OUT端子を使う

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。接続した外部モニターの能力に合わせて、HD出力とSD出力が自動的に切り換わります。HDMI OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます（📖 165）。音声は2chリニアPCM（16ビット、48kHz）で出力されます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



① ビデオ設定メニュー ➤「HDMI」➤「Output」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
ノーマル：1920×1080 / 59.94P出力や1920×1080 / 50.00P出力を行わない。
+1920×1080 59.94P：1920×1080 / 59.94P出力を可能にする。
+1920×1080 50.00P：1920×1080 / 50.00P出力を可能にする。

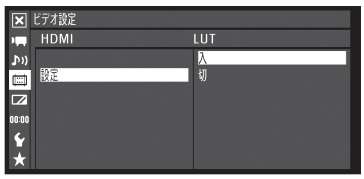
MEMO

- SD出力の表示方式は、メニューで選択できます（📖 164）。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、AV OUT端子を使って接続してください。

LUTを適用した映像をHDMI OUT端子から出力する

Canon Logで撮影中の映像をHDMI OUT端子に接続したモニターで確認するときは、出力映像に表示用のLUTを適用できます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



① ビデオ設定メニュー ➤「HDMI」➤「LUT」を順に選ぶ。
②「設定」➤「入」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③「選択」➤ いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
BT. 709：ITU-R BT.709のガンマに変換。
Wide DR：広ダイナミックレンジを生かしたガンマに変換。
- LUTが出力映像に適用される。

AV OUT端子を使う

AV OUT端子からは、ダウンコンバートされたSDアナログコンポジット信号を出力します。またAV OUT端子からは音声も出力されます。AV OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます（📖165）。

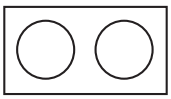
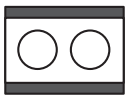
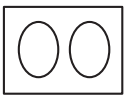
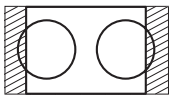
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

MEMO

- モニターがビデオID-1方式に対応していれば、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。

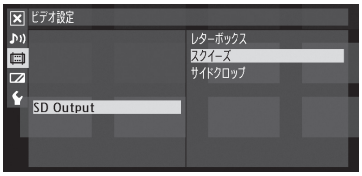
SD出力時の表示方式を選ぶ

アスペクト比が16:9のHD映像を4:3のSD映像にダウンコンバートして、HDMI OUT端子、AV OUT端子から出力するときの表示方式は、次の3種類があります。

元のHD映像（16:9）	レターボックス	スクイーズ	サイドクロップ
			
	映像を縦横等倍で縮小し、上下に黒い帯を追加して4:3にする。	16:9の映像を左右方向に縮小して4:3にする*。	16:9の映像の両端を切り取って4:3にする

* 接続した外部モニターが16:9のときは、正常なアスペクト比で出力される。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



① ビデオ設定メニュー ➤「SD Output」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

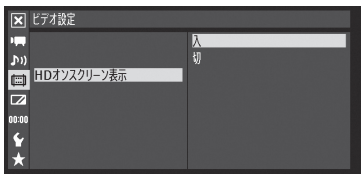
- SD出力表示方式は、レックレビュー（📖 113）時にも反映されます。
- カメラモードの時はスクイーズに固定されます。

出力映像に画面表示を重畳する

HDMI OUT端子*、AV OUT端子から出力される映像に画面表示を重畳することができます。重畳する／しないは、HD出力とSD出力で個別に設定できます。なお、この設定は、SDカードに記録される映像には影響しません。

* 出力信号が1080/59.94Pまたは1080/50.00P以外のとき。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



① ビデオ設定メニュー ➤「HDオンスクリーン表示」または「SDオンスクリーン表示」を順に選ぶ。

② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 画面にDISP➡が表示される*。

* カメラモードでは、OLED/VF設定メニュー ➤「Custom Display 2」➤「Output Display」が「入」のときのみ表示される。

MEMO

- SD出力時の表示方式が「サイドクロップ」のときは、「SDオンスクリーン表示」の設定にかかわらず、画面表示は重畳されません。
- アサインボタンに「オンスクリーン表示」を割り当てると、アサインボタンを押して「HDオンスクリーン表示」と「SDオンスクリーン表示」を同時に切り換えられます（📖 128）。

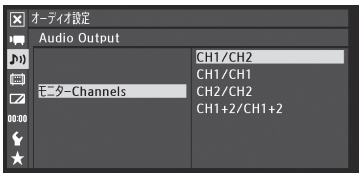
音声出力を選ぶ

HDMI OUT端子、AV OUT端子、🎧(ヘッドホン)端子から音声を出力できます。AV OUT端子、🎧(ヘッドホン)端子から出力される音声は、チャンネルなどを選択できます。また、AV OUT端子から出力される音声はレベルを2段階から選択できます。

音声出力チャンネルを選ぶ

AV OUT端子、🎧(ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを選択することができます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」➤「モニター Channels」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
CH1/CH2：出力音声のL chにCH1を、R chにCH 2を割り当てる。
CH1/CH1：出力音声のL chとR chの両方にCH 1を割り当てる。
CH2/CH2：出力音声のL chとR chの両方にCH 2を割り当てる。
CH1+2/CH1+2：出力音声のL chとR chの両方にCH 1とCH 2をミックスした信号を割り当てる。

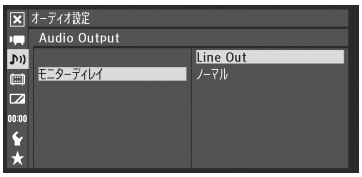
MEMO

- アサインボタンに「モニター Channels」を割り当てると、アサインボタンを押して出力チャンネルを切り換えられます(📖 128)。

映像と音声のタイミングを選ぶ(モニターディレイ)

AV OUT端子、🎧(ヘッドホン)端子から出力される音声について、映像とタイミングを合わせて遅延させるかどうかを設定することができます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」➤「モニターディレイ」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
Line Out：映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。
ノーマル：リアルタイム(ディレイなし)で音声を出力する。

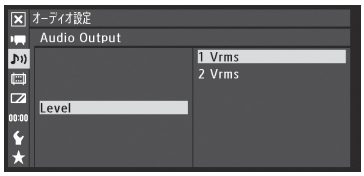
MEMO

- モニターディレイの設定にかかわらず、記録される映像と音声は同期されます。
- 「ノーマル」に設定しているときは、有機ELモニターの映像やAV OUT端子から出力される映像と、ヘッドホンの音声に少しズレが生じます。

AV OUT端子の音声出力レベルを選ぶ

AV OUT端子から出力される音声の出力レベルを選択することができます。2 Vrmsにすると、出力レベルが6dB上がります。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



① ♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」➤「Level」を順に選ぶ。
②「1 Vrms」または「2 Vrms」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- 🎧(ヘッドホン)端子の出力レベルは変わりません。

クリップをパソコンに保存する

付属のソフトウェアData Import Utilityを使うと、AVCHD/MP4クリップをパソコンに取り込むことができます。ソフトウェアに関する最新の情報については、以下のPIXELA社ホームページをご覧ください。
http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_biz.html
その他のお問い合わせについては、キヤノンお客様相談センターをご利用ください。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- クリップをパソコンに取り込む。
- リレー記録（📖 46）によって分割されたクリップを結合して取り込む。
- 4GB（📖 52）ごとに分割されたクリップを結合して取り込む。

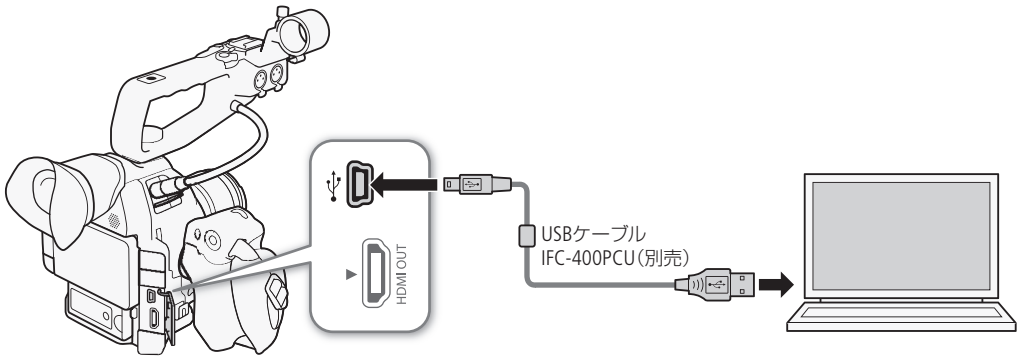
インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）*をご覧のうえ、Data Import Utilityでできることの詳細と動作環境をご確認ください。

* ソフトウェアディスクの[￥Manual ￥Japanese] フォルダーの中にPDFファイルとして収納されています。

インストールと使いかた

Data Import Utilityのインストール手順や使いかたの詳細については、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。



ご注意

- 付属のソフトウェア Data Import Utilityで、カードリーダー／パソコンのカードスロットを使用してクリップをパソコンに取り込む前に、他社製の編集用ソフトウェアなどでカード内のファイルを参照したり操作したりしないでください。Data Import Utilityでクリップをパソコンに取り込めないことがあります。

MEMO

- ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

7 ネットワーク

ネットワークの接続設定をする... 170

ネットワーク機器でリモート撮影する（ブラウザーリモート）..... 181

FTPで転送する（FTPファイル転送）... 186

Webブラウザーで再生／保存する（ブラウザープレビュー）..... 189

ネットワークの接続設定をする

Wi-Fiを使ってネットワーク機能を使用します。ネットワークの接続設定の詳細は「Wi-Fiで接続する」（📖 171）をご覧ください。ネットワークの接続設定は本機に5つまで保存でき、ネットワーク環境に合わせて切り換えて使用できます。選択している接続設定の詳細はステータス画面で確認できます（📖 220）。選択している接続設定の内容を変更することもできます（📖 179）。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	Wi-Fi		📖
		インフラストラクチャー *1	カメラアクセスポイント*2	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器から本機をリモート操作して撮影する。	–	●	181
FTPファイル転送	撮影したクリップ／静止画をネットワーク機器にFTP*3で転送する。	●	●	186
ブラウザープレビュー	撮影したMP4動画を、ネットワーク機器のブラウザーで再生／保存する。	–	●	189

*1 アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。
*2 本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式。
*3 ネットワークに接続した機器間でファイルを転送するための通信規約。File Transfer Protocolの略。

ネットワーク機能を使用する前に

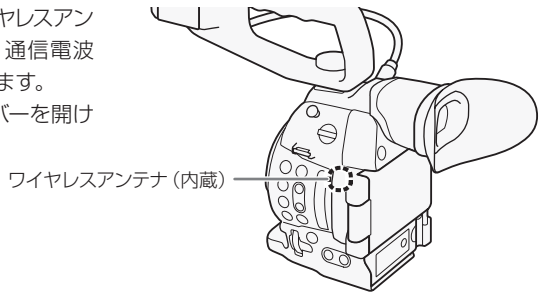
- 本書は、ネットワーク機器およびWi-Fiのアクセスポイントの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。アクセスポイントの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- ネットワークの接続の設定を行うには、Wi-Fiの設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていない無線LANやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

MEMO

- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- ネットワーク機能を使用中は、SDカードカバーを開けないでください。



Wi-Fiで接続する

無線ネットワーク接続について

本機は、Wi-Fi認証を受け（右のロゴマークがある）、無線LAN規格IEEE802.11a / b / g / nに対応するアクセスポイント*1に接続できます。Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する恐れがあります。十分、ご注意ください。

Wi-Fiネットワーク接続方法

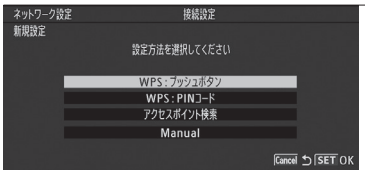
WPS（プッシュボタン方式）*2	パスワードなどの入力が不要な最も簡単な接続方法。お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめ確認する。
WPS（PINコード方式）*2	WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って接続できる場合がある。接続は自動的に行われる。アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。
アクセスポイント検索	WPS*2に対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して接続。
手動設定	ステルス機能を有効にしているアクセスポイントに接続するときや、さまざまな設定を手動で行うとき。Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要。
カメラアクセスポイント	アクセスポイントのない環境で、ビデオカメラとWi-Fi対応機器を直接接続。ビデオカメラがアクセスポイントの働き*3をするため、Wi-Fi対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できる。

*1「無線親機」、「無線LAN親機」、「無線LANルーター」など、メーカーによって名称が異なることがあります。
*2 WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティの設定を簡単に行うための規格です。
*3 ビデオカメラと無線LAN対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

WPSで接続する

WPSのプッシュボタン方式またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、ビデオカメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、ビデオカメラの画面に表示される8桁の識別番号（PINコード）を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合



1 本機 「WPS：プッシュボタン」を選ぶ

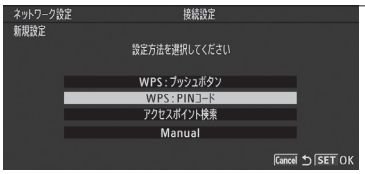
① その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「接続設定」➤「新規設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

②「インフラストラクチャー」➤「WPS：プッシュボタン」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 アクセスポイント WPSを起動する

- アクセスポイントの説明書を参照の上操作し、アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認する。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合



1 本機 「WPS：PINコード」を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「接続設定」➤「新規設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

②「インフラストラクチャー」➤「WPS：PINコード」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 7 ～ 8秒すると画面にPINコードが表示される。

2 アクセスポイント WPS（PINコード方式）の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

* 多くのアクセスポイントは、Webブラウザーから設定します。

- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3 本機 操作2から2分以内にジョイスティックを押す

- アクセスポイントへの接続を開始する。
- 「接続中です」の画面が出ているときにジョイスティックまたはCANCELを押すと、接続を中止する。
- 接続が完了すると、IP アドレス取得方法選択画面が表示される。

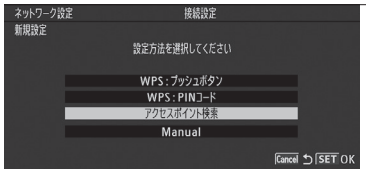
4 本機 TCP/IP設定（📖 177）を行う

MEMO

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、WPS(プッシュボタン方式)でうまく接続できないことがあります。このときは、WPS(PINコード方式)またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して接続する

ビデオカメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、暗号化キーを入力して接続します。アクセスポイントに設定されている暗号化キーについては、アクセスポイントの説明書をご覧いただくか、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

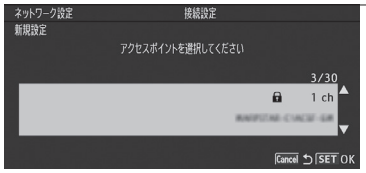


1 アクセスポイント検索を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「接続設定」➤「新規設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

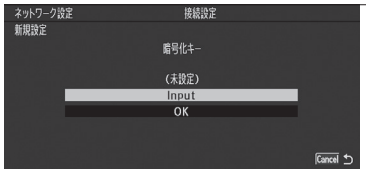
② 「インフラストラクチャー」➤「アクセスポイント検索」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSIDと暗号化状態などの情報が表示される。



2 アクセスポイントを選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



3 暗号化キーを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- キーボード画面が表示される。

② 暗号化キーを入力する。

参考 ➤➤「文字入力のしかた」(📖 174)

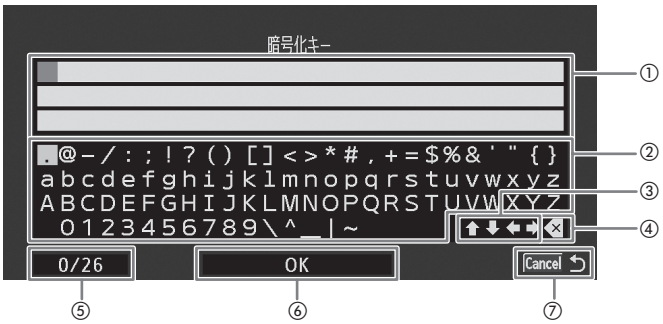
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- IPアドレス取得方法選択画面が表示される。

4 TCP/IP設定 (📖 177)を行う

文字入力のしかた

手動で文字入力が必要なとき、キーボードが表示されます。



①	入力フィールド
②	文字入力キー
③	カーソルの移動
④	1文字消去
⑤	現在の文字数／入力可能文字数
⑥	入力を決定 キーボードを終了
⑦	入力を中止

MEMO

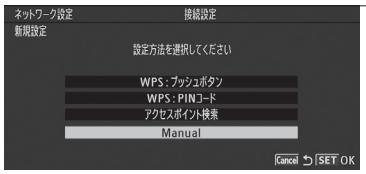
暗号化キーに使用可能な文字と文字数

暗号化キー	ASCII文字列*1	16進数*2
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8 ～ 63文字	64文字

*1 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Zおよび記号。
*2 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F。

手動設定で接続する

手動設定でアクセスポイントへの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 手動設定を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「接続設定」➤「新規設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

②「インフラストラクチャー」➤「Manual」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

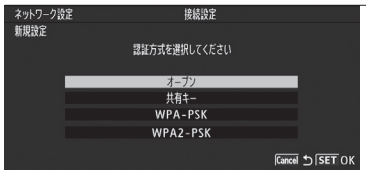
2 SSIDを入力する

①「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

② SSIDを入力する。

参考 ➤➤「文字入力のしかた」(📖 174)

③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



3 認証方式を選ぶ

①「オープン」、「共有キー」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

4 暗号化方式を選ぶ

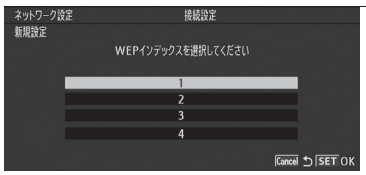
「オープン」を選んだとき

①「WEP」または「暗号化なし」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 「暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。

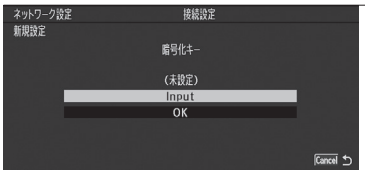
「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選んだとき

①「TKIP」または「AES」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



5 暗号化方式が「WEP」または「共有キー」のとき

WEPインデックスを選んでジョイスティックを押す



6 暗号化キーを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- キーボード画面が表示される。

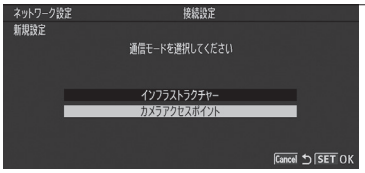
② 暗号化キーを入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」(📖 174)

③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- IPアドレス取得方法選択画面が表示される。

7 TCP/IP設定を行う (📖 177)

カメラアクセスポイントで接続する

カメラアクセスポイントの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 カメラアクセスポイントを選ぶ

① その他機能メニュー ➤ 「ネットワーク設定」 ➤ 「接続設定」 ➤ 「新規設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

② 「カメラアクセスポイント」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 SSIDを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

② SSIDを入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」(📖 174)
- 入力したSSIDは接続時に必要となるため、メモしておく。

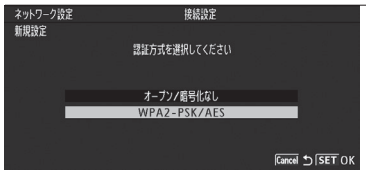
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 通信モードを選ぶ

① 「5 GHz」または[2.4 GHz」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

4 チャンネルを選ぶ

① チャンネルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 操作3で選んだ通信モードによって、選択できるチャンネルが異なる。



5 認証方式と暗号化方式を選ぶ

① 「オープン/暗号化なし」または「WPA2-PSK/AES」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「オープン/暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。

6 暗号化キーを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 暗号化キーを入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」（📖 174）
- 入力した暗号化キーは接続時に必要となるため、メモしておく。
- IPアドレス取得方法選択画面が表示される。

③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

7 TCP/IP設定を行う（📖 177）

TCP/IPを設定する

ここでは、はじめにTCP/IPの設定を行い、次にネットワーク設定を保存します。TCP/IPの設定内容の詳細については、ネットワーク管理者またはネットワークに詳しい方にお問い合わせください。

1 IPアドレスの取得方法を選ぶ

① いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

Automatic： 自動で設定する。
Manual： IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定する。

- 「Automatic」を選んだときは操作4に進む。

2 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力する

① ジョイスティックを上下に押して1番目の数字を選び、ジョイスティックを押す。
- カーソルが2番目の数字に移動する。

② ①の操作を繰り返して、4つの数字をすべて設定する。
③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、ジョイスティックを押す。
- IPアドレスが設定される。

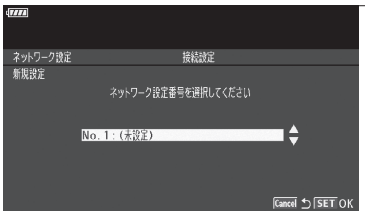
④ IPアドレスと同じ要領でサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを入力する。
- カメラアクセスポイント（📖 176）で接続するときは操作4に進む。

3 DNS設定方法を選ぶ

① 「使用しない」または「Manual」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② ①で「Manual」を選んだときは、優先DNSサーバーと代替DNSサーバーを入力する ➤ ジョイスティックを押す。

4 設定内容を確認する

① ジョイスティックを上下に押して確認画面を切り換え、設定内容を確認する。
② ジョイスティックを押す。



5 ネットワーク設定名を入力する

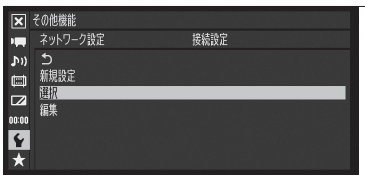
① ジョイスティックを上下に押してネットワーク設定番号を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- キーボード画面が表示される。

③ ネットワーク設定名を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（📖 174）
④ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
⑤ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ネットワークの設定が保存される。選んだ設定番号にネットワーク設定が保存されている場合、新しい設定で上書きされる。
- ネットワークの設定は5つまで保存できる。

⑥ ジョイスティックを押す。

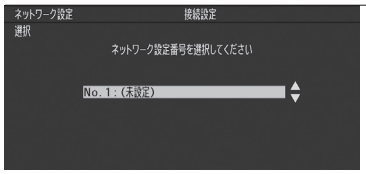
■ ネットワーク接続設定を選ぶ

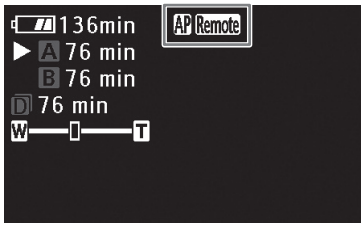
保存されているネットワーク接続設定から1つを選んで、ネットワークへの接続を簡単に行うことができます。ネットワークの新規設定を行った直後は、新規設定したネットワーク設定番号が自動的に選択されるため、この操作を行う必要はありません。



1 「選択」を選ぶ

① その他機能メニュー ➤ 「ネットワーク設定」 ➤ 「接続設定」を順に選ぶ。
② 「選択」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。





2 ネットワーク設定番号を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して番号を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- この後、メニューでネットワーク機能を有効にすると、実際に接続を開始する。接続状態は、接続方式に応じたネットワーク接続アイコンで確認できる。ネットワーク機能を無効にすると、ネットワーク接続アイコンは消える。

インフラストラクチャーのとき

- ネットワークへの接続処理中は、画面に(黄色)が表示され、接続が完了すると(白色)に変わる。

カメラアクセスポイントのとき

- 接続準備中は画面にAP(黄色)が表示され、Wi-Fi対応機器から接続可能な状態になるとAP(白色)に変わる。

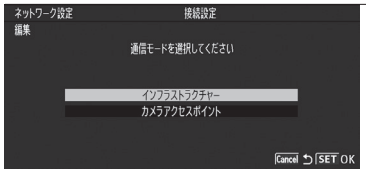
❶ Wi-Fi対応機器　「カメラアクセスポイントで接続する」(📖 176)で設定したSSIDと暗号化キーを入力して本機に接続する。

ネットワーク接続設定を変更する

現在、選んでいるネットワーク接続設定の内容を変更できます。設定変更は手動で行いますので、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。ネットワーク機能を無効にし、ネットワーク接続アイコンが消えてから操作してください。

1 「通信モード」を選ぶ

① その他機能メニュー ➤ 「ネットワーク設定」➤「接続設定」➤「編集」を順に選ぶ。
② 「設定」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 通信モードを選ぶ

- 通信モード選択画面が表示される。

① 「インフラストラクチャー」または「カメラアクセスポイント」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 接続設定を変更する

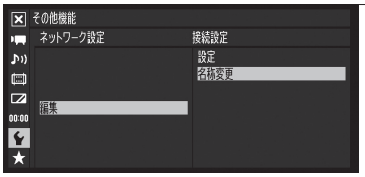
「インフラストラクチャー」を選んだとき

「手動設定で接続する」（📖 175）の操作2 ～ 7と同じ要領で設定する。

「カメラアクセスポイント」を選んだとき

「カメラアクセスポイントで接続する」（📖 176）の操作2～7と同じ要領で設定する。

ネットワーク接続設定の名前を変更する

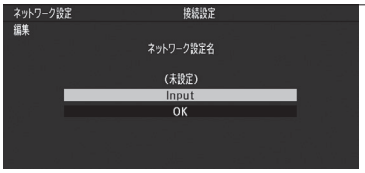


1 「名称変更」を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「接続設定」➤「編集」を順に選ぶ。

② 「名称変更」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

● ネットワーク設定名編集画面が表示される。



2 ネットワーク設定名を入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

② ネットワーク設定名を入力する。

参考 ▸▸「文字入力のしかた」（📖 174）

③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

ネットワーク機器でリモート撮影する（ブラウザーリモート）

Wi-Fiを使って本機をネットワークに接続すれば、ネットワークに接続した機器*1のWebブラウザーから本機をリモートで操作して、動画を撮影できます。撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2が可能なほか、記録メディアやバッテリーの残量、タイムコードの確認を行うことができます。

*1 OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 ホワイトバランス、ゲイン、シャッタースピード、F値、フォーカスなど。

リモート設定を行う

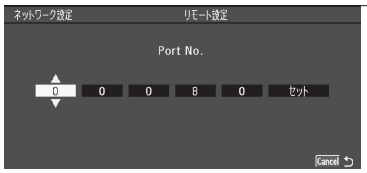
ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするときに使用するポート番号とカメラIDを設定します。カメラ設定の設定操作中は、無線LANへの接続が切れます。

ポート番号：HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。
カメラID：　ビデオカメラ固有の文字列を設定しておくと、ブラウザーリモートの画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のビデオカメラを識別することができます。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1 「リモート設定」を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「リモート設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 ポート番号を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押してPort No.の1番目の数字を選び、ジョイスティックを押す。
● カーソルが2番目の数字に移動する。
② ①の操作を繰り返して、5つの数字をすべて設定する。
③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、ジョイスティックを押す。

3 カメラIDを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 8文字以内のカメラIDを入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」（📖 174）
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● メニューが終了するまで繰り返す。

ブラウザーリモートを起動する

パソコンや携帯端末などネットワークに接続した機器*1のWebブラウザー *2からブラウザーリモートを起動します。現在のリモート設定の詳細は、ステータス画面で確認できます（📖 220）。

*1 カメラアクセスポイントで接続した機器を含む。OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

*2 JavaScript（ジャバスクリプト）に対応し、Cookie（クッキー）が有効になっている必要があります。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1 本機 ネットワークの接続設定を選ぶ（📖 178）

- Wi-Fiのカメラアクセスポイントを使用する。

2 ブラウザーリモートを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ブラウザーリモート」➤「入」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 本機がカメラアクセスポイントになり、AP Remoteが表示される。

② Wi-Fi対応機器から本機に接続する。
- ブラウザーリモートの接続準備が完了すると、AP Remoteが黄色から白色に変わる。

3 本機 本機のIPアドレスを確認する

① STATUS（ステータス）ボタンを押す。
② ジョイスティックを上下に押して「Network Settings 4/9」画面に切り換える。
③「IP Address」（IPアドレス）の設定内容を確認する。
④ 再度STATUS（ステータス）ボタンを押して、ステータス画面を閉じる。

4 パソコンなど Webブラウザーを起動する

5 パソコンなど URLを入力して、ブラウザーリモートを起動する

① URLの入力欄に次のように入力して、アクセスする。

入力例「http://xxx.xxx.xxx.xxx:nnn/」

操作3で確認したビデオカメラのIPアドレス　181ページで設定したポート番号（80のときは省略可能）

- ブラウザーリモートの画面が表示される。
- ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザーリモート画面の●●●●が、順に点灯→順に消灯を繰り返す。

6 パソコンなど カメラIDを確認し、言語を変更する

① 表示されたカメラID がリモート撮影に使用するカメラのIDであることを確認する。

② ▼を押して表示されるリストから、ブラウザーリモートの表示言語を選ぶ。

7 本機 撮影後、ブラウザーリモートを終了する

① その他機能メニュー ➤「ブラウザーリモート」➤「切」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

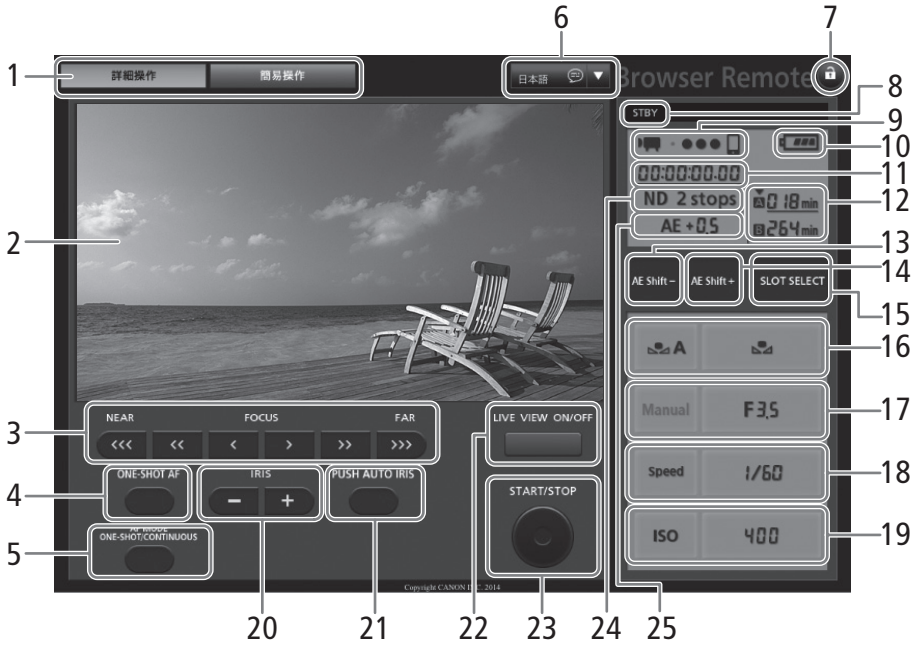
- 画面のAP Remoteが消え、ブラウザーリモートが無効になる。

MEMO

- ビデオカメラに「Camera ID」を設定していない場合、カメラIDはブラウザーリモート画面に表示されません。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- カラーバーの表示中は、ライブビュー表示がOFFになります。
- ブラウザーリモートで選んだ言語と異なる言語をパソコンなどで設定している場合は、正しく表示されないことがあります。

詳細操作画面

パソコンやタブレットなど画面が比較的大きい機器を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラウザーリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、各機能の説明ページをご覧ください。



1 画面切り換えタブ
- 「詳細操作」、「簡易操作」の画面を切り換える。

2 ライブビュー映像表示エリア
3 FOCUS（フォーカス調整）▶▶ 📖 84
4 ONE-SHOT AF（ワンショットAF）▶▶ 📖 88 ／ AF LOCK（AFロック）▶▶ 📖 89
5 AF MODE ONE-SHOT/CONTINUOUS（AFモード　ワンショット／コンティニュアス）▶▶ 📖 88
6 言語選択
7 🔒（キーロック）▶▶ 📖 53
8 撮影状態 ▶▶ 📖 53
9 ブラウザーリモート接続状態表示*
10 バッテリー残量の目安*
11 タイムコード* ▶▶ 📖 97
12 SDカード状態／撮影可能時間（分）
13 AE SHIFT ー（AEシフト）▶▶ 📖 75
14 AE SHIFT+（AEシフト）▶▶ 📖 75
15 SLOT SELECT（スロット選択）▶▶ 📖 45
16 ホワイトバランス ▶▶ 📖 77
17 F値 ▶▶ 📖 72
18 シャッタースピード ▶▶ 📖 65
19 ISO感度／ゲイン ▶▶ 📖 68
20 IRIS（アイリス）▶▶ 📖 72
21 PUSH AUTO IRIS（プッシュオートアイリス）▶▶ 📖 74
22 LIVE VIEW ON/OFF（ライブビュー）
23 START/STOP（スタート／ストップ）▶▶ 📖 51
24 NDフィルター* ▶▶ 📖 70
25 AEシフト ▶▶ 📖 75

* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

簡易操作画面

スマートホンなど画面が小さい機器を使ってリモート撮影するときは、「簡易操作」画面を使用します。簡易操作画面では、START/STOP（スタート／ストップ）、フォーカスやアイリスの調整、LIVE VIEW（ライブビュー）のON/OFF、🔒（キーロック）のみ行うことができます。

1 「簡易操作」タブを選ぶ

- 簡易操作画面が表示される。

FTPで転送する（FTPファイル転送）

本機で撮影した動画／静止画を、FTPサーバーに直接転送することができます。以下では、FTPサーバーがあらかじめ起動され、正しく動作していることを前提に説明しています。

FTP転送の準備をする

転送先となるFTPサーバーに接続するための設定や、転送先のフォルダー生成や同名ファイルの扱いなどの詳細設定を行います。

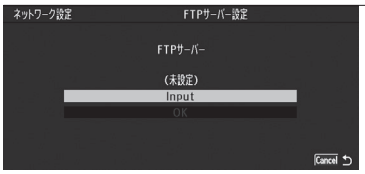
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

FTPサーバー設定を行う

クリップ／静止画の転送先となるFTPサーバーに接続するための情報として、FTPサーバー名（IPアドレスまたはホスト名）、ポートNo.、ユーザー名、パスワード、転送先となるフォルダーの場所（ディレクトリーパス）などを設定します。設定内容の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

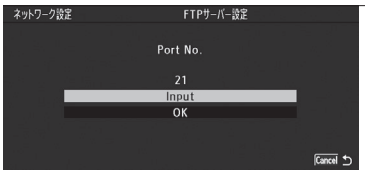
1 「FTPサーバー設定」を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「FTPサーバー設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



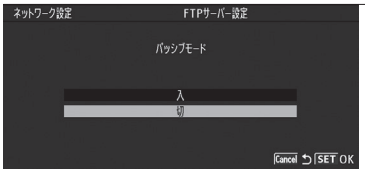
2 FTPサーバー名、ユーザー名、パスワード、転送先フォルダーを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② FTPサーバーを入力する。
参考 ➤「文字入力のしかた」（📖 174）
● カメラアクセスポイントで接続するときはこの設定を使用しないが、任意の文字を入力する。
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ 同様に、ユーザー名、パスワード、転送先フォルダーを入力する。



3 ポートNo.を入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 181ページの操作2と同じ要領でFTPポートを入力する。
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



4 FTPの通信モードを選ぶ

① いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
入： パッシブモードで通信する。ファイアウォールの内側からFTP転送を行うときなどに使用する。
切： アクティブモードで通信する。通常はこのモードを使用する。

5 FTPサーバー設定を保存する

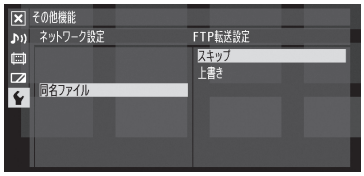
① 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを2回押す。

FTP転送設定を行う

転送先に日付のフォルダーを自動的に作成するかどうかや、同名ファイルがあったときの動作を設定します。

1 「日付フォルダー生成」を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「FTP転送設定」➤「日付フォルダー生成」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 「入」または「切」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「入」にすると、FTPサーバーの転送先フォルダーに日付のフォルダー（「YYYYMMDD ¥HHMMSS」）を自動的に作成し、その中にファイルを転送する。



2 「同名ファイル」を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ネットワーク設定」➤「FTP転送設定」➤「同名ファイル」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
スキップ： 転送先に同じ名前のファイルがあるとき、そのファイルを転送しない。
上書き： 転送先に同じ名前のファイルがあっても、上書きする。

MEMO

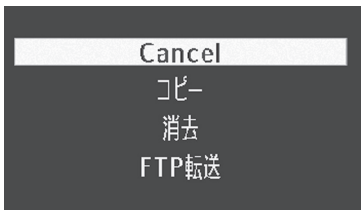
- 現在のFTPサーバー設定とFTP転送設定の詳細は、ステータス画面で確認できます（📖 220）。

クリップ／静止画を転送する

クリップや静止画をFTPサーバーに転送します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1つのクリップ／静止画を転送する



例：クリップの場合

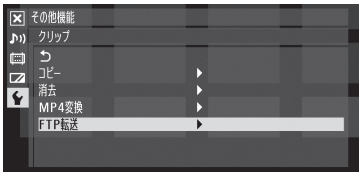
① ネットワークの接続設定を選ぶ（📖 178）。
② 転送するクリップまたは静止画を選ぶ。
③ クリップメニュー ➤「FTP転送」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが出る（📖 179）。カメラアクセスポイントのときは、Wi-Fi対応機器から本機に接続する。
- FTPサーバーとの接続が完了すると画面にFTP（白色）が表示され、選択したクリップのファイルが転送される。

転送を中止するとき　CANCELを押す。

- 転送が終了すると、画面のFTP（白色）がFTP（黄色）に変わり、消える。

⑤ ジョイスティックを押す。

クリップ／静止画をまとめて転送する



例：クリップの場合

① 転送するクリップまたは静止画があるインデックス画面を出す（📖 148）。
② ネットワークの接続設定を選ぶ（📖 178）。
③ その他機能メニュー ➤「クリップ」または「静止画」➤「FTP転送」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④「選択」、「すべて」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「選択」を選んだとき

❶ 転送するクリップを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
❷ ❶を繰り返し、転送するクリップをすべて選ぶ。
❸ MENUボタンを押す。

⑤「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが表示される（📖 179）。カメラアクセスポイントのときは、Wi-Fi対応機器から本機に接続する。
- FTPサーバーとの接続が完了すると画面にFTP（白色）が表示され、表示しているインデックス画面内のクリップのファイルが転送される。

転送を中止するとき　CANCELを押す。
- 現在のファイルの転送が終了後、FTP転送が中止される。
- 転送が終了すると、画面のFTP（白色）がFTP（黄色）に変わり、消える。

⑥ ジョイスティックを押す。

ご注意

- ファイル転送中は、次のことを守ってください。通信が中断され、転送先に不要なファイルが残ることがあります。
  - SDカードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- 転送先に不要なファイルが残っているときは、内容を十分に確認してから、削除してください。

MEMO

- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、ファイルの転送に時間がかかることがあります。

Webブラウザーで再生／保存する
（ブラウザープレビュー）

クリップや静止画を、スマートフォンやタブレット、パソコンなどのWebブラウザーで再生したり保存したりすることができます。ただし、お使いの機器、OS、ブラウザーや録画モードによっては、再生や保存ができないことがあります。動作を確認したOS、ブラウザーなどの詳細情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1 本機　AVCHD/MP4/静止画のインデックス画面に切り換える

2 本機　ネットワークの接続設定を選ぶ（📖 178）

- Wi-Fiのカメラアクセスポイントを使用する。

3 本機　ブラウザープレビューを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ブラウザープレビュー」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ネットワークに接続される（📖 179）。

② Wi-Fi対応機器から本機に接続する。
- 画面に「動作中」が表示され、ブラウザープレビューモードになる。
- 本機の操作は、POWERスイッチとジョイスティック／CANCELボタンを押す操作以外は行えない。

4 ネットワーク機器　Webブラウザーを起動し、URLを入力する

① 本機の画面に表示されているURLを入力する。
- ブラウザープレビューの画面が表示される。

5 ネットワーク機器　クリップまたは静止画を選んで再生する

動画と静止画を切り換えるとき

A AVCHD、A MP4または A をタッチ ➤ AVCHD、MP4または をタッチする。

MP4形式の動画のとき

① 画像をタッチする。
- 動画または静止画が再生される。
- AVCHD形式の動画は再生できない。

② をタッチすると、一覧画面に戻る。

ネットワーク機器に保存するとき（iOS機器以外）

①のあと、をタッチする。

6 本機 ブラウザープレビューを終了する

① ジョイスティックを押す。
- ブラウザープレビューモードが終了する。

MEMO

- 本機と同時に接続できる機器は1台のみです。
- データ容量が4GBを超えるクリップは、ネットワーク機器には複数のファイルとして認識されます。

8

静止画

静止画を記録する 192
静止画を再生する 194
静止画を操作する 196

静止画を記録する

動画の撮影中または撮影一時停止中に、静止画をSDカードに記録します。動画の再生一時停止中に、静止画を切り取ることもできます。記録される静止画のサイズは、AVCHD記録時は1920×1080、MP4記録時は動画と同じサイズ、メディアモード時は1920×1080です。

カメラモードで静止画を記録する

撮影中または撮影一時停止中に静止画を記録します。カスタムピクチャーファイルが選択されていると、静止画と一緒にカスタムピクチャーファイルも記録されます（📖 137）。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

例：アサイン8ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合

1 アサイン8ボタンに「Photo」を割り当てる

参考 ▸▸「アサインボタンの機能を変更する」（📖 128）。

2 動画撮影中　動画撮影一時停止中　静止画を記録する

① アサイン8ボタンを押す。

- A/B と記録可能枚数が表示され、記録先として選択されているSDカードに静止画が記録される。このとき、カスタムピクチャーファイルが選択されていると、静止画と一緒にカスタムピクチャーファイルも記録される。
- 記録中はアクセスランプが赤く点灯する。

記録した動画から静止画を切り取る

動画の再生一時停止中に、静止画を切り取ります。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

例：アサイン8ボタンに「Photo」が割り当てられている場合

1 クリップを再生する

① 静止画の切り取りを行うクリップを選ぶ。
② ▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押して、クリップを再生する。
③ 静止画を切り取りたいシーンで、再度▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押す。
- 再生一時停止状態になる。

2 静止画を記録する

① アサイン8ボタンを押す。
- A/Bと記録可能枚数が表示され、再生中の動画が保存されているSDカードに静止画が記録される。
- 記録中はアクセスランプが赤く点灯する。

② ■（停止）ボタンを押す。
- インデックス画面に戻る。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。

MEMO

- 静止画を記録するときは、記録先のSDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

静止画を再生する

SDカードに記録した静止画を再生します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

静止画インデックス画面を表示する

1 POWER(電源)スイッチをMEDIAにする

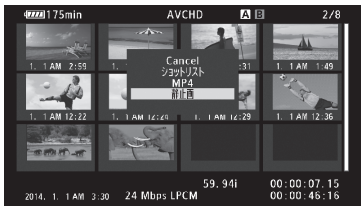
2 INDEX(インデックス)ボタンを押す

- インデックスメニューが表示される。

3 静止画インデックス画面を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、「静止画」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 静止画インデックス画面に切り換わる。

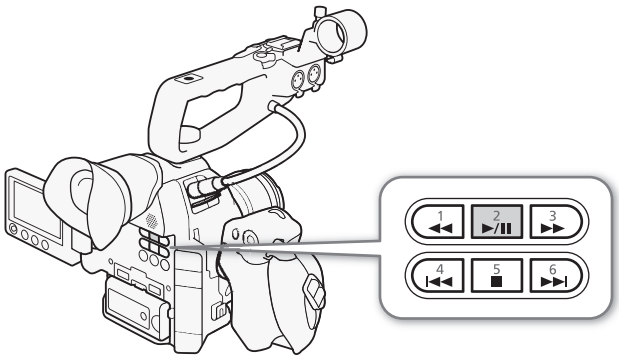


AVCHD動画のインデックス画面に戻るとき

INDEX(インデックス)ボタンを押す。

再生する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を再生します。再生には本体の各種再生操作ボタンを使用します。ジョイスティックで操作することもできます。



1 ジョイスティックを上下左右に押して、再生する静止画を選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したい静止画に合わせる。

2 ►/II（再生／一時停止）ボタンを押す

- 静止画が再生される（1枚表示される）。

前の静止画／次の静止画に移動するとき

I◄◄を押すと前の静止画に、►►Iを押すと次の静止画に移動する。

- ジョイスティックを左右に押して、前後の静止画に移動することもできる。

撮影情報の表示をON/OFFするとき

DISP.（ディスプレイ）ボタンを押す。

再生を終える（インデックス画面に戻る）とき

■（停止）ボタンを押す。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。

MEMO

- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工をしたとき。
  - パソコンでファイル名を変更したとき。

静止画を操作する

静止画単位の操作を行うときは、静止画メニューを使用します。静止画メニューは静止画インデックス画面、静止画再生画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。

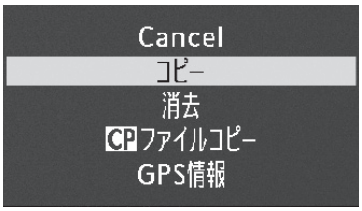
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

静止画をコピーする

SDカードに記録された静止画を、もう一方のスロットのSDカードにコピーすることができます。一緒に記録されたカスタムピクチャーファイルもコピーされます。

静止画の再生中にコピーする

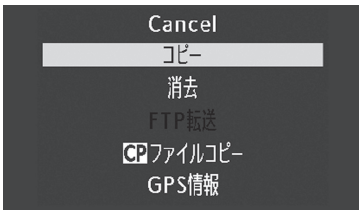
再生中に静止画をコピーします。



① 静止画再生中 ジョイスティックを押して「コピー」を選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
　● 選択した静止画がコピーされる。
③ ジョイスティックを押す。

静止画インデックス画面で静止画をコピーする

静止画インデックス画面で選んだ静止画をコピーします。



① コピーする静止画を選ぶ。
② ジョイスティックを押して「コピー」を選ぶ。
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
　● 選択した静止画がコピーされる。
④ ジョイスティックを押す。

静止画をまとめてコピーする

選択した静止画やすべての静止画をまとめてコピーできます。

① その他機能メニュー ➤「静止画」➤「コピー」を順に選ぶ。
② 「選択」または「すべて」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「選択」を選んだとき

❶ コピーする静止画をすべて選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ☑が表示される。
- もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返してコピーする静止画をすべて選ぶ。
❸ MENUボタンを押す。

③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 静止画がコピーされる。

中止するとき　ジョイスティックを押す。

④ ジョイスティックを押す。

静止画を消去する

不要な静止画を1枚ずつ消去します。静止画を消去すると、一緒に記録されたカスタムピクチャーファイルも消去されます。

静止画再生中に消去する

再生中の静止画を消去します。

① 静止画再生中　ジョイスティックを押して「消去」を選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 再生中の静止画が消去される。
- カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーファイルも消去される。

③ ジョイスティックを押す。

静止画インデックス画面で静止画を消去する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を消去します。

① 消去する静止画を選ぶ。
② ジョイスティックを押して「消去」を選ぶ。
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択した静止画が消去される。
- カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーファイルも消去される。

④ ジョイスティックを押す。

静止画をまとめて消去する

選択した静止画やすべての静止画をまとめて消去できます。

① その他機能メニュー ➤ 「静止画」 ➤ 「消去」を順に選ぶ。
② 「選択」または「すべて」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「選択」を選んだとき

❶ 消去する静止画をすべて選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ☑が表示される。
- もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。

❷ ❶の操作を繰り返して消去する静止画をすべて選ぶ。
❸ MENUボタンを押す。

③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 静止画が消去される。

中止するとき　ジョイスティックを押す。

④ ジョイスティックを押す。

ご注意

- 一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。
- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。

カスタムピクチャーファイルをコピーする

静止画と一緒に記録したカスタムピクチャーファイルの設定を本機にコピーすることができます。コピーは、静止画再生画面と静止画インデックス画面で行うことができます。

静止画再生中にコピーする

再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルを本機にコピーします。コピー先は、本機のカスタムピクチャーファイルのうちC1 ～ C9から選択できます。

① 静止画再生中 ジョイスティックを押して「CP ファイルコピー」を選ぶ。
- CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
- CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押しても表示できる。
- ジョイスティックを上下に押すと、CP Data 2/3または3/3画面に切り換わる。

② ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。

③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルがコピーされる。

④ ジョイスティックを押す。

静止画インデックス画面でコピーする

静止画インデックス画面で選んだ静止画と一緒に記録されてい るカスタムピクチャーファイルをコピーします。

① カスタムピクチャーファイルをコピーする静止画を選ぶ。

② ジョイスティックを押して「CP ファイルコピー」を選ぶ。
- CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
- CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押しても表示できる。
- ジョイスティックを上下に押すと、CP Data 2/3または3/3画面に切り換わる。

③ ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。

④ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択した静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルがコピーされる。

⑤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- プロテクトされたカスタムピクチャーファイルをコピー先に選択することはできません。
- カスタムピクチャーファイルのC7 ／ C8 ／ C9は初期状態ではプロテクトされています。

MEMO

9

メニュー

メニュー一覧..... 202

メニュー一覧

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの階層と設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」（26）をご覧ください。

メニューの階層

MENUボタンを押すと、画面左側に次のメニューのアイコンが表示されます。

	カメラ設定メニュー：	ISO感度／ゲインやシャッターなど撮影に関する設定を行う。	203
	オーディオ設定メニュー：	音声の入出力に関する設定を行う。	205
	ビデオ設定メニュー：	映像出力に関する設定を行う。	206
	OLED/VF設定メニュー：	有機ELモニターやファインダーに関する設定を行う。	207
00:00	TC/UB設定メニュー／ User Bit設定メニュー：	タイムコードやユーザービットに関する設定を行う。	211
	その他機能メニュー：	その他、上記以外の設定を行う。	211
★	マイメニュー：	よく使うメニュー項目を登録する。	217

MENU

- カメラ設定 *1
  - 測光方式
  - AEシフト
  - ISO/Gain
  - Iris
  - Shutter
  - AF
  - 本体グリップズーム
  - フリッカー低減
  - CP CINEMA固定
  - EF-Sレンズ
  - ABB
  - カラーバー
  - 周辺光量補正
- オーディオ設定
  - Audio Input *1
  - Audio Output *3
- ビデオ設定
  - HDMI
  - HDオンスクリーン表示
  - SDオンスクリーン表示
  - SD Output *2
- OLED/VF設定
  - OLED設定
  - VF設定
  - OLED対面ミラー
  - OLED/VFモノクロ
  - ビューアシスト *1
  - Audio Level *2
  - 日時表示 *2
  - Peaking *1
  - Zebra *1
  - マーカー *1
  - Custom Display 1 *1
  - Custom Display 2 *1
- TC/UB設定 *1
  - Time Code
  - User Bit
- その他機能
  - リセット
  - メニュー / CP設定保存
  - タイムゾーン
  - 日時設定
  - WFM (OLED) *3
  - 言語
  - REMOTE端子
  - アサインボタン *3
  - タリーランプ *1
  - MediaアクセスLED
  - ファン *1
  - システム周波数 *3
  - 動画形式 *1
  - AVCHD *1
  - MP4 *1
  - リレー記録 *1
  - ダブルスロット記録 *1
  - 常時記録 *1
  - 特殊記録 *1
  - レックレビュー *1
  - 最終クリップ消去 *1
  - クリップ *2
  - ショット消去 *2
  - ファイル番号 *3
  - 静止画 *3
  - Custom Function *1
  - アワーメーターリセット
  - ブラウザーリモート *1
  - ブラウザープレビュー *2
  - ネットワーク設定
  - GPS自動時刻設定 *1
  - Media初期化
  - 認証マーク表示
  - Lens Firmware *1
  - Firmware *1
- マイメニュー *1
  - 編集

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。画面によっては表示されないことがある。
*3 メディアモードでは、画面によっては表示されないことがある。

メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。

カメラ設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
測光方式		バックライト、**Standard**、スポットライト	測光方式を設定する。 バックライト：逆光時の暗部をより明るく制御する。 Standard：画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 スポットライト：スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	76
AEシフト		＋2.0、＋1.75、＋1.5、＋1.25、＋1.0、＋0.75、＋0.5、＋0.25、**±0**、−0.25、−0.5、−0.75、−1.0、−1.25、−1.5、−1.75、−2.0	絞りを自動調整するときの明るさ目標値を設定して、17段階で露出補正をおこなう。	75
ISO/Gain	選択	**ISO**、Gain	感度の設定方法をISO感度とゲインから選ぶ。	67
	感度拡張	入、**切**	入にすると、ISO感度がISO102400まで、ゲインが44 dBまで設定可能となる。	67
	ISOステップ	1段、**1/3段**	ISO感度設定時の刻み幅を選ぶ。	67
	Gain	**ノーマル**、ファイン	ゲイン設定時の刻み幅を選ぶ。 ノーマル：3 dB*（−6 ～ 30 dB） ファイン：0.5 dB（−6 ～ 24 dB） *感度拡張時は3dBの刻み幅にならない。	67
Iris	モード*2	Automatic、**Manual**	アイリスのモードを設定する。 Automatic：アイリスをオートで調整する。 Manual：アイリスをマニュアルまたはプッシュオートアイリスで調整する。	71
	Irisステップ	1/2段、**1/3段**、ファイン	アイリス設定時の刻み幅を設定する。ファインにすると、1/3段より細かい刻み幅で設定できる。	72
	Zoom連動F値補正	**入**、切	ズーム操作によりF値が変化するレンズを使用時、入にすると、設定したF値を保つように絞りを補正する。ただし、絞りが動作するのにともない、若干の輝度のばらつきと動作音が発生する。切にすると、望遠側にズームするに従って、徐々にF値が大きくなる（暗くなる）。輝度変化は少なく、絞りの動作音は発生しない。	–

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Shutter	モード	**スピード**、 アングル、 クリアスキャン、 スロー、 切	シャッタースピードのモードを設定する。 スピード：　秒数で設定。 アングル：　開角度で設定。 クリアスキャン：周波数で設定。 スロー：　フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定。	62
	Shutterステップ	1/3段、 **1/4段**	シャッタースピード設定時の刻み幅を設定する。	62
AF	モード*1	**ワンショット**、 連続	オートフォーカスのモードを設定する。 ワンショット：ワンショットAFによるフォーカスの自動調整が可能となる。 連続：継続したAF動作によるフォーカスの自動調整が可能となる。	83
	顔検出AF *2	顔優先、 顔限定、 **切**	顔検出AFの動作を選ぶ。 顔優先：顔未検出時はAF動作。 顔限定：顔未検出時はMF動作。ピントが固定される。	91
本体グリップズーム	設定	入、**切**	入にすると、カメラ本体のグリップのジョイスティックでズームを操作できる。	93
	スピード	1 ～ 16（**8**）	ズームスピード（固定速）を16段階で選ぶ。値が大きいほど高速になる。	
フリッカー低減		Automatic、**切**	Automaticにすると、蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正する。	66
CP CINEMA固定		入、**切**	入にすると、画質設定がカスタムピクチャーのCINEMAプリセットに固定される（カスタムピクチャーは設定不可）。切にすると、カスタムピクチャーで好みの画質に調整できる。	57
EF-Sレンズ		入、**切**	入にすると、約1.04倍の電子拡大を行い、センサー切り出し範囲を変更する。	32
ABB		**Cancel**、OK	オートブラックバランスを実行する。	48
カラーバー	表示	入、**切**	入にすると、カラーバーを表示する。	110
	タイプ	59.94 Hz： **SMPTE**、ARIB 50.00 Hz： **EBU**、SMPTE	カラーバーのタイプを選ぶ。	110
周辺光量補正		入、**切**	入にすると、レンズの特性によって四隅が暗くなるのを補正する。	32

*1 マニュアルフォーカスレンズを除くEFレンズ装着時。
*2 対応EFレンズ装着時のみ（📖 254）。

♪)) オーディオ設定メニュー

CAMERA | MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Audio Input*1	XLR Rec Channel	**CH1**、CH1/CH2	CH1入力の音声を録音するチャンネルを選ぶ。 CH1： CH1入力をチャンネル1にCH2入力をチャンネル2に録音する。 CH1/CH2：CH1入力をチャンネル1 ／チャンネル2の両方に録音する。	106
	XLR1 Micトリミング	+12 dB、+ 6dB、**0 dB**、－6 dB、－12 dB	外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2の入力感度を調整する。	108
	XLR1 Mic Att.	入、**切**	入にすると、外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2にアッテネーター（20 dB）がかかる。	108
	XLR2 Micトリミング	+12 dB、+ 6dB、**0 dB**、－6 dB、－12 dB	外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2の入力感度を調整する。	108
	XLR2 Mic Att.	入、**切**	入にすると、外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2にアッテネーター（20 dB）がかかる。	108
	XLR ALCリンク	連動、**独立**	録音レベルをオートで調整する場合、連動にすると、XLR端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させることができる。	107
	XLR リミッター	入、**切**	外部マイク（XLR端子）の録音レベルをマニュアルで調整する場合、入にすると過大な音声入力によるひずみを防止できる。	108
	MICモード	**Automatic**、Manual	外部マイク（MIC端子）の録音レベルの調整方法を選ぶ。 Automatic：自動的に調整する。 Manual： 手動で調整する。	104
	MIC Level	0～99（**50**）	外部マイク（MIC端子）の録音レベルを手動で調整する。	104
	MIC Att.	入、**切**	入にすると、外部マイク（MIC端子）にアッテネーター（20 dB）がかかる。	105
	MICローカット	入、**切**	外部マイク（MIC端子）の特性を選ぶ。入にすると、風の影響を受ける屋外で撮影するとき、風によるノイズを低減する。	104
	Int. Mic Att.	入、**切**	内蔵マイクには12dBの、外部マイク（MIC端子）には20dBのアッテネーターがかかる。	105
	Int. Micローカット	**切**、LC1、LC2	内蔵マイクの特性を選ぶ。 切： 一般的な音を録音するとき。 LC1：人の声を中心に録音するとき。 LC2：風の影響を受ける屋外で撮影するとき。風によるノイズを低減する。	104

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Audio Input*1	Int. Mic感度	**ノーマル**、ハイ	内蔵マイクの感度を選ぶ。 ノーマル：通常のレベルの音を録音するとき。 ハイ：　より大きな音量で録音するとき。	105
	モノラルマイク	**入**、切	モノラルマイクの有効／無効を切り換える。	101
	1 kHzトーン	−12 dB、−18 dB、−20 dB、**切**	カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する。	110
Audio Output*3	モニターディレイ*1	Line Out、**ノーマル**	映像と音声のタイミングを合わせるかどうかを選ぶ。 Line Out：映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。 ノーマル：リアルタイム（ディレイなし）で音声を出力する。	166
	モニター Channels	**CH1/CH2**、CH1/CH1、CH2/CH2、CH1+2/CH1+2	音声を出力するチャンネルを選ぶ。 CH1/CH2：出力音声のL chにCH1を、R chにCH2を割り当てる。 CH1/CH1：出力音声のL chとR chの両方にCH1を割り当てる。 CH2/CH2：出力音声のL chとR chの両方にCH2を割り当てる。 CH1+2/CH1+2：出力音声のL chとR chの両方にCH1とCH2をミックスした信号を割り当てる。	166
	Level	**1 Vrms**、2 Vrms	AV OUT端子の音声出力レベルを選ぶ。2 Vrmsにすると出力レベルが6 dB上がる。	167
	Headphone音量	切、1 ～ 15（**8**）	ヘッドホンの音量を調整する。	152
	Speaker音量*2	切、1 ～ 15（**8**）	スピーカーの音量を調整する。	152

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。画面によっては表示されないことがある。
*3 メディアモードでは、画面によっては表示されないことがある。

ビデオ設定メニュー

CAMERA | MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
HDMI	Output	59.94Hz時： **ノーマル**、+1920x1080 59.94P 50.00Hz時： ノーマル、+1920x1080 50.00P	HDMI OUT端子に出力される映像信号を選ぶ。 「+1920x1080 59.94P」または「+1920x1080 50.00P」にすると、通常のHDMI出力信号に加えて、1080/59.94Pや1080/50.00Pの信号も出力可能になる。	160
	LUT*1 設定	入、**切**	入にすると、Canon Logで撮影中の映像をHDMI OUT端子に出力するときに「選択」で指定したLUT（ルックアップテーブル）を適用する。	163
	LUT*1 選択	Wide DR、**BT.709**	HDMI OUT端子の出力映像に適用するLUTを選ぶ。 BT. 709：ITU-R BT.709ガンマのLUT。 Wide DR：BT. 709より広いダイナミックレンジを実現するLUT。	163

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
HDMI	記録コマンド*1	入、**切**	「Time Code」が入のときに「記録コマンド」を入にして、本機とHDMI記録コマンド対応機器をHDMI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができる。	52
	Time Code*1	入、**切**	入にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳する。	ー
HDオンスクリーン表示		入、**切**	入にすると、HDMI OUT端子の出力信号が1080/59.94Pまたは1080/50.00P以外のとき、HD出力に画面表示を重畳する。	165
SDオンスクリーン表示		入、**切**	入にすると、SD出力に画面表示を重畳する。	165
SD Output*2		レターボックス、**スクイーズ**、サイドクロップ	HD映像（16:9）をSD出力するときの表示方式を選ぶ。 レターボックス：上下に黒い帯を追加して4:3にする。 スクイーズ：　左右方向に縮小して4:3にする。 サイドクロップ：両端を切り取って4:3にする。	164

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。

OLED/VF設定メニュー

CAMERA | MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
OLED設定	明るさ	−99 ～ 99（**±0**）	有機ELモニターの明るさを調整する。	39
	コントラスト	−99 ～ 99（**±0**）	有機ELモニターのコントラストを調整する。	
	カラー	−20 ～ 20（**±0**）	有機ELモニターのカラーを調整する。	
	シャープネス	1 ～ 4（**2**）	有機ELモニターのシャープネスを調整する。	
	輝度アップ	入、**切**	入にすると、有機ELモニターの画面の輝度を上げる。	
	カラーバランス			
	R-B連動調整	−25 ～ 25（**±0**）	レッド（R）とブルー（B）を連動させて、有機ELモニターのカラーバランスを調整する。	
	R微調整	−25 ～ 25（**±0**）	有機ELモニターのレッド（R）を微調整する。	
	B微調整	−25 ～ 25（**±0**）	有機ELモニターのブルー（B）を微調整する。	
VF設定	明るさ	−99 ～ 99（**±0**）	ファインダーの明るさを調整する。	39
	コントラスト	−99 ～ 99（**±0**）	ファインダーのコントラストを調整する。	
	カラー	−20 ～ 20（**±0**）	ファインダーのカラーを調整する。	
	シャープネス	1 ～ 4（**2**）	ファインダーのシャープネスを調整する。	
	バックライト	**ノーマル**、明るい	ファインダーのバックライトの明るさを選ぶ。	
OLED対面ミラー		入、**切**	入にすると、有機ELモニターの映像が左右に反転する。	38

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
OLED/VFモノクロ		入、**切**	入にすると、有機ELモニターとファインダーがモノクロ表示になる。	38
ビューアシスト*1		入、**切**	撮影中、映像にCanon Logガンマが適用されているときに、画面表示を通常のガンマに疑似変換する。	58
Audio Level *2		**入**、切	入にすると、オーディオレベルメーターを表示する。	–
日時表示*2		入、**切**	入にすると、クリップの再生中に日時を表示する。	151
Peaking*1	設定	入、**切**	入にすると、「選択」で選んだピーキングが表示される。	86
	選択	**Peaking 1**、Peaking 2	表示するピーキングの種類を選ぶ。	
	Peaking 1 カラー	**ホワイト**、レッド、イエロー、ブルー	ピーキング1の色を選ぶ。	
	Gain	切、1 ～ 15(**8**)	ピーキング1のゲインを選ぶ。	
	周波数	1 ～ 4(**2**)	ピーキング1の周波数を選ぶ。	
	Peaking 2 カラー	ホワイト、**レッド**、イエロー、ブルー	ピーキング2の色を選ぶ。	
	Gain	切、1 ～ 15(**15**)	ピーキング2のゲインを選ぶ。	
	周波数	1 ～ 4(**1**)	ピーキング2の周波数を選ぶ。	
Zebra*1	設定	入、**切**	入にすると、「選択」で選んだゼブラパターンが表示される。	96
	選択	**Zebra 1**、Zebra 2、Zebra 1&2	表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 Zebra 1： 設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 2： 設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 1&2：ゼブラパターン1と2を同時に表示する。	
	Zebra 1 Level	**70 ±5%**、75 ±5%、80 ±5%、85 ±5%、90 ±5%、95 ±5%	ゼブラパターン1の輝度レベルを6段階から選ぶ。	
	Zebra 2 Level	70%、75%、80%、85%、90%、95%、**100%**	ゼブラパターン2の輝度レベルを7段階から選ぶ。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Zebra*1	HD Output	入、**切**	入にすると、出力信号が1080/59.94Pまたは1080/50.00P以外のとき、HDMI OUT端子にゼブラパターンが出力される。	96
マーカー *1	表示	入、**切**	すべてのマーカーの表示を入／切する。	94
	センター	ブラック、グレー、**切**	センターマーカーの色を選ぶ。切にするとセンターマーカーは表示されない。	
	水平	ブラック、グレー、**切**	センターマーカーの色を選ぶ。切にするとセンターマーカーは表示されない。	
	グリッド	ブラック、グレー、**切**	グリッドの色を選ぶ。切にするとグリッドは表示されない。	
	セーフティーゾーン	ブラック、グレー、**切**	セーフティゾーンの色を選ぶ。切にするとセーフティゾーンは表示されない。	
	セーフティーゾーンエリア	80%、90%、92.5%、**95%**	セーフティゾーンのエリアを選ぶ。	
	アスペクトマーカー	ブラック、グレー、**切**	アスペクトマーカーの色を選ぶ。切にするとアスペクトマーカーは表示されない。	
	アスペクト比	4:3、13:9、14:9、1.66:1、1.75:1、1.85:1、**2.35:1**	アスペクトマーカーのアスペクト比を選ぶ。	
Custom Display 1*1	測光方式	**入**、切	入にすると、測光方式がバックライトまたはスポットライトのときに、それぞれ☀または⚠アイコンを表示する。	54 145
	Custom Picture	**入**、切	入にすると、CP（カスタムピクチャー）アイコンを表示する。	
	焦点距離	**入**、切	入にすると、焦点距離を表示する。	
	ND Filter	**入**、切	入にすると、NDフィルターの設定を表示する。	
	Focus Mode	**入**、切	入にすると、AFまたはMFを表示する。	
	キーロック	**入**、切	入にすると、🔒（キーロック）アイコンを表示する。	
	White Balance	**入**、切	入にすると、ホワイトバランスの設定を表示する。	
	Exposure	**入**、切	入にすると、露出バーを表示する。	
	Iris	**入**、切	入にすると、アイリスの設定（F値）を表示する。	
	ISO/Gain	**入**、切	入にすると、ISO感度／ゲインの設定を表示する。	
	Shutter	**入**、切	入にすると、シャッタースピードの設定を表示する。	
	Peaking	**入**、切	入にすると、PEAK1 ／ PEAK2（ピーキング）アイコンを表示する。	
	Magnification	**入**、切	入にすると、MAGN.（拡大表示）アイコンを表示する。	
	ビューアシスト	**入**、切	入にすると、V.Assist.（ビューアシスト）アイコンを表示する。	
	EF-S レンズ	**入**、切	入にすると、EF-S（EF-Sレンズ）アイコンを表示する。	
	レンズ	**入**、切	入にすると、装着したレンズと通信を行えないときにLENS（レンズ）アイコンを表示する。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Custom Display 2*1	バッテリー残量	警告、 **ノーマル**、 切	バッテリー残量の表示のしかたを選ぶ。 警告：　警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	
	記録可能時間	警告、 **ノーマル**、 切	残りの記録可能時間を表示する。 警告：　警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	
	記録モード	**入**、切	入にすると、撮影状態（記録モード）を表示する。	
	Time Code	**入**、切	入にすると、タイムコードを表示する。	
	静止画記録可能枚数	警告、 **ノーマル**、 切	SDカードの状態表示のしかたを選ぶ。 警告：　警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	
	温度/ファン	**入**、切	入にすると、内部温度が高くなったときに（高温警告）アイコンを表示する。また、その他機能メニュー ➤「ファン」が「Automatic」の場合、冷却ファンの回転中に FAN（ファン）アイコンを表示する。	
	動画形式	**入**、切	入にすると、AVCHD / MP4（動画形式）アイコンを表示する。	54 145
	ビットレート/解像度	**入**、切	入にすると、ビットレートや解像度を表示する。	
	フレームレート	**入**、切	入にすると、フレームレートを表示する。	
	Output Display	入、**切**	入にすると、映像を出力する端子に画面表示を重畳することを示す DISP（画面表示出力）アイコンを表示する。	
	記録コマンド	**入**、切	入にすると、記録コマンド状態を表示する。	
	User Bit	**入**、切	入にすると、ユーザービットを表示する。	
	モニター Channels	**入**、切	入にすると音声出力チャンネルを表示する。	
	Audio Level	**入**、切	入にすると、オーディオレベルメーターと LIM（オーディオリミッター）アイコンを表示する。	
	ネットワーク機能	**入**、切	入にすると、／AP（ネットワーク接続）アイコンや、FTP／Remote（ネットワーク機能）を表示する。	
	GPS	**入**、切	入にすると、（GPS）アイコンを表示する。	
	日付/時刻	日付/時刻、 時刻、日付、**切**	日時の表示のしかたを選ぶ。	

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。画面によっては表示されないことがある。

00:00 TC/UB設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Time Code	モード	**Preset**、Regen.	タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 Preset：「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。 Regen.：メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。	97
	Run	**Rec Run**、 Free Run	モードがPresetのときに歩進方法を選ぶ。 Rec Run：記録時に歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。	
	DF/NDF	**DF**、NDF	ドロップフレーム（DF）またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換える。なお、次のときはNDFに固定される。 • システム周波数が50.00 Hzのとき。 • システム周波数が59.94 Hzでフレームレートが23.98Pのとき。	98
	設定	**セット**、リセット	タイムコードの初期値を設定する。	97
User Bit	Outputモード	**固定値**、 プルダウン	出力するユーザービットを選ぶ。 固定値：　設定したユーザービット。 プルダウン：2:3プルダウン情報。	100
	タイプ	**設定**、 時刻、 日付	ユーザービットを設定する。 設定：　8桁の16進数を任意に入力する。 時刻：　ユーザービットに時間を設定する。 日付：　ユーザービットに日付を設定する。	

その他機能メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
リセット	全設定	**Cancel**、OK	アワーメーターを除く本機の設定を初期状態に戻す。	–
	カメラ設定*1	**Cancel**、OK	ホワイトバランス、アイリス、ISO感度／ゲイン、シャッタースピード、カメラ設定メニュー、カスタムピクチャーの各設定を初期状態に戻す。	–
	アサインボタン*3	**Cancel**、OK	アサインボタンの機能割り当て設定を初期状態に戻す。	128

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
メニュー/CP設定保存	SDへ保存 SD**A**、SDB	メニュー、 メニュー +CP	メニュー：　メニュー設定のみをSDAまたはSDBに保存する。 メニュー +CP：メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）をSDAまたはSDBに保存する。	146
	SDから読み出し SD**A**、SDB	メニュー、 メニュー +CP	メニュー：　メニュー設定のみをSDAまたはSDBから本機に読み込む。 メニュー +CP：メニュー設定とカスタムピクチャーをSDAまたはSDBから本機に読み込む。	
タイムゾーン		UTC －12:00 ～ +14:00 （**UTC+09:00**）	タイムゾーンを設定する。	25
日時設定	日付/時刻	日付・時間	日付と時間を設定する。	25
	日時スタイル	**YMD**、YMD/24H、MDY、MDY/24H、DMY、DMY/24H	日時の表示のしかたを選ぶ。	
WFM (OLED) *3	設定	WFM、VS、Edge Mon.*1、**切**	映像信号を確認するモニターの表示を選ぶ。 WFM：　波形モニターを表示する。 VS：　ベクトルコープを表示する。 Edge Mon.：エッジモニターを表示する。	111
	Waveform Monitor タイプ	**ライン**、ライン+スポット、フィールド、RGB、YPbPr	波形モニターのタイプを選ぶ。	111
	Gain	**1x**、2x	波形モニターの波形のゲインを選ぶ。	
	Vectorscope タイプ	スポット、**ノーマル**	ベクトルスコープのタイプを選ぶ。	112
	Gain	**1x**、5x	ベクトルスコープのゲインを選ぶ。	
	Edge Monitor*1 タイプ	**タイプ 1**、タイプ 2	エッジモニターのタイプを選ぶ。 タイプ 1：　水平方向の全体のエッジ成分とスポット（3箇所）のエッジ成分を重ねて、水平方向の位置を合わせて表示する。 タイプ 2：　波形モニターとエッジモニターを同時に画面右下に表示する。	112
	Gain	切、1 ～ 15（**12**）	エッジモニターの波形のゲインを選ぶ。	
言語		**日本語**、English	表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	—

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
REMOTE端子		RC-V100、 **Standard**	RC-V100：リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続するときに選ぶ。 Standard：RC-V100以外のリモコン（市販）を接続するときに選ぶ。	125
アサインボタン*3	1 ～ 6*1	**(未設定)**	アサインボタン1 ～ 17に機能を割り当てる。次の機能を割り当てることができる。各機能の詳細について（📖128）。 （未設定）、ONE-SHOT AF、AF LOCK、顔検出AF、PUSH AUTO IRIS、Irisモード、Iris +、Iris－、AE Shift +、AE Shift－、バックライト、スポットライト、ISO/GAIN、SHUTTER、ビューアシスト、HDMI LUT、PEAKING、ZEBRA、WFM、MAGN.、DISP.、カラーバー、マーカー、OLED設定、VF設定、OLED/VF モノクロ、オンスクリーン表示、Time Code、Time Codeホールド、Headphone +、Headphone－、Speaker +、Speaker－、モニター Channels、Audio Level、Photo、マイメニュー、Media初期化、◆上、◆下、◆左、◆右、◆SET、STATUS、WB SET、WB、CUSTOM PICTURE、ユーザー設定	128
	7	**MAGN.**		
	8	**MAGN.**		
	9	**PEAKING**		
	10	**ZEBRA**		
	11	**AF LOCK**		
	12	**PUSH AUTO IRIS**		
	13	**ISO/GAIN**		
	14	**SHUTTER**		
	15	**ONE-SHOT AF**		
	16	**WFM**		
	17	**DISP.**		
タリーランプ*1	前部	**入**、切	入にすると、撮影中に前部タリーランプが点灯する。	51
	後部	**入**、切	入にすると、撮影中に後部タリーランプが点灯する。	
MediaアクセスLED		**入**、切	入にすると、SDカードにアクセスしたときにアクセスランプが点灯する。	43
ファン*1		**ロー**、 ハイ、 Automatic	冷却ファンの動作のしかたを選ぶ。 ロー：　常に低速で回転する。 ハイ：　常に高速で回転する。 Automatic：本機の内部温度が高くると、自動的にファンが回転する。回転中は FAN が表示される。	57
システム周波数*3		**59.94 Hz**、50.00Hz	59.94 Hzまたは50.00 Hzを選ぶ。	59
動画形式*1		**AVCHD**、MP4	動画形式を選ぶ。	59
AVCHD*1	ビットレート	28 Mbps LPCM、 28 Mbps、 **24 Mbps LPCM**、 24 Mbps、 17 Mbps、7 Mbps	ビットレートを選ぶ。	59
	フレームレート	59.94Hz時： **59.94i**、PF29.97、23.98P 50.00Hz時： 50.00i、PF 25.00	フレームレートを選ぶ。 ビットレートが28Mpbs LPCMや28Mpbsのときは、59.94Pまたは50.00Pに固定され、変更できない。	59

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
MP4*1	ビットレート/解像度	35 Mbps 1920x1080、**24 Mbps 1920x1080**、17 Mbps 1920x1080、4 Mbps 1280x720、3 Mbps 640x360	ビットレートと解像度を選ぶ。	59
	フレームレート	**29.97P**、23.98P	59.94Hz時のフレームレートを選ぶ。ビットレートが35 Mbpsのときは59.94Pに固定され、変更できない。50.00Hz時はビットレート／解像度に応じて自動的に決まる。	59
リレー記録*1		**入**、切	リレー記録の入／切を切り換える。	46
ダブルスロット記録*1		入、MP4（4 Mbps）、MP4（3 Mbps）、**切**	ダブルスロット記録の入／切と、記録時の動画形式やビットレート／解像度を選ぶ。 入：現在の記録信号形式で記録。 MP4（4 Mbps）：4 Mbps 1280 x 720のMP4動画を記録。 MP4（3 Mbps）：3 Mbps 640 x 360のMP4動画を記録。	46
常時記録*1	モード	入、**切**	常時記録モードの入／切を切り換える。	118
	Start/Stop	Start、**Stop**	常時記録モード時、常時記録の開始／終了を制御する。Startを実行すると常時記録が開始され、Stopを実行するまで映像を継続して記録する。	
特殊記録*1	プレ記録	入、**切**	プレ記録の入／切を切り換える。	115
	Slow & Fast モーション	59.94Hz時の「フレームレート」 59.94P時： 29.97P、23.98P、**切** 29.97P時： 59.94P、23.98P、**切** 23.98P時： 59.94P、29.97P、**切** 50.00Hz時：入、**切**	スロー &ファーストモーション記録の入／切と、撮影フレームレートを選ぶ。記録信号形式の「フレームレート」によって選択値が異なる。	115
レックレビュー *1		**クリップ先頭から**、最終4 sec	レックレビューで再生する範囲を選ぶ。 クリップ先頭から：クリップの先頭からすべて。 最終4 sec：クリップの最後の4秒間のみ。	113
最終クリップ消去*1		**Cancel**、OK	最後に記録したクリップを消去する。	52

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
クリップ／静止画*2	コピー	選択、すべて	現在選択しているSDカードのクリップ／静止画を、もう一方のSDカードにコピーする。選択したクリップ／静止画、またはすべてのクリップ／静止画をまとめてコピー可能。	154
	消去	選択、すべて	現在選択しているSDカードのクリップ／静止画を消去する。選択したクリップ／静止画、またはすべてのクリップ／静止画をまとめて消去可能。	155
	MP4変換*2	選択、すべて	現在選択しているSDカードのクリップをMP4変換する。選択したクリップ、またはすべてのクリップをまとめて変換可能。	156
	FTP転送	選択、すべて	現在選択している記録メディアのクリップ／静止画をFTPで転送する。選択したクリップ／静止画、またはすべてのクリップ／静止画をまとめて転送可能。	186
静止画*1	CP ファイル付加	**入**、切	入にすると、静止画と一緒にカスタムピクチャーが保存される。	137
ショット消去*2		選択、すべて	現在選択しているSDカードのショットを消去する。選択したショット、またはすべてのショットをまとめて消去可能。	155
ファイル番号*3		オートリセット、**通し番号**	オートリセット：オートリセット。ファイル番号は101-0101またはSDカード内に記録されているMP4クリップ／静止画の続きの番号になる。 通し番号：ファイル番号は最後に記録したMP4クリップ／静止画の続きの番号になる。	114
Custom Function*1	ショックレスWB	入、**切**	入にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。	77
	AEレスポンス	ハイ、**ノーマル**、スロー	AEの応答性を選ぶ。次のEFシネマレンズ装着時を除く。 • CN7×17 KAS S/E1 • CN20×50 IAS H/E1	145
	グリップ電子ダイヤル方向	リバース、**ノーマル**	グリップ電子ダイヤルの操作方向を選ぶ。	72
	電源オフ時のレンズ収納	**入**、切	次のレンズを使用時、レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できる。 • EF40mm F2.8 STM • EF-S 24mm F2.8 STM • EF50mm F1.8 STM	31

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Custom Function*1	フォーカス アシストB&W	両方、 Magnify、 Peaking、 **切**	フォーカスアシスト機能（ピーキング、拡大表示）を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。記録される映像や外部出力には影響しない。 Magnify：拡大表示を使用時に画面をモノクロにする。 Peaking：ピーキングを使用時に画面をモノクロにする。 両方：　拡大表示またはピーキングを使用時に画面をモノクロにする。	86
	Magnification連動	Peaking、 Edge Monitor、 **切**	拡大表示を使用時にピーキングまたはエッジモニターも同時に表示するかを選ぶ。	86
	スキャン リバース記録	両方、 垂直、 水平、 **切**	映像を反転させて記録する。反転のしかたは3種類から選べる。 両方：上下左右反転 垂直：上下反転 水平：左右反転	38
	🔒START/STOP	入、**切**	POWER（電源）スイッチを🔒（キーロック）にしているときにSTART/STOPボタンを有効にするかどうかを設定する。	52
アワーメーター リセット		**Cancel**、OK	ビデオカメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とがある。アワーメーターリセットでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	224
ブラウザーリモート*1		入、**切**	入にすると、ネットワーク機器からのリモート撮影を行う。	181
ブラウザープレビュー *2			ブラウザープレビューが有効になり、ネットワークに接続する。	189
ネットワーク設定	接続設定 新規設定	インフラストラクチャー、カメラアクセスポイント	ネットワークの接続方法を選ぶ。 インフラストラクチャー：アクセスポイントを使用してWi-Fiネットワークに接続する。 カメラアクセスポイント：アクセスポイントのない環境で、ビデオカメラとWi-Fi対応機器を直接接続する。	170
	選択	**No.1** ～ No.5	あらかじめ保存したネットワークの接続設定（No.1 ～ No.5）から、使用する設定を選ぶ。	
	編集	**設定**、名称変更	現在選んでいるネットワークの接続設定を変更する。 設定：選択している接続設定に応じて、SSID、認証方式、IPアドレスなどのネットワーク設定を行う。 名称変更：ネットワークの接続設定の名前を変更する。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
ネットワーク設定	リモート設定	Port No.、 Camera ID	リモート設定を変更する。 Port No.：ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートを起動するときに使用するポート番号を設定する。 Camera ID：ビデオカメラ固有の文字列を設定する。	181
	FTPサーバー設定	—	FTPサーバー名、ユーザー名、パスワード、転送先フォルダー、ポートNo.、通信モードを設定する。	186
	FTP転送設定			186
	日付フォルダー生成	**入**、切	入を選ぶと、FTP転送を行ったときにFTPサーバーに日付フォルダーを作成する。	
	同名ファイル	**スキップ**、上書き	転送先に同じ名前のファイルがあるときの動作を選ぶ。 スキップ：そのファイルを転送しない。 上書き：同名ファイルを上書きする。	
GPS自動時刻設定*1		入、**切**	入にすると、GPSから得られる時刻情報を使って、本機の「日付/時刻」を自動的に設定する。	124
Media初期化	SD A	**完全初期化**、 高速初期化	SD Aスロットに入っているSDカードを初期化する。	44
	SD B	**完全初期化**、 高速初期化	SD Bスロットに入っているSDカードを初期化する。	
認証マーク表示		—	本機が対応している認証マークの一部を表示する	—
Lens Firmware*1		バージョン番号	本機に装着したEFレンズのファームウェアの更新を行う。	33
Firmware*1		バージョン番号	ファームウェアのバージョン。	—

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。画面によっては表示されないことがある。
*3 メディアモードでは、画面によっては表示されないことがある。

★ マイメニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
編集	登録	**Cancel**、OK	任意のメニュー項目を登録する。	28
	並べ換え	**Cancel**、OK	マイメニュー内で、選択したメニュー項目を並べ換える。	29
	消去	**Cancel**、OK	マイメニュー内の選択したメニュー項目を消去する。	29
	設定初期化	**Cancel**、OK	マイメニュー内のすべてのメニュー項目を消去する。	29

MEMO

10 その他

ステータス画面を表示する.....220
トラブルシューティング.....229
エラーメッセージ.....236
安全上のご注意.....241
取り扱い上のご注意.....243
日常のお手入れ.....248
アクセサリー紹介.....249
主な仕様.....250
索引.....257
保証書と修理対応.....267

ステータス画面を表示する

撮影や再生に関する様々な設定内容や状態をステータス画面に表示して確認することができます。ステータス画面は、外部モニター（📖 162）に出力することもできます。次にあげるステータス画面を表示することができます。なお、ステータス画面ではすべて英語で表示されます。

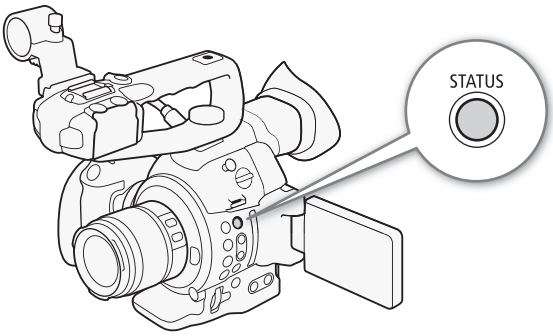
ステータス画面の名称	表示内容	動作モード		📖
		カメラ	メディア	
カメラ	ISO感度／ゲイン、アイリス、周辺光量補正などの撮影設定とレンズ型名情報。2つの画面からなる。	●	–	221
アサインボタン	アサインボタン設定。2つの画面からなる。	●	●	222
オーディオ	オーディオ設定。	●	●*	222
メディア	SDカードの状態。	●	●	223
ビデオ	ビデオ出力端子の設定や特殊記録の設定。	●	●	224
バッテリー／使用時間	バッテリーの残量・寿命や本体の使用時間。	●	●	224
カスタムピクチャー	カスタムピクチャーの設定。3つの画面からなる。	●	–	225
ネットワーク設定	ネットワークの設定。9つの画面からなる。	●	●	226
GPS情報表示	GPSから取得した情報。GPSレシーバー GP-E2（別売）接続時のみ。	●	–	228

* メディアモードの静止画インデックス画面以外。

操作のしかた

ここでは、ステータス画面の表示のしかた、確認したい画面への切り換えかた、ステータス画面の消しかたを説明します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

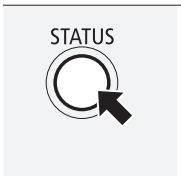


1 STATUS（ステータス）ボタンを押す

- ステータス画面が表示される。
- 最後にステータス画面を消したときの画面が表示される。

2 ジョイスティックを上下に押す

- 下に押すと次の画面に、上に押すと前の画面に、ステータス画面が切り換わる。



3 STATUS（ステータス）ボタンを押す

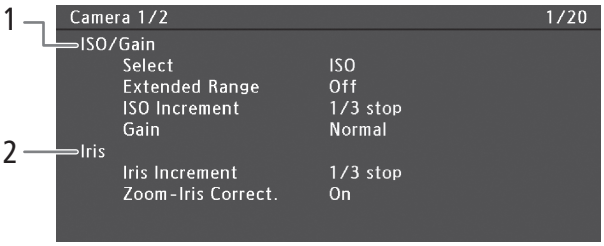
- ステータス画面が消える。
- MENU（メニュー）ボタンやCUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押しても、ステータス画面が消え、押したボタンに応じたメニューが表示される。

カメラステータス画面

ゲイン、ホワイトバランス、フォーカスなどの撮影設定を表示します。

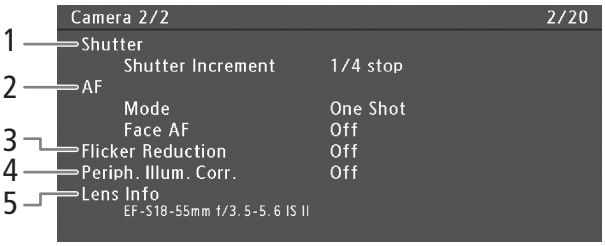
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

カメラステータス画面1



1 ISO感度／ゲイン ▸▸ 📖 67
2 アイリス ▸▸ 📖 71

カメラステータス画面2

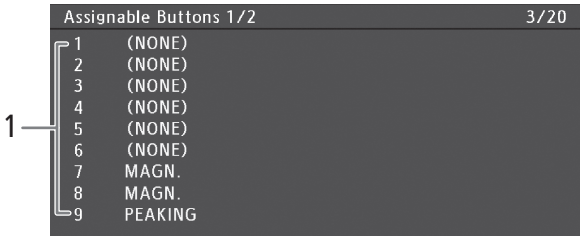


1 シャッタースピード ▸▸ 📖 62
2 AFモード ▸▸ 📖 83
3 フリッカー低減 ▸▸ 📖 66
4 周辺光量補正 ▸▸ 📖 32
5 レンズ型名情報

アサインボタンステータス画面

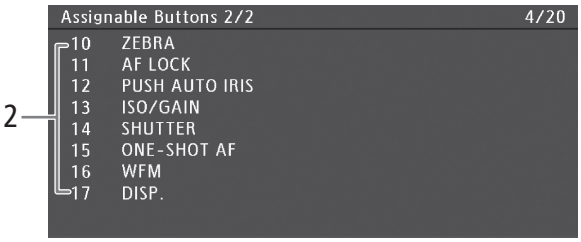
アサインボタンに割り当てられている機能の一覧を表示します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



1 アサインボタン1 ～ 9 ▶▶ 📖 128

* アサインボタン1 ～ 6は、カメラモードのみ。

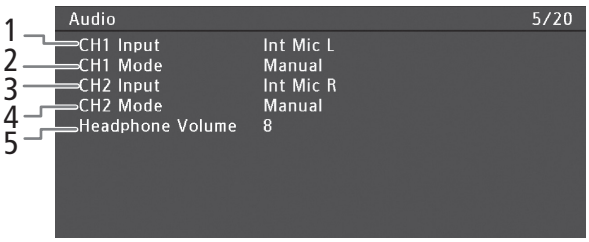


2 アサインボタン10 ～ 17 ▶▶ 📖 128

オーディオステータス画面

音声の記録、入出力などオーディオ関係の設定内容を表示します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



1 CH1音声入力 ▶▶ 📖 103

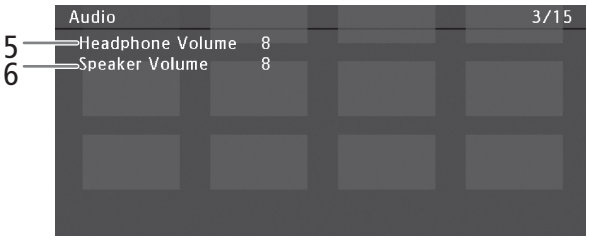
2 CH1録音レベル ▶▶ 📖 103

3 CH2音声入力 ▶▶ 📖 103

4 CH2録音レベル ▶▶ 📖 103

5 ヘッドホンボリューム ▶▶ 📖 109

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

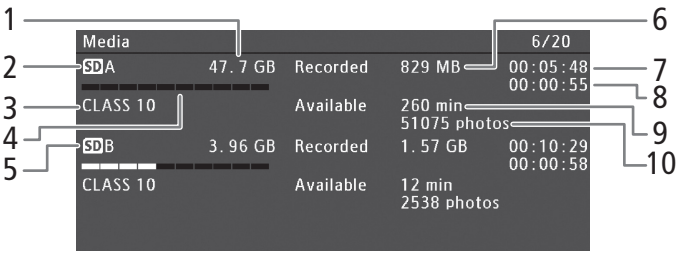


5 ヘッドホンボリューム ▶▶ 📖 109
6 スピーカーボリューム ▶▶ 📖 152

メディアステータス画面

SDカードスロットの状態を表示します（📖 43）。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



1 総容量
2 カードA
3 スピードクラス
4 使用量の目安
5 カードB
6 使用量
7 クリップの総記録時間*1
8 ショットの総記録時間*1
9 記録可能時間*2
10 静止画記録可能枚数

*1 常時記録モード中のみ。
*2 メディアモード時は確認できません。

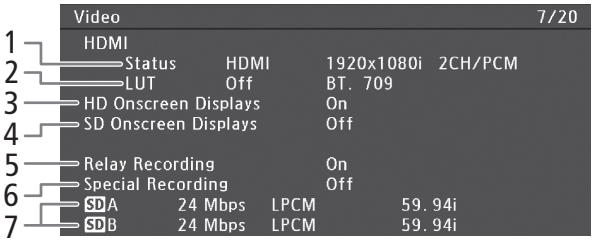
MEMO

- SDカードによっては、SDカードの総容量が、SDカードに記載の容量より少なく表示されることがあります。
- 「リレー記録」や「ダブルスロット記録」が「切」のときやメディアモード時は、選択中のSDカードの状態が表示されます。

ビデオステータス画面

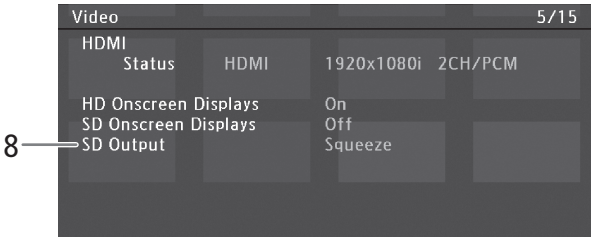
ビデオ出力端子の設定内容を表示します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



1 HDMI OUT端子の出力状態 ▶▶ 📖 163
2 HDMI OUT端子のLUT適用状態 ▶▶ 📖 163
3 HDオンスクリーン表示 ▶▶ 📖 165
4 SDオンスクリーン表示 ▶▶ 📖 165
5 リレー記録 ▶▶ 📖 46
6 特殊記録 ▶▶ 📖 115
7 カードA/B　記録信号形式 ▶▶ 📖 59

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

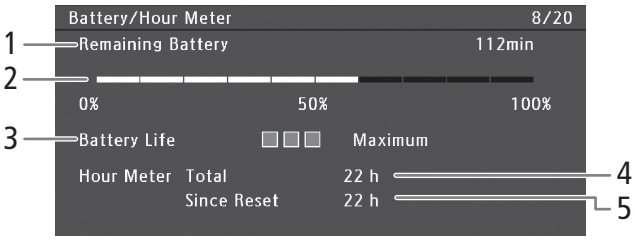


8 SD出力の表示方式 ▶▶ 📖 164

バッテリー／使用時間ステータス画面

バッテリーの残量や寿命を表示します。また、本体のご購入時からの使用時間と、最後にリセットしたときからの使用時間を表示します。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



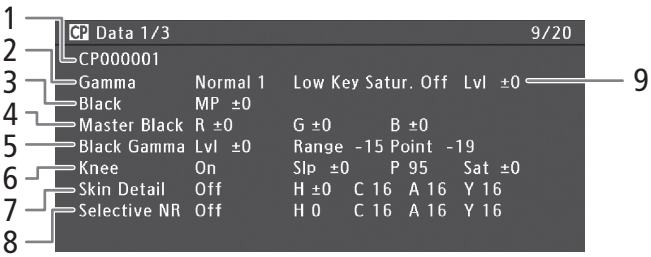
1 撮影可能時間 ▶▶ 📖 255
2 バッテリーの残量 ▶▶ 📖 22
3 バッテリーの寿命
4 購入時からの使用時間 ▶▶ 📖 216
5 リセット後の使用時間 ▶▶ 📖 216

カスタムピクチャーステータス画面

現在選択しているカスタムピクチャーファイルの設定内容を表示します。

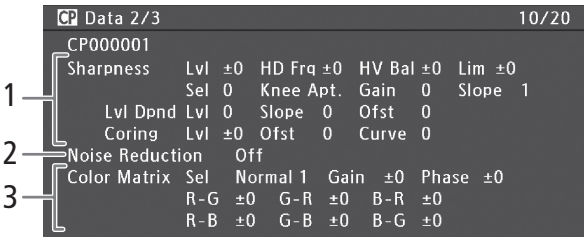
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

カスタムピクチャー 1画面の表示内容



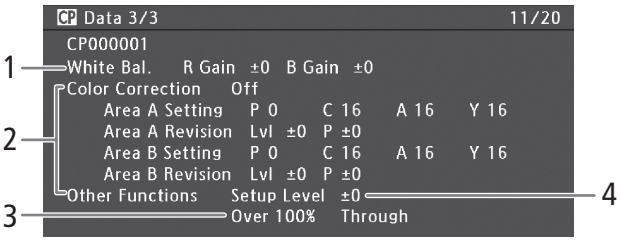
1 カスタムピクチャーファイル名 ▶▶ 📖 137
2 ガンマ ▶▶ 📖 138
3 ブラック ▶▶ 📖 138
4 マスターブラック ▶▶ 📖 138
5 ブラックガンマ ▶▶ 📖 139
6 ニー ▶▶ 📖 139
7 スキンディテール ▶▶ 📖 140
8 セレクティブノイズリダクション ▶▶ 📖 141
9 ローキーサチュレーション ▶▶ 📖 139

カスタムピクチャー 2画面の表示内容



1 シャープネス ▶▶ 📖 140
2 ノイズリダクション ▶▶ 📖 140
3 カラーマトリックス ▶▶ 📖 141

カスタムピクチャー 3画面の表示内容



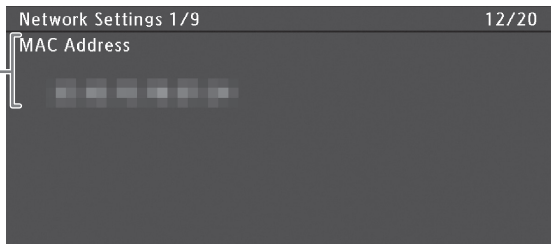
1 ホワイトバランス ▶▶ 📖 141
2 カラーコレクション ▶▶ 📖 142
3 オーバー 100 % ▶▶ 📖 142
4 セットアップレベル ▶▶ 📖 142

ネットワーク設定ステータス画面

ネットワーク関係の設定内容を表示します。

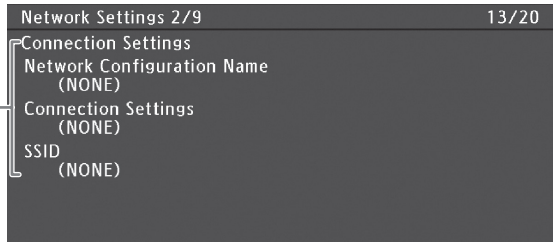
CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4

1



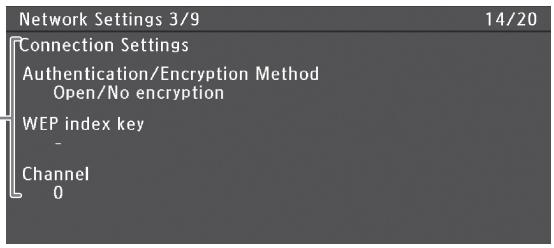
1 MACアドレス

2



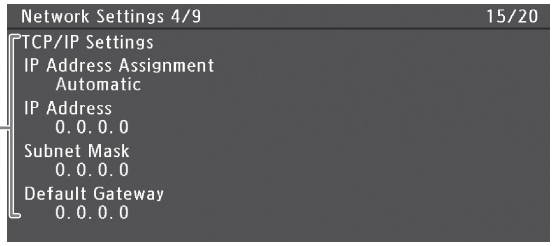
2 接続設定 ▶▶ 📖 170
ネットワーク設定名
接続方法
SSID

3



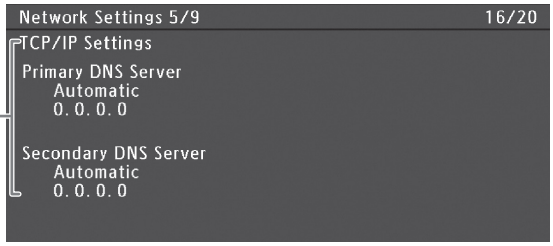
3 接続設定 ▶▶ 📖 170
認証／暗号化方式
WEPインデックス暗号化キー
カメラアクセスポイントのチャンネル

4



4 TCP/IP設定 ▶▶ 📖 177
IPアドレスの取得方法
IPアドレス
サブネットマスク
デフォルトゲートウェイ

5

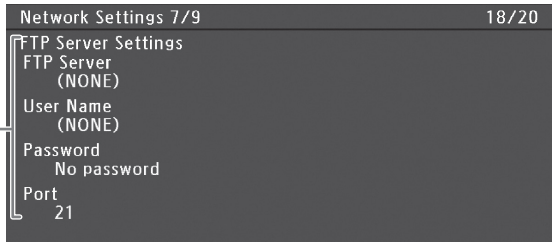


5 TCP/IP設定 ▶▶ 📖 177
優先DNSサーバー
（設定方法、IPアドレス）
代替DNSサーバー
（設定方法、IPアドレス）

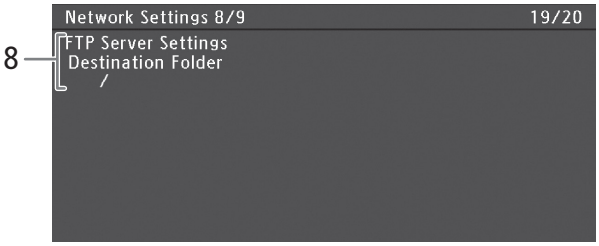
6

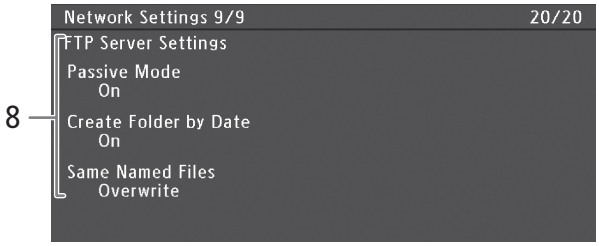
6 リモート設定 ▶▶ 📖 181
ポート番号
カメラID

7



7 FTPサーバー設定 ▶▶ 📖 186
FTPサーバー名
ユーザー名
パスワード設定の有無
ポート



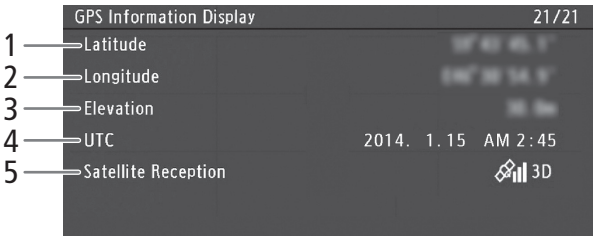


8 FTPサーバー設定 ▶▶ 📖 186
転送先フォルダー
パッシブモード
日付フォルダー生成
同名ファイル

GPS情報表示ステータス画面

GPSレシーバー GP-E2（別売）を接続しているときは、GPSから取得した位置情報などを表示することができます（ 📖 123）。

CAMERA | MEDIA | AVCHD | MP4



1 経度
2 緯度
3 標高
4 協定世界時（UTC）
5 衛星捕捉状態、信号強度

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、キヤノンお客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
起動直後に電源が自動的に切れる。	● 本機で使用できないバッテリーを取り付けた。本機に対応するバッテリーに交換する。	249
バッテリーが充電できない。	● バッテリーの温度が0 ℃未満になったかまたは40 ℃を超えている。0 ℃未満のときはバッテリーを温めてから、40 ℃を超えたときは放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0 ℃～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	20
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命の可能性がある。バッテリーステータス画面でバッテリーの寿命を確認し、寿命がないときは、新しいバッテリーを購入する。	224

撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
ビデオカメラ本体の操作が利かない。	● グリップ接続プラグの接続が十分でない。グリップを取り付けるときは、接続プラグが奥までしっかり差し込まれていることを確認する。グリップの角度を変えるときは、接続プラグがしっかり接続されていることを確認する。 ● POWER（電源）スイッチを🔒（キーロック）にしていると、START/STOPボタン以外は操作できない*。POWER（電源）スイッチをCAMERAにする。 * その他機能メニュー ➤「Custom Function」➤「🔒 START/STOP」を「入」にしていると、START/STOPボタンも無効になる。	36 51
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● ハンドルユニットのロックレバーが🔒側になっていると、ハンドルユニットのSTART/STOPボタンを押すことができない。ロックを解除する。 ● リモートコントローラー RC-V100（別売）を操作中は、記録を開始／停止できないことがある。RC-V100の操作を中断してから、START/STOPボタンを押す。	52 —
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始／終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● オートフォーカスでフォーカスを調整するとき、被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● ファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズが汚れているのでお手入れする。	83 37 248

こんなときは	どうするの？	📖
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
画面に赤、緑、青の輝点が出る。	● 高度な精密技術で作られている撮像素子（CMOSセンサー）が、宇宙線などの影響を受けると、まれに画面上に小さな輝点（赤、緑、青）ができることがある。これは、撮像素子の原理によるもので、故障ではない。ブラックバランス調整を行うと改善することがある。なお、次の場合は画面上に生じる輝点が見えやすくなる。 • 高温の場所で使用するとき。 • ISO感度／ゲインが高いとき。 • シャッタースピードのモードがスローのとき。	48
画面に通常出ない映像が出て、動画を正しく記録できない。	● 消耗したバッテリーを装着し、ACアダプターをつないで動画記録中にACアダプターが抜かれた。または、停電した。ACアダプターを再度つないで本機の電源を入れ直すか、十分に充電したバッテリーと交換する。	21 23
動画の「● REC」／「STBY」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のSDカードと入れ換えるか、クリップをバックアップしてSDカードを初期化する。	43 168 44
動画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。SDカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、SDカードを初期化する。	168 44
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。キヤノンお客様相談センターにご相談ください。	裏表紙

再生中

こんなときは	どうするの？	📖
クリップまたは静止画の消去ができない。	● 他機でプロテクトされたクリップや静止画は本機では消去できない。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	43
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップをバックアップしてSDカードを初期化する。	168 44
クリップをコピーできない。	● コピー先となるSDカードの空き容量が足りないか、または記録可能なAVCHDクリップ数（3999個）を超えた。SDカードの不要なクリップを消すか、別のSDカードと入れ換える。	155 43
クリップまたは静止画を選択できない。	● クリップや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく「すべて」を使う。	153 196

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面に（赤色）が出る。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
画面に が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● その他機能メニュー ➤「タリーランプ」で、「前部」または「後部」を「入」にする。	213
タリーランプが速く点滅する。	（1秒に4回の点滅）	
	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	20
	● SDカードAとSDカードBに空き容量がない。別のSDカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。	43 155
	● システムエラーが発生している。電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。キヤノンお客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
タリーランプがゆっくり点滅する。	（1秒に1回の点滅）	
	● SDカードAとSDカードBを合わせた空き容量が少なくなっている。	43
画面に（赤色）が出る。	● SDカードエラー。SDカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、クリップや静止画をバックアップしてSDカードを初期化する。	43 44
撮影を中断してもアクセスランプが赤く点灯している。	● 撮影したクリップをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
画面で が点滅し続ける。	● メディアモードでGPSレシーバー GP-E2（別売）を接続した。GP-E2を取り外し、カメラモードで接続する。	123
画面に （黄色）が出る。	● 本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	—
画面に （赤色）が出る。	● 画面に （黄色）が出ている状態で、さらに内部温度が高くなった。その他機能メニュー ➤「ファン」が「Automatic」の場合は、自動的にファンが起動する（画面に FAN が出る）。	57
画面に LENS が出る。	● レンズと正常に通信できない。	236

画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
有機ELモニターの画面が暗い。	● OLED/VF設定メニュー ➤「OLED設定」の「明るさ」で調整する。一時的に明るくするときは、「輝度アップ」で明るくすることもできる。	39
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、その他機能メニュー ➤「リセット」➤「全設定」を行う。 Hour Meter（リセット後の使用時間）を除く本機の設定が初期状態に戻る。	20 211
画面にノイズが出る。	● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い時期や電波が発生する場所から離れて本機を使用する。	—
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。カメラ設定メニューの「フリッカー低減」を「Automatic」にするか、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50 Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60 Hzのときは1/60秒または1/120秒を設定する。 * フレームレートによっては選択できない。	62
音声が記録されない。	● AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチが正しく切り換えられていない。 ● XLR端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、XLR端子切り換えスイッチを「MIC＋48V」に切り換えていない。 ● MIC端子に接続している外部マイクの電源が入っていないか、または電池が切れている。	— 106 —
音声が極端に小さい。	● AUDIO（録音レベル）切り換えスイッチを「M（マニュアル）」にしていて、録音レベルをしぼっている。または、MIC（マイク）端子使用時、♪))オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」の「MICモード」を「Manual」に設定していて、「MIC Level」（録音レベル）の値が小さすぎる。画面のオーディオレベルメータで確認しながら適正なレベルに調整する。 ● 内蔵マイク／外部マイクのアッテネーターを「入」にしている。アッテネーターを「切」にする。	107 105 108
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。内蔵マイク／外部マイクのアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。	105 108 107
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ヘッドホンをはずす。	152 —

アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
SDカードが入らない。	● SDカードを正しい向きで入れる。	43
SDカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。SDカードに記録されている動画や静止画をバックアップしたあと、SDカードを完全初期化する。	44
リモートコントローラー RC-V100（別売）または市販のリモコンが動作しない。	● その他機能メニュー ➤「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100」に、市販のリモコンのときは「Standard」に設定する。	125
	● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。	—
	● カメラ設定メニュー ➤「CP CINEMA固定」が「入」か、またはカスタムピクチャーファイルを選んでいないと、RC-V100からカスタムピクチャーの設定を調整できない。「CP CINEMA固定」を「切」にして、カスタムピクチャーファイル（C1 ～ C6のいずれか）を選ぶ。	131
	● プロテクトしているカスタムピクチャーを選んでいるときは、プロテクトを解除する。	135

他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからACアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。	162
	● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	—
HDMIケーブルで接続しているとき、外部モニターに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。 ● AVCHD ／ MP4 ／ショットリストインデックス画面を表示中にUSB接続を行う。	—

■ ネットワーク接続

ネットワーク接続に関するトラブルについては、ここで説明する内容をご確認ください。お使いのネットワーク機器の説明書も併せてご覧ください。

はじめに確認してください

□ アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器と本機の電源は入っていますか？
□ ネットワークの設定が完了し、正しく動作していますか？
□ パソコンなどのネットワーク機器は、本機と同じネットワークに正しく接続していますか？
□ 本機をアクセスポイントまたはパソコンなどWi-Fi対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイントに接続できない。	● Wi-Fi接続をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、本機からアクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。	—
	● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、暗号化キーとパスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。	170
	● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	235
Wi-Fiのカメラアクセスポイントで、本機に接続できない。	● 本機の全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。再度、設定を行う。	170
	● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	235
ブラウザープレビューが起動できない。	● その他機能メニュー ➤「ブラウザープレビュー」でブラウザープレビューを有効にする。	189
	● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機の画面に表示されているURLを入力する。	189
	● SDカードカバーが開いているか、SDカードが入っていない。動画／静止画が記録されたSDカードを入れ、カバーを閉める。	43
ブラウザーリモートが起動できない。	● その他機能メニュー ➤「ブラウザーリモート」でブラウザーリモートを有効にする。	182
	● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機のNetwork Settings 4/9で本機のIPアドレスを確認し、URLに入力する。	226
ネットワーク機器のWebブラウザーで、ブラウザーリモートまたはブラウザープレビューの画面が正しく表示されない。	● ブラウザーリモート／ブラウザープレビューが対応していないOSやWebブラウザーを使用した。キヤノンのホームページで動作環境を確認する。	—
	● Webブラウザーの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。	—
Wi-Fi対応機器のブラウザープレビュー画面で、動画がスムーズに再生されない。	● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	235
	● 通信状態によっては、動画がスムーズに再生されないことがある。	—

Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、Wi-Fi接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。Wi-Fiを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

アクセスポイントの設置場所について

- Wi-Fiを室内で使用するときは、本機を使用する部屋に設置してください。
- 本機との間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- 本機にできるだけ近付けて設置してください。特に、雨天の屋外で使用すると、電波が雨に吸収されて接続が途切れることがあります。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nの無線LANでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- 本機と同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼動していると、通信速度が遅くなります。

本機やアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントにC100 Mark IIを2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n（2.4 GHz帯）のアクセスポイントを複数台使用するときは、電波干渉を少なくするため、無線LAN のチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11a/nが使用可能なときは、IEEE 802.11a/nに切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。ネットワーク機能使用時のメッセージについては239ページをご覧ください。なお、メッセージの冒頭に SD A、SD Bなどが表示されることがあります。これはエラーが発生したカードを表わします。

メッセージ	原因と対処	📖
空き容量がありません	● SDカードに空き容量がない。別のSDカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。	43 155
空き容量がわずかです	● SDカードの空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのSDカードを別のSDカードと入れ換える。	43
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOOK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	43
カードを確認してください	● 対応しているSDカードを確認する。	42
カバーがあいています	● カメラモードに切り換えたときに、SDカードカバーが開いていた。SDカードを入れたらSDカードカバーを閉じる。	43
画像がありません	● SDカードに静止画が記録されていない。静止画を記録してから再生する。	192
カメラとレンズの通信不良です レンズの接点を清掃してください	● レンズ接点が汚れているので、本機とレンズが通信できない。レンズ接点をお手入れする。画面に LENS アイコンが表示される。	—
記録できません	● 管理情報が壊れた*か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてSDカードを出し入れするか、別のSDカードと入れ換える。それでも解決しないときは、キヤノンお客様相談センターにご相談ください。	43 裏表紙
記録を中止しました		
クリップがありません	● SDカードにクリップが記録されていない。クリップを記録してから再生する。	50
クリップ数がいっぱいです	● 記録中のSDカードがAVCHDクリップ数の上限（3999個）に達した。もう一方のスロットに切り換えるか、別のSDカードと入れ換える。 ● ダブルスロット記録時に、両SDカードのクリップ数がいっぱいで記録できない。	45 43
クリップ内のショット数がいっぱいです	● 1つの常時記録クリップ内のショット数が上限（950個）に達した。常時記録自体は継続する。常時記録を一度終了し、再び開始する。	118
グリップの接続を確認してください	● グリップが正しく取り付けられていない可能性がある。グリップの接続を確認する。	36
このカードでは動画記録できないことがあります	● スピードクラスに対応していないSDカードまたはスピードクラス2または4のSDカードを入れた。SDスピードクラス、6または10のカードを使用する。	42
このカードは動画記録できません	● 64MB以下のSDカードは動画の記録・再生ができない。推奨のSDカードを入れる。	42
このクリップは修復が必要です 修復しますか？	● 記録中に停電したなどMP4クリップの情報に不具合があるため、修復を行う必要がある。修復を行うときは、「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。	47
このクリップは修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、修復が行えない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	43
修復できませんでした	● SDカードA（SDカードB）を修復できなかった。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、SDカードを初期化する。	168 44
ショット数がいっぱいです	● 1枚のSDカードに記録できるショット数の上限（3999個）に達した。2枚のSDカード使用時は、両方ともショットを記録できなくなる。別のSDカードと入れ換える。	43

* 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したSDカード／クリップを、付属のソフトウェアData Import Utilityで読み込むことはできません。

メッセージ	原因と対処	📖
常時記録できません	● SDカード内に記録できる常時記録クリップの上限（200個）に達した。別のSDカードと入れ換える。	43
使用中のレンズにこの機能が対応していません	● 選択中の機能がレンズに対応していないため、この機能を使用できない。	71 83
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● 管理情報が壊れた*か、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてSDカードを出し入れする。それでも解決しないときは、キヤノンお客様相談センターにご相談ください。	43 裏表紙
操作は無効です	● 次にあげる無効な操作を行った。 • 「プレ記録」で撮影した直後にレックレビューを行おうとした。 • SDカードが入っていないときに、START/STOPボタンを押した。	—
バッテリー情報を取得できません	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリーを取り付けていないときは、バッテリー情報を表示できない。	—
バッテリー情報を取得できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリー以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリーを使用しているときは、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。キヤノンお客様相談センターにご相談ください。	— 裏表紙
バッテリーパックを取り換えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	20
バッファオーバーです 記録を中止しました	● SDカードの書き込み速度が遅いため、SDカードの記録を中断した。推奨のSDカードを入れる。	42
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。「ファイル番号」を「オートリセット」にしてSDカードを初期化するか、MP4クリップや静止画をすべて消す。	44 155 198 114
ファンエラー	● ファンが回転していない。冷却ファンが故障した可能性がある。キヤノンお客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
プレ記録を解除しました 再設定しますか？	● プレ記録を「入」にして、プレ記録撮影一時停止の状態で約1時間経過したため、プレ記録を解除した。「On」を選ぶと、再度プレ記録一時停止状態になる。	115
プレ記録をまもなく解除します	● プレ記録を「入」にして、プレ記録撮影一時停止の状態で約1時間経過したため、約1分後にプレ記録を解除する。	115
レンズエラー 電源を入れなおしてください	● 本機とレンズの通信エラーが発生した。本機の電源を入れ直す。	—
50.00 Hz（59.94 Hz）で記録されています SD A（SD B）のデータの確認と初期化をお勧めします	● SDカードA（SDカードB）内のクリップが50.00 Hz（59.94 Hz）で記録されている。このSDカードに記録するときは、SDカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、SDカードを初期化する。このSDカードを再生するときは、本機の設定を50.00 Hz（59.94 Hz）に変更する。	168 44 59

メッセージ	原因と対処	📖
Lens firmware update ファームウェアのアップデートに失敗しました 再度アップデートを行ってください	● レンズのファームウェアの更新が正常に終了しなかった。再度アップデートを行う。	33
SDスロット切り換えできません	● 撮影中など、SDカードスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押した。撮影終了後にSDカードスロットを切り換える。	45
1クリップの記録上限です 記録を停止しました	● 1つのクリップ中に記録できる映像ファイルの数*が上限に達したため、記録を停止した。 * 記録中、映像ファイルのサイズが4 GBに達すると自動的に新しいファイルに記録し、最大50個まで記録できる。	—
SD A(SD B)は修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● SDカードA(SDカードB)に記録中に電源が切れた後、SDカードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	43
SD A→SD B(SD B→SD A) 切り換えました	● リレー記録またはスロット切り換え操作 (SLOT SELECTボタンを押す)により、記録先がSDカードAからSDカードB(SDカードBからSDカードA)に切り換わった。	—
SD A(SD B) (SD A / SD B)にアクセス中です 取り出さないでください	● SDカードにアクセス中に、SDカードカバーをあけた。SDカードカバーを閉める。	43
SD A(SD B)のデータの確認と初期化をお勧めします	● はじめて使用するときは、SDカードを本機で初期化する。 ● 次の理由によりSDカードA(SDカードB)を使用できない。SDカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、SDカードを初期化する。 • SDカードに異常があるため、記録・再生できない。 • SDカードの情報が取得できない。 • パソコンなど他の機器で初期化されている。 • SDカード内にパーティションが設定されている。	168 44
SD A(SD B)は修復が必要です 修復しますか？	● 記録中に停電したなどSDカード内の情報に不具合があるため、修復を行う必要がある。修復を行うときは、「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。	47
SD A→SD B(SD B→SD A) まもなく切り換えます	● SDカードA(SDカードB)の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1分後に記録先スロットが切り換わる。	—
SD A(SD B)カードを確認してください	● SDカードにアクセスできない。SDカードが正しく入っているか、不具合がないか確認する。 ● SDカードにエラーがあり、記録や再生ができない。SDカードを出し入れするか、別のSDカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のSDカードを入れる。 ● メッセージが4秒後に消えて、SDカードAまたはSDカードBのアクセスランプが赤く点灯するときは、電源を切り、SDカードを出し入れする。SDカードAまたはSDカードBのアクセスランプが緑に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	43 43 42 168 44

■ ネットワーク機能使用時

インフラストラクチャーの場合は、お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も併せてご覧ください。

メッセージ	原因と対処	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	● アクセスポイント検索を実行したが見つからなかった。アクセスポイントが正常に動作しているか確認して、もう一度接続を行う。	—
	● アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、見つからない。ステルス機能を無効にする。	—
	● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。ビデオカメラのNetwork Settings 1/9ステータス画面で本機のMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。	226
カードカバーが開いたためネットワーク機能を停止します。	● ネットワーク機能がカードにアクセス中に、カードカバーが開けられた。ネットワーク機能を中止し、ネットワーク接続を切断する。	—
接続できませんでした	● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった。	—
	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	247
転送するファイルがありません	● 転送対象のファイルはすべて転送済みである。	—
ネットワーク機能が正しく動作していません	● ネットワーク機能にハードウェアエラーが発生した。本機の電源を入れ直す。それでも解決しないときは、キヤノンお客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
ネットワーク接続が切れました	● ネットワーク接続中に、接続先のアクセスポイントまたはパソコンなどのネットワーク機器に異常が発生した。接続先を確認して、もう一度、接続を行う。	—
	● 通信状態が悪くなったため無線ネットワークの接続が切断された。しばらく待つか、周囲にある電子機器を停止する。またはそれらから離れて、もう一度接続する。	247
ネットワーク設定を確認してください	● ネットワークに接続できない。ネットワークの接続設定を確認する。	226
ファイル転送は完了していません	● 前回使用時、FTPファイル転送中に電源が切られた。もう一度ファイル転送を行う。	186
複数のアクセスポイントが検出されました　もう一度操作してください	● 他のWi-Fi機器がWPS のプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	173
ワイヤレスマイクロホン接続中はWi-Fiを使用できません	● 本機にワイヤレスマイクロホンWM-V1を接続していると、Wi-Fi機能を同時に使用できない。本機からWM-V1を取り外し、WM-V1の電源を切る。	—
FTPサーバーが見つかりません	● FTPサーバーが見つからなかった。本機のFTPサーバー設定を確認する。	226
FTPサーバーにファイルを転送できません	● FTPサーバーにファイルを転送できなかった。FTPサーバーの記憶装置（ハードディスクなど）に空き容量があるか確認する。	—
FTPサーバーにフォルダーを生成できません	● FTPサーバーにフォルダーを作成できなかった。FTPサーバーのアクセス権限を確認する。	—
FTPサーバーにログインできません	● FTPサーバーにログインできなかった。本機のFTPサーバー設定の「ユーザー名」と「パスワード」を確認する。	227
FTP通信中にエラーが発生しました ファイル転送は完了していません	● FTPファイル転送中に、通信エラーが発生した。ネットワーク機器と本機の電源を入れ直し、再度FTP転送を行う。	—
IP アドレスが重複しています	● 本機と同じIPアドレスの機器が、同一ネットワーク内にあった。IPアドレスが重複している他機、または本機のIPアドレスを変更する。	179

メッセージ	原因と対処	📖
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「手動設定」で行い、IP アドレスを「Manual」で設定する。	175
	● DHCP サーバーを確認する。 ・DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。	—
	● DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」に設定する。	177
	● 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。	179
	● DNS サーバーを確認する。 ・DNS サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・DNS サーバーにIP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。	—
	● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	177
Mediaを確認してください	● FTPファイル転送中にSDカードエラーが発生した。転送元のSDカードを確認し、再度FTP転送を行う。	—
Wi-Fiの暗号化キーが違います	● 認証方式に「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選んだとき、または暗号化方式にWEPを選択したときに、入力した暗号化キー（WEPキー）の文字数／桁数が正しくない。英数字で入力するときは、5文字（64bit時）または13文字（128bit時）で、16進数で入力するときは、10桁（64bit時）または26桁（128bit時）で入力する。	174
Wi-Fi の暗号方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	170
Wi-Fi の認証ができませんでした	● アクセスポイントへの認証ができなかった。アクセスポイントの認証／暗号化方式を確認して、本機のWi-Fi設定をやり直す。	170
Wi-Fi の認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	170
WPSで接続できませんでした	● アクセスポイントの暗号化方式がWEPに設定されている。WPSで接続する場合、暗号化方式がWEPのアクセスポイントには接続できない。アクセスポイントの暗号化方式を変更するか、WPS以外の接続方法で接続する。	170
WPSで接続できませんでした もう一度操作してください	● WPS起動後に2分経過したため、アクセスポイントに接続できなかった。もう一度、WPS接続を行う。	—
	● WPS（プッシュボタン方式）で接続するときは、あらかじめアクセスポイントの説明書をご覧になり、アクセスポイントがWPS起動状態になるまで、WPSのボタンを押してください。	—

ネットワーク機器の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因と対処	📖
A User is already accessing the server. Try again later.　[Retry]	● 他のネットワーク機器が、すでにビデオカメラに接続している。他機の接続を解除してから「Retry」をタッチする。	—

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

▶ **バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、キヤノンお客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

⚠ 警告　死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。
➤ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。
➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災 感電 やけど
降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。
➤ 皮膚の損傷 失明 発火
液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。
➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。
➤ 火災 やけど けが
ストラップ使用時は特に注意する。有機ELモニターやレンズは割れるとけがの原因。

禁止

電源コードについて次のことを守る。
➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

バッテリーを熱しない、火中投入しない。
➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。
➤ やけど けが
ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。

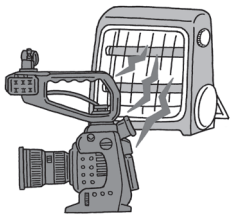
充電中、長時間にわたる接触をしない。
➤ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。 ➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。
➤ 火災 感電 やけど
内部にほこりや水などが入るおそれあり。

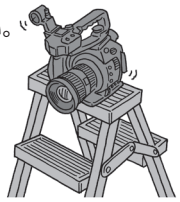
禁止

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。
➤ 火災 やけど けが
発熱や破裂のおそれあり。



運転中に使用しない。➤ 交通事故

不安定な場所に置かない。
➤ けが
落下、転倒のおそれあり。



乳幼児の手の届くところに置かない。
➤ 感電 けが

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。
➤ 火災
内部に熱がこもるおそれあり。

レンズ単体で太陽や強い光源を直接見ない。
➤ 失明 視力障害

禁止

日光の下でレンズキャップを付けずにレンズを放置しない。➤ 火災
太陽の光が焦点を結ぶおそれあり。

強制

病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しない。➤ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

航空機内で使用しない。➤ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
➤ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。➤ 火災 感電

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。➤ 火災

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。➤ けが 交通事故

⚠ 注意　傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。

禁止

使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は使用しない。➤ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となることがある。

強制

コード類は、つまずかないように配置する。
➤ けが
足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下するおそれあり。

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

強制

バッテリーやレンズなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。➤ けが

心臓ペースメーカーを装着している場合は、装着部位より22cm程度以上離して使用する。
電波により機器類の動作に影響をあたえるおそれあり。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

ビデオカメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズを外して、必ずボディキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにキヤノンお客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

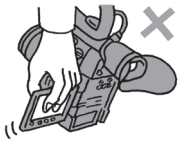
強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやファインダーを向けない

カメラやファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはファインダーに直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズを外して、ボディキャップを取り付けてください。

有機ELモニターの画面を...

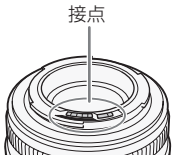


つかんでもちあげない ➔ 有機ELモニターの接合部が破損することがあります。
無理に閉じない ➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

カメラのレンズ接点に手で触れない

接触不良や腐食の原因になることがあります。接点が腐食するとビデオカメラが正しく動作しなくなることがあります。

レンズを取り外したときは・・・



接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。

Wi-Fi機能について

本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

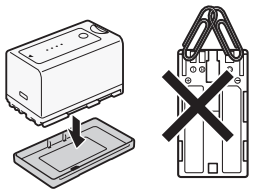
バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

保管するときは端子カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず端子カバーを取り付けてください（図A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（図B）。



（図A）　（図B）

正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

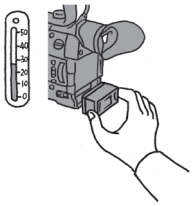
インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～ 30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき



- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電済みバッテリーの見分けかた

ショート防止用端子カバーには▭の穴があり、バッテリーに取り付けるときの向きによって▭の穴から見える色が異なります。これを利用して端子カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。

海外で使用するときは

海外でも付属のバッテリーチャージャーやACアダプター（AC100 ～ 240 V 50/60 Hzまでの電源に対応）を使用できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- バッテリーチャージャーやACアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

SDカード

データはバックアップする

ビデオカメラ本体／ SDカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

SDカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

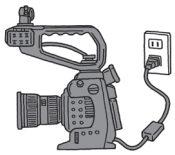
落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源を切る
② ACアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ

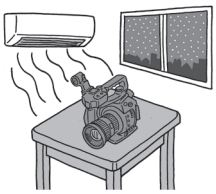


その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

SDカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度SDカードの完全初期化（📖 44）を行った後、本機にボディキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について



室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機やEFレンズが結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、SDカードを取り出して、本機やEFレンズをビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

- 本製品のWi-Fi機能は国内でのみ使用いただけます。国外ではご使用になれません。
- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。

2.4 DS/OF 4　この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器（コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして電波干渉を避けて使用してください。

次の事項を行うと、法律で罰せられます。

本製品を分解、改造すること。本製品上の証明ラベルをはがすこと。

医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないで下さい。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

36-64チャンネルは、電波法により屋外での使用が禁止されています。

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。

Li-ion

○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ　http://www.jbrc.com

○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。

○ 被覆をはがさないでください。

○ 分解しないでください。

日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

ビデオカメラ本体を清掃する

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

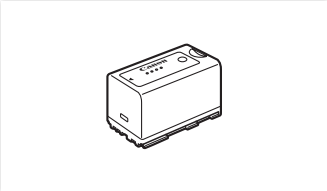
レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブロアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

有機ELモニターについて

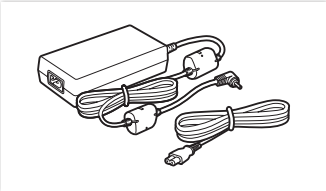
- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、有機ELモニターの画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

アクセサリー紹介

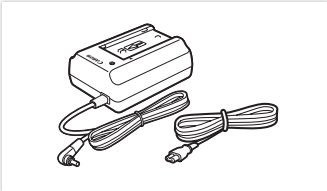
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、**キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします**。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、**弊社では一切責任を負いかねます**。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、**保証の対象外となり有償**とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



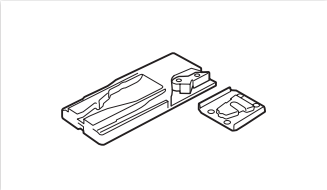
バッテリーパック
BP-955*1



ACアダプター
CA-946

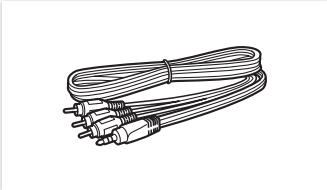


ACアダプター
CA-935*2

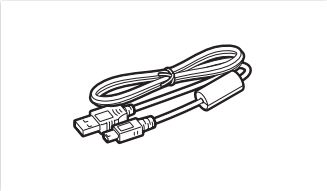


三脚アダプター
TA-100

三脚ベース
TB-1

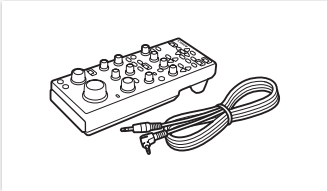


ステレオビデオケーブル
STV-250N



USBケーブル（インターフェースケーブル）
IFC-400PCU

GPSレシーバー
GP-E2



リモートコントローラー
RC-V100

*1 このバッテリーパックは、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位（目安）で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。

*2 コンセントにつないで使用する目的で本機に接続することはできません。このアクセサリーは、本機ではバッテリーチャージャーとして使用します。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

C100 Mark II 本体

システム	
記録方式	動画：　AVCHD規格Ver.2.0準拠 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声記録方式：リニアPCM*、16bit、48kHz、2ch Dolby Digital 2ch MP4準拠 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264 音声記録方式：MPEG-2 AAC-LC、16bit、48KHz、2ch 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG * ビットレートを「28 Mbps LPCM」または「24 Mbps LPCM」に設定しているとき。
記録／再生信号形式	AVCHD 28 Mbps LPCM、28 Mbps：1920x1080 / 59.94P（59.94Hz時）、50.00P（50.00Hz時） 24 Mbps LPCM、24 Mbps 、17 Mbps：1920x1080 / 59.94i、PF29.97、23.98P（59.94Hz時）、50.00i、PF25.00（50.00Hz時） 7 Mbps：1440x1080 / 59.94i、PF29.97、23.98P（59.94Hz時）、50.00i、PF25.00（50.00Hz時） MP4 35 Mbps：1920x1080 / 59.94P（59.94Hz時）、50.00P（50.00Hz時） 24 Mbps、17 Mbps：1920x1080 / 29.97P、23.98P（59.94Hz時）、25.00P（50.00Hz時） 4 Mbps：1280x720 / 29.97P、23.98P（59.94Hz時）、25.00P（50.00Hz時） 3 Mbps：640x360 / 29.97P、23.98P（59.94Hz時）、25.00P（50.00Hz時）
記録メディア	SD/SDHC/SDXCメモリーカード*　（2スロット） * カスタムピクチャーファイル、設定データの保存／読み込みにも使用。
記録時間（連続記録時の目安）	AVCHD（28 Mbps、24 Mbps、17 Mbps、7 Mbps） 16GB SDカード：1時間15 分、1時間25分、2時間5分、4時間45分 32GB SDカード：2時間30 分、2時間55分、4時間10分、9時間35分 MP4（35 Mbps、24 Mbps、17 Mbps、4 Mbps、3 Mbps） 16GB SDカード：1時間、1時間25分、2時間5分、8時間40分、11時間25分 32GB SDカード：2時間、2時間55分、4時間10分、17時間20分、22時間55分
撮像素子	スーパー 35mm相当、CMOS（単板）、有効画素：約829万画素（3840×2160）
有機ELモニター	有機EL（3.5型、約123万ドット相当、視野率100%）
ビューファインダー	カラー液晶ファインダー（0.45型、約123万ドット相当、視野率99.8 %）
レンズマウント	キヤノンEFマウント、キヤノンEFレンズ群対応（EF-Sレンズを含む）、キヤノンEFシネマレンズ群*（EFマウント）対応
35mmフィルム換算時の焦点距離	実焦点距離（レンズの焦点距離）×約1.534（変換係数）
NDフィルター	内蔵（OFF、2 stops、4 stops、6 stops）、手動式
ホワイトバランス	セットA、セットB、プリセット設定（太陽光 約5500K、電球 約3000K）*、 色温度設定（2000K ～ 15000K）、オート * 色温度は目安です。
アイリス	マニュアル：ステップ（1/2段、1/3段、ファイン）、プッシュオートアイリス、オート*
フォーカス	マニュアル、ワンショットAF、コンティニュアスAF、顔検出AF*

システム	
ISO感度／ゲイン	ISO感度：320 ～ 20000、25600* ～ 102400* ステップ（1段、1/3段） ゲイン：　－6 ～ 30 dB、33 ～ 44 dB*（ノーマル）、－6 ～ 24 dB（ファイン） * 感度拡張時のみ。
シャッタースピード（📖 62）	スピード（1/3段ステップ、1/4段ステップ）、アングル、クリアスキャン、スロー、切
周辺光量補正	キヤノンEFレンズ群で可能* * 一部のレンズは対応していません。
感度	59.94 Hz F9（1920×1080 / 59.94i時）、50.00 Hz F10（1920×1080 / 50.00i時） いずれも、ISO640（0 dB）、2000ルクス、反射率89.9 %時
S/N	54dB（Typical、59.94 Hz 1920×1080 / PF29.97時、50.00 Hz 1920×1080 / PF25.00時） いずれもISO850、Canon Logガンマ時
モノラルマイク	モノラル（エレクトリックコンデンサーマイク）
被写体照度	59.94 Hz 0.30ルクス（PF29.97、シャッタースピード1/30秒時） 50.00 Hz 0.25ルクス（PF25.00、シャッタースピード1/25秒時） いずれも24 dB 、F1.2レンズ装着時
Wi-Fi	無線LAN規格：IEEE802.11b /g /n（2.4 GHz帯） IEEE802.11a / n（ 5 GHz帯） 接続方法：WPS（プッシュボタン方式、PINコード方式）、アクセスポイント検索、手動設定、カメラアクセスポイント 認証方式：オープン、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化方式：WEP-64、WEP-128、TKIP、AES
静止画サイズ	AVCHD記録時：1920×1080 MP4記録時：動画のサイズと同じ 動画から静止画を切り取る場合：1920×1080

入・出力端子	
HDMI OUT端子	HDMIコネクター（タイプA）、出力のみ、タイムコード対応。 1080/59.94P、1080/50.00P出力可能。
AV OUT端子	Φ3.5 mm　4極ミニジャック（AV兼用）、出力のみ 映像出力：1 Vp-p / 75 Ω　不平衡 音声出力：－10 dB（47 kΩ負荷時、出力レベル設定1 Vrms）／ 3 kΩ以下

入・出力端子	
MIC（マイク）端子	φ3.5mmステレオミニジャック、 －72 dBV（マニュアルボリュームセンター、フルスケール－18 dB）／ 600 Ω Att.：20 dB
🎧（ヘッドホン）端子	φ3.5 mmステレオミニジャック －∞～－12 dBV（16 Ω負荷、ボリュームMin ～ Max）／ 50 Ω以下
USB端子	mini-B、Hi-Speed USB 対応、出力のみ
REMOTE端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック
グリップ接続端子	グリップの接続プラグ専用

電源その他	
電源電圧	公称 DC 7.4 V（バッテリーパック）、DC 8.4 V（DC IN）
消費電力	59.94 Hz 9.8 W（フレームレート59.94i時） 50.00 Hz 9.2W（フレームレート50.00i時） いずれも有機ELモニター／ファインダー（明るさノーマル）使用時
動作温度	0 ºC ～ ＋40 ºC
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	サムレスト装着時：約147 x 174 x 169mm グリップ＋アイカップ装着時：約188 x 189 x 219mm グリップ＋ハンドルユニット＋アイカップ装着時：約188 x 280 x 334mm
撮影時総質量	本体、グリップ使用時*：約1590 g 本体、グリップ、ハンドルユニット使用時*：約1950 g * いずれもバッテリーパックBP-955、アイカップ、SDカード2枚を含む
本体質量	約1125 g（本体のみ）

付属ユニット

グリップ	
ユニットの特徴	着脱可能、15° 刻みで回転可能、操作ボタン／ダイヤル
質量	約215 g

ハンドルユニット	
ユニットの特徴	着脱可能、アクセサリーシュー、1/4インチハンドルネジ
マイク	ステレオ、エレクトレットコンデンサーマイク
質量	約360 g
XLR端子	XLR（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド）、2系統 感度（MIC時）：－60 dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール－18 dB）／ 600 Ω 感度（LINE時）：＋4 dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール－18 dB）／ 10 kΩ Att.：　20 dB

付属品

ACアダプター CA-946	
定格入力	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz 65VA（AC 100V） ～ 85VA（AC 240V）
定格出力	公称DC8.4V、3.7A
使用温度	0℃～ +40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約73×40×139 mm
質量	約465 g

バッテリーチャージャー CG-945	
定格入力	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz 38 VA（AC 100 V） ～ 50 VA（AC 240 V）
定格出力	公称DC8.4 V、1.5/2.0 A
使用温度	0℃～ +40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約85×51×110 mm
質量	約240 g

バッテリーパック BP-955	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0 ℃ ～ +40 ℃
公称電圧	DC 7.4 V
公称容量	5200 mAh
定格（最小）容量	37 Wh / 4900 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約38.2×43.5×70.5 mm
質量	約220 g

EFレンズ EF24-105mm F4L IS II USM（レンズキットのみ）*1	
焦点距離・明るさ	24－105 mm F4
レンズ構成	12群17枚
最小絞り	F22
画角	対角 84°～23° 20'、垂直 53°～13°、水平 74°～19° 20'
最短撮影距離	0.45 m
最大撮影倍率	0.24倍（105 mm時）
画界	約329×505 mm ～ 99×147 mm（0.45 m時）
フィルター径	77 mm
本体の外形寸法（最大径×長さ）	約83.5×118 mm*2
本体質量	約795 g
フード	EW-83M
レンズキャップ	E-77 II
ケース	LP1219

*1 エクステンダーは使用できません。絞り値はカメラ側で設定します。記載データはすべて当社基準によります。
*2 レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+24.2mmになります。

対応レンズと機能

ご購入いただいた時期によっては、レンズのファームウェアのアップデートが必要になることがあります。詳細については、お客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

レンズ		カメラからのアイリス調整			カメラからのズーム調整	カメラからのフォーカス調整		
		マニュアル	プッシュオート	オート		マニュアル	ワンショット	コンティニュアス
EFレンズ		●	●	–	–	●	●	●
	オートアイリスに対応するEFレンズ	●	●	●	–	●	●	●
EFシネマレンズ	CN20x50 IAS H/E1	●	●	●	●	●	–	–
	CN7x17 KAS S/E1 CN- E18-80mm T4.4 L I S KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●	●	●	●	●	●	●

オートアイリスと顔検出AFに対応するレンズ

- EF-S 10-18mm F4.5-5.6 IS STM
- EF-S 18-135mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S 18-55mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S 55-250mm F4-5.6 IS STM
- EF24-105mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S 18-135mm F3.5-5.6 IS USM
- 上記のEFシネマレンズ（顔検出は非対応）

4GBのカードへの記録可能枚数の目安

静止画サイズ	記録可能枚数
1920x1080	2830枚

■ バッテリーの充電時間／使用時間の目安

充電時間の目安

バッテリーパック	BP-955
充電時間*（バッテリーチャージャー CG-945を使用時）	約190分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

使用時間の目安

バッテリー BP-955（付属）装着時、有機ELモニターとファインダーを同時に使用したときの使用時間の目安です。

動画形式	システム周波数	ビットレート	フレームレート	連続撮影時間	実撮影時間	再生時間
AVCHD	59.94Hz	28 Mbps LPCM、28 Mbps	59.94P	約3時間25分	約2時間10分	約4時間35分
		24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、7 Mbps	59.94i	約3時間30分	約2時間10分	約4時間40分
			PF29.97	約4時間10分	約2時間35分	約4時間40分
			23.98P	約4時間15分	約2時間40分	約4時間40分
	50.00Hz	28 Mbps LPCM、28 Mbps	50.00P	約3時間35分	約2時間15分	約4時間40分
		24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、7 Mbps	50.00i	約3時間40分	約2時間15分	約4時間40分
			PF25.00	約4時間15分	約2時間35分	約4時間40分
MP4	59.94Hz	35 Mbps	59.94P	約3時間20分	約2時間10分	約4時間35分
		24 Mbps、17 Mbps、4 Mbps、3 Mbps	29.97P	約4時間5分	約2時間35分	約4時間40分
			23.98P	約4時間15分	約2時間40分	約4時間40分
	50.00Hz	35 Mbps	50.00P	約3時間35分	約2時間15分	約4時間40分
		24 Mbps、17 Mbps、4 Mbps、3 Mbps	25.00P	約4時間15分	約2時間35分	約4時間40分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切などの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 有機ELモニターを明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

MEMO

バッテリーは予定撮影時間の2 ～ 3倍分を用意

ビデオカメラの消費電力は、撮影のしかたによって変化します。そのため、バッテリーの実際の使用時間は、表記の時間より短くなることがあります。撮影時には、予定撮影時間の2 ～ 3倍のバッテリーを用意することをおすすめします。

● 接点のあるEFレンズは本機の電源を使用して動作します。使用するEFレンズによっては使用時間が短くなることがあります。

MEMO

索引

ア

アイカップ ・・・

タ

タイムコード・・・

その他

ABB ・・・

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- 本書で使用している「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味します。
- JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AVCHD、"AVCHD Progressive"、および"AVCHD Progressive"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

C100 Mark II は、DCFに準拠しています。DCFは、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたexfat技術を搭載しています。

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

保証書と修理対応

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。ここでは修理対応について説明しています。

修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内にお買い求めの販売店、もしくは弊社修理受付窓口までご持参いただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費および諸掛かりはお客様のご負担となります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理対応期間について

カメラの修理対応期間は、製造打ち切り後7年（EFレンズEF24-105mm F4L IS II USMは7年）です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

修理を依頼されるときは

修理についてはお買い求めの販売店、もしくはお客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

ビデオカメラやData Import Utility 使用方法ご相談窓口 修理お問い合わせ窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006（全国共通）

平日 9:00〜17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は03-5428-1208をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

EFレンズに関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90002（全国共通）

9:00〜18:00

※1月1日〜3日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は043-211-9556をご利用ください。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

CINEMA EOS SYSTEMホームページ

CINEMA EOS SYSTEMのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

CINEMA EOS SYSTEM製品情報
canon.jp/cinema-eos

EFレンズ製品情報
canon.jp/ef

キヤノン サポートページ
canon.jp/support

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2018年12月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Li-ion リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

PUB. DIJ-0428-002B

© CANON INC. 2018